

第6次美濃加茂市総合計画策定のための
市民アンケート調査結果報告書

平成31年2月

美濃加茂市

目 次

| | | |
|---------|-------------------------|----|
| I | 調査の概要及び回答者の属性 | 1 |
| 1 | 調査の概要 | 1 |
| (1) | 調査目的 | 1 |
| (2) | 調査対象及び調査方法、回収結果 | 1 |
| (3) | 本報告書の留意事項 | 1 |
| 2 | 回答者の属性 | 2 |
| (1) | 性別 | 2 |
| (2) | 年齢 | 2 |
| (3) | 職業 | 2 |
| (4) | 就学先・勤務先 | 3 |
| (5) | 居住歴 | 3 |
| (5) - 1 | 居住年数 | 3 |
| (6) | 世帯構成 | 4 |
| (7) | 居住地区 | 4 |
| II | 調査結果 | 5 |
| 1 | 美濃加茂市の住みやすさについて | 5 |
| (1) | まちの住みやすさ | 5 |
| (2) | 今後の定住意向 | 7 |
| (3) | 住み続けたいと思う主な理由 | 9 |
| (4) | 住み続けたくない主な理由 | 11 |
| 2 | まちづくりの満足度とこれからの重要度について | 13 |
| (1) | 市の各環境に関する満足度 | 13 |
| (2) | 市の各環境に関する重要度 | 25 |
| (3) | 満足度と重要度の相関（優先度） | 37 |
| 3 | まちづくりの意識と取り組みについて | 40 |
| (1) | 運動・スポーツを行った日数 | 40 |
| (2) | 食生活の改善や運動など健康管理のための取り組み | 41 |
| (3) | 高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか | 42 |
| (4) | 老後に不安を感じるか | 43 |
| (5) | 企業は子育て支援に積極的だと思うか | 44 |
| (6) | 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか | 45 |
| (7) | 地域の子どもはのびのびと育っていると思うか | 46 |
| (8) | 地域の自然環境は守られていると思うか | 47 |
| (9) | 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいか | 48 |
| (10) | 環境に配慮した生活をしているか | 49 |
| (11) | 3R運動をしているか | 50 |

| | | |
|------|--------------------------------|----|
| (12) | 地域の商店街や駅前に活気があるか..... | 51 |
| (13) | 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか..... | 52 |
| (14) | 自慢したい地域の風景や名所があるか..... | 53 |
| (15) | 公共の交通機関を利用しているか..... | 54 |
| (16) | 災害時の避難場所..... | 55 |
| (17) | 災害に対して住んでいる地域は安全か..... | 56 |
| (18) | 職場や地域での防災訓練に参加しているか..... | 57 |
| (19) | 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思うか..... | 58 |
| (20) | 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか..... | 59 |
| (21) | 市の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加..... | 60 |
| (22) | 地域活動やボランティア活動をしてみたいか..... | 61 |
| (23) | 市政に関する情報を知る方法..... | 62 |
| (24) | 市民公募委員になってみたいか..... | 64 |
| (25) | 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか..... | 65 |
| (26) | 仕事と生活の両立ができていると思うか..... | 66 |
| (27) | 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか..... | 67 |
| (28) | 頼りになる知り合いが近所にいるか..... | 68 |
| (29) | 今の生活にどの程度満足しているか..... | 69 |
| (30) | 生活は去年の今頃と比べてどうか..... | 70 |
| (31) | 平日に家族で話をする時間..... | 71 |
| (32) | 若者が希望を持てる地域だと思うか..... | 72 |
| (33) | 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか..... | 73 |
| 4 | 今後のまちづくりについて..... | 74 |
| (1) | まちづくりを進めていくときの市民と行政の関係..... | 74 |
| (2) | 特に重点を置くべきだと思う取り組み..... | 76 |
| (3) | 子育てしやすいまちになるために力を入れたらよいこと..... | 77 |
| (4) | 今後どのようなまちにしたいか..... | 79 |
| (5) | 今後行政に必要な取り組み..... | 81 |
| (6) | これからの行政サービスのあり方..... | 83 |
| (7) | 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目..... | 85 |

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第6次美濃加茂市総合計画（2020年度～2029年度の10年間の計画）の策定にあたって、市への愛着度や今後の定住意向をはじめ、市の各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 調査対象 | 18歳以上の市民 |
| 配布数 | 3,000 |
| 抽出法 | 無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送法 |
| 調査時期 | 平成30年10月 |
| 調査地域 | 市内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の8地区に区分した。 1. 太田 2. 古井 3. 山之上 4. 蜂屋(中部台含む) 5. 加茂野 6. 伊深 7. 三和 8. 下米田・牧野 |
| 有効回収数 | 1,421 |
| 有効回収率 | 47.4% |

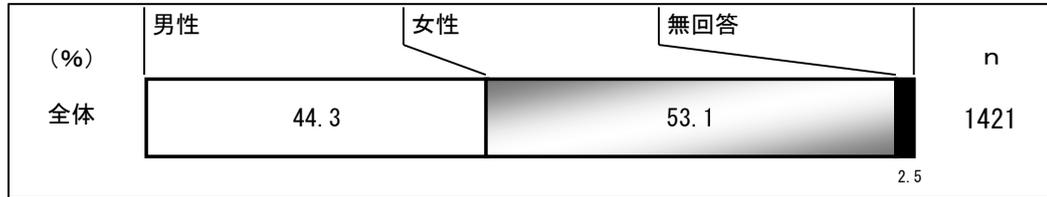
(3) 本報告書の留意事項

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

2 回答者の属性

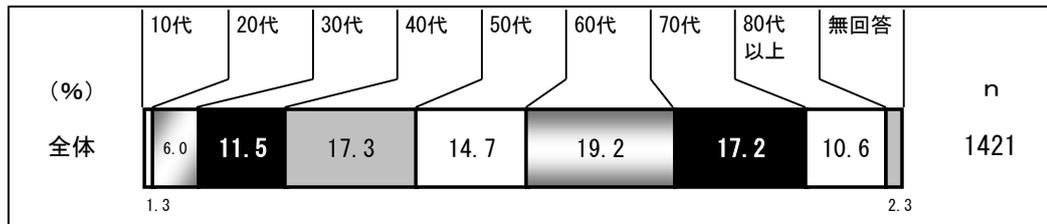
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」が53.1%、「男性」が44.3%となっています。



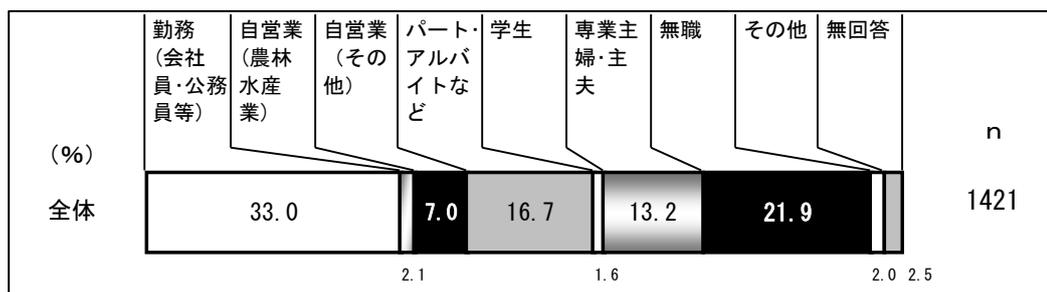
(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「60代」(19.2%)、「40代」(17.3%)、「70代」(17.2%)、「50代」(14.7%)、「30代」(11.5%)、「80代以上」(10.6%)、「20代」(6.0%)、「10代」(1.3%)となっています。



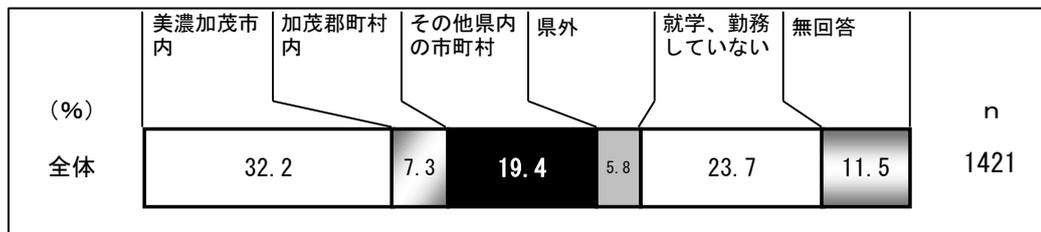
(3) 職業

回答者の職業は、「勤務（会社員・公務員等）」(33.0%)、「無職」(21.9%)、「パート・アルバイトなど」(16.7%)、「専業主婦・主夫」(13.2%)、「自営業（その他）」(7.0%)、「自営業（農林水産業）」(2.1%)、「学生」(1.6%)となっています。



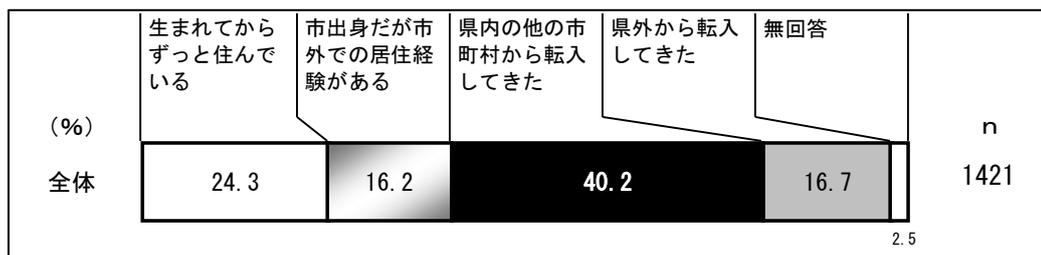
(4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「美濃加茂市内」(32.2%)、「その他県内の市町村」(19.4%)、「加茂郡町村内」(7.3%)、「県外」(5.8%)となっています。なお、「就学、勤務していない」は23.7%、「無回答」は11.5%となっています。



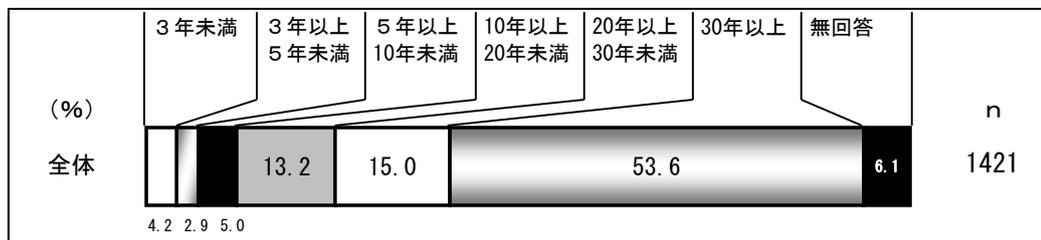
(5) 居住歴

回答者の居住歴は、「県内の他の市町村から転入してきた」(40.2%)、「生まれてからずっと住んでいる」(24.3%)、「県外から転入してきた」(16.7%)、「市出身だが市外での居住経験がある」(16.2%)となっています。



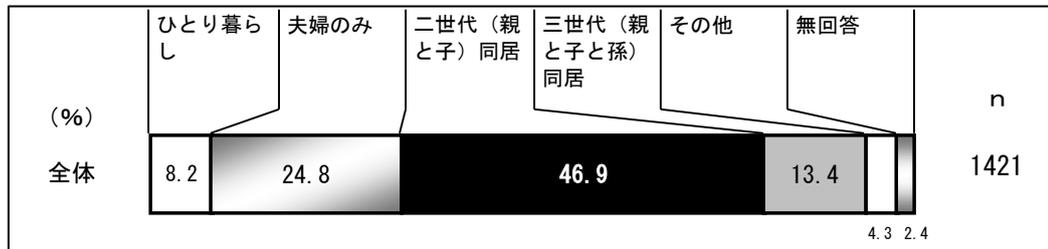
(5) - 1 居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」(53.6%)、「20年以上30年未満」(15.0%)、「10年以上20年未満」(13.2%)、「5年以上10年未満」(5.0%)、「3年未満」(4.2%)、「3年以上5年未満」(2.9%)となっています。



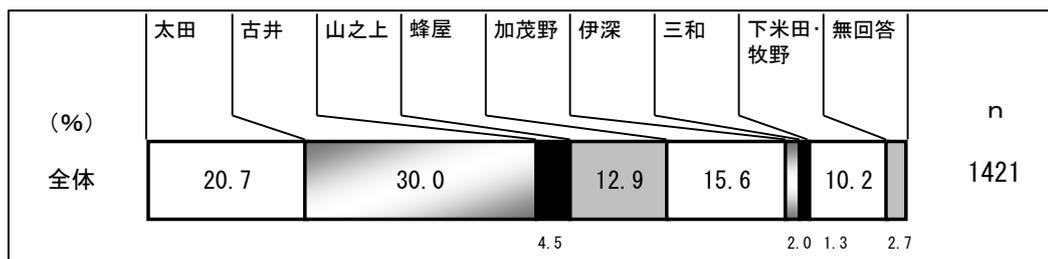
(6) 世帯構成

回答者の世帯構成は、「二世帯（親と子）同居」（46.9%）、「夫婦のみ」（24.8%）、「三世帯（親と子と孫）同居」（13.4%）、「ひとり暮らし」（8.2%）の順となっています。



(7) 居住地区

回答者の居住地区は、「古井」（30.0%）、「太田」（20.7%）、「加茂野」（15.6%）、「蜂屋（中部台含む）」（12.9%）、「下米田・牧野」（10.2%）、「山之上」（4.5%）、「伊深」（2.0%）、「三和」（1.3%）となっています。



Ⅱ 調査結果

1 美濃加茂市の住みやすさについて

(1) まちの住みやすさ

問2 あなたは、美濃加茂市が「住みやすいまち」だと感じますか。

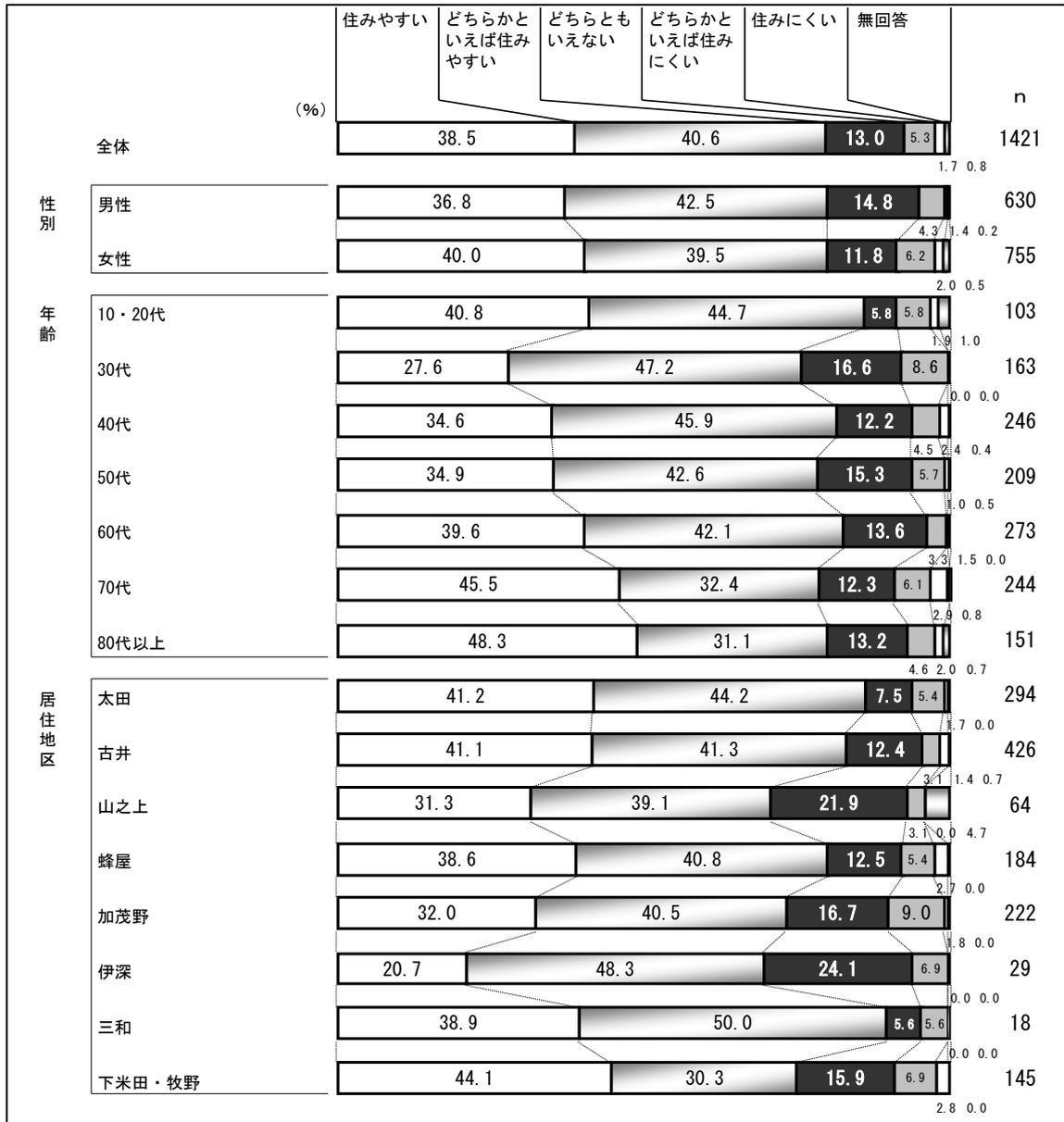


- “住みやすい” が 79.1%、“住みにくい” が 7.0%。

市民が美濃加茂市を「住みやすいまち」と感じているかどうかを把握するため、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が 40.6%で最も多く、次いで「住みやすい」と答えた人が 38.5%で続き、これらをあわせた“住みやすい”という人が 79.1%と8割弱にのぼっています。これに対し、“住みにくい”という人（「どちらかといえば住みにくい」(5.3%)と「住みにくい」(1.7%)の合計）は 7.0%と1割に満たず、市の住みやすさはかなり高いといえます。なお、「どちらともいえない」は 13.0%となっています。[図表1参照]

図表1 まちの住みやすさ（全体・性別・年齢・居住地区）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいと思いますか。(進学や転勤などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。)

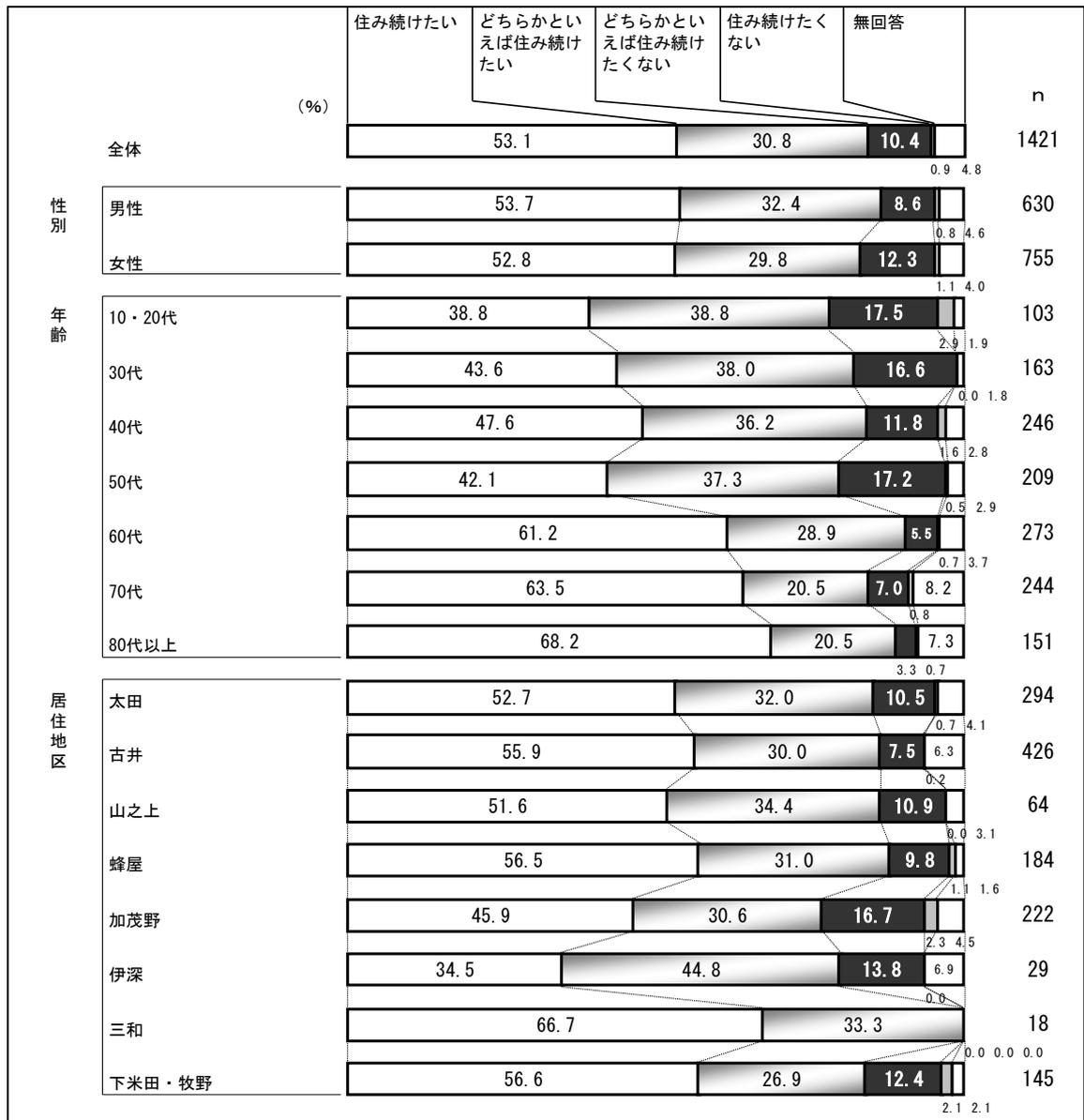


- “住み続けたい”が83.9%、“住み続けたくない”が11.3%。

市民の今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「住み続けたい」と答えた人が53.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が30.8%で続き、これらをあわせた“住み続けたい”という人が83.9%と8割強にのぼっています。これに対し、“住み続けたくない”という人(「どちらかといえば住み続けたくない」(10.4%)と「住み続けたくない」(0.9%)の合計)は11.3%と1割強にとどまり、問2の住みやすさと同様に定住意向も強いといえます。[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・年齢・居住地区）



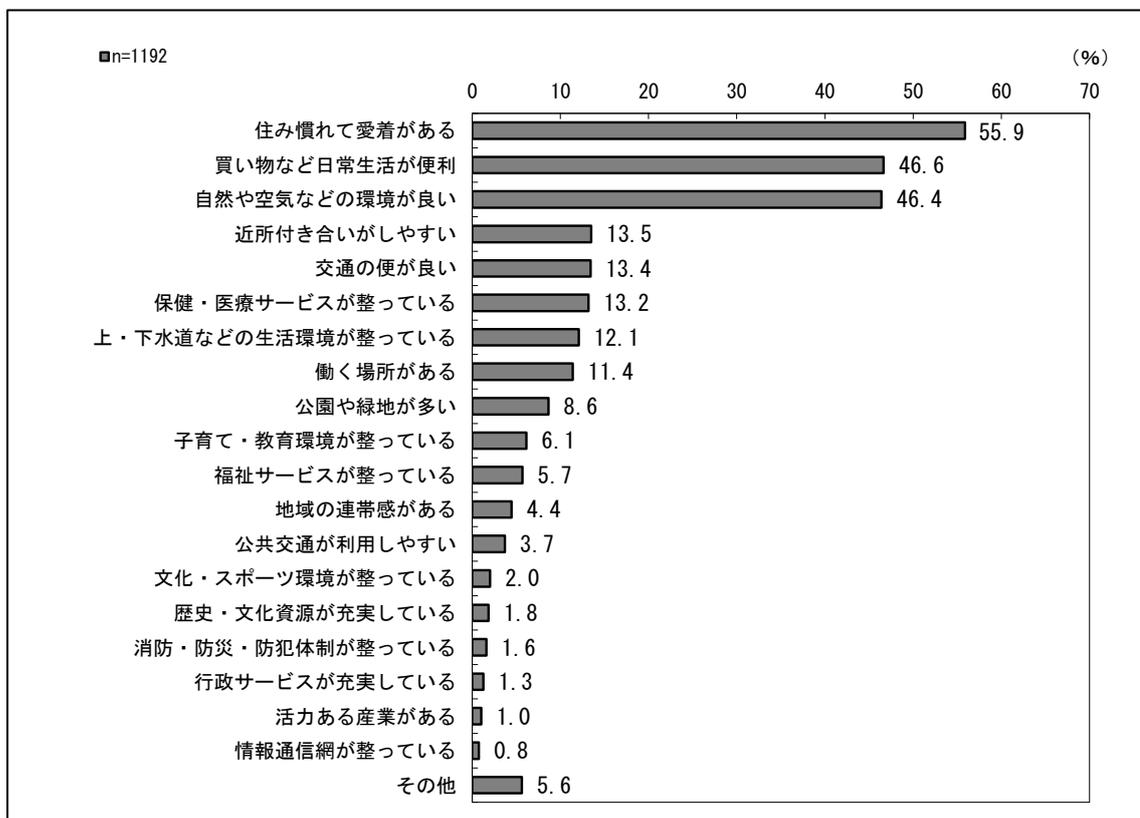
(3) 住み続けたいと思う主な理由

問3-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。
 (問3で「1」または「2」に○をつけた方)【複数回答】

- 「住み慣れて愛着がある」が第1位。次いで「買い物など日常生活が便利」、「自然や空気などの環境が良い」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した1,192人(全体の83.9%)に、住み続けたいと思う理由についてたずねたところ、「住み慣れて愛着がある」(55.9%)が第1位にあげられ、次いで「買い物など日常生活が便利」(46.6%)が第2位、「自然や空気などの環境が良い」(46.4%)が第3位で、以下、「近所付き合いがしやすい」(13.5%)、「交通の便が良い」(13.4%)、「保健・医療サービスが整っている」(13.2%)、「上・下水道などの生活環境が整っている」(12.1%)、「働く場所がある」(11.4%)、「公園や緑地が多い」(8.6%)、「子育て・教育環境が整っている」(6.1%)、「福祉サービスが整っている」(5.7%)、「地域の連帯感がある」(4.4%)、「公共交通が利用しやすい」(3.7%)、「文化・スポーツ環境が整っている」(2.0%)、「歴史・文化資源が充実している」(1.8%)、「消防・防災・防犯体制が整っている」(1.6%)、「行政サービスが充実している」(1.3%)、「活力ある産業がある」(1.0%)、「情報通信網が整っている」(0.8%)の順となっています。[図表3・4参照]

図表3 住み続けたいと思う主な理由(全体/複数回答)



図表4 住み続けたいと思う主な理由
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|
| 全体 | | 住み慣れて愛着がある 55.9 | 買い物など日常生活が便利 46.6 | 自然や空気などの環境が良い 46.4 |
| 性別 | 男性 | 住み慣れて愛着がある 56.6 | 自然や空気などの環境が良い 44.6 | 買い物など日常生活が便利 42.6 |
| | 女性 | 住み慣れて愛着がある 55.9 | 買い物など日常生活が便利 50.3 | 自然や空気などの環境が良い 47.4 |
| 年齢 | 10・20代 | 住み慣れて愛着がある 67.5 | 買い物など日常生活が便利 47.5 | 自然や空気などの環境が良い 38.8 |
| | 30代 | 住み慣れて愛着がある 46.6 | 買い物など日常生活が便利 45.1 | 自然や空気などの環境が良い 30.8 |
| | 40代 | 住み慣れて愛着がある 50.0 | 買い物など日常生活が便利 47.6 | 自然や空気などの環境が良い 44.7 |
| | 50代 | 住み慣れて愛着がある 57.2 | 自然や空気などの環境が良い 48.2 | 買い物など日常生活が便利 47.0 |
| | 60代 | 住み慣れて愛着がある 58.5 | 自然や空気などの環境が良い 53.3 | 買い物など日常生活が便利 49.6 |
| | 70代 | 住み慣れて愛着がある 60.0 | 自然や空気などの環境が良い 51.7 | 買い物など日常生活が便利 47.3 |
| | 80歳以上 | 住み慣れて愛着がある 56.7 | 自然や空気などの環境が良い 44.8 | 買い物など日常生活が便利 40.3 |
| 居住地区 | 太田 | 買い物など日常生活が便利 58.6 | 住み慣れて愛着がある 56.6 | 自然や空気などの環境が良い 40.2 |
| | 古井 | 住み慣れて愛着がある 55.2 | 買い物など日常生活が便利 53.0 | 自然や空気などの環境が良い 41.8 |
| | 山之上 | 住み慣れて愛着がある 69.1 | 自然や空気などの環境が良い 54.5 | 買い物など日常生活が便利 23.6 |
| | 蜂屋 | 住み慣れて愛着がある 54.0 | 買い物など日常生活が便利 52.8 | 自然や空気などの環境が良い 48.4 |
| | 加茂野 | 住み慣れて愛着がある 53.5 | 自然や空気などの環境が良い 46.5 | 買い物など日常生活が便利 36.5 |
| | 伊深 | 自然や空気などの環境が良い 73.9 | 住み慣れて愛着がある 56.5 | 上・下水道などの生活環境が整っている 34.8 |
| | 三和 | 住み慣れて愛着がある 72.2 | 自然や空気などの環境が良い 55.6 | 近所付き合いがしやすい 44.4 |
| | 下米田・牧野 | 自然や空気などの環境が良い 58.7 | 住み慣れて愛着がある 57.9 | 買い物など日常生活が便利 33.9 |

(4) 住み続けたくない主な理由

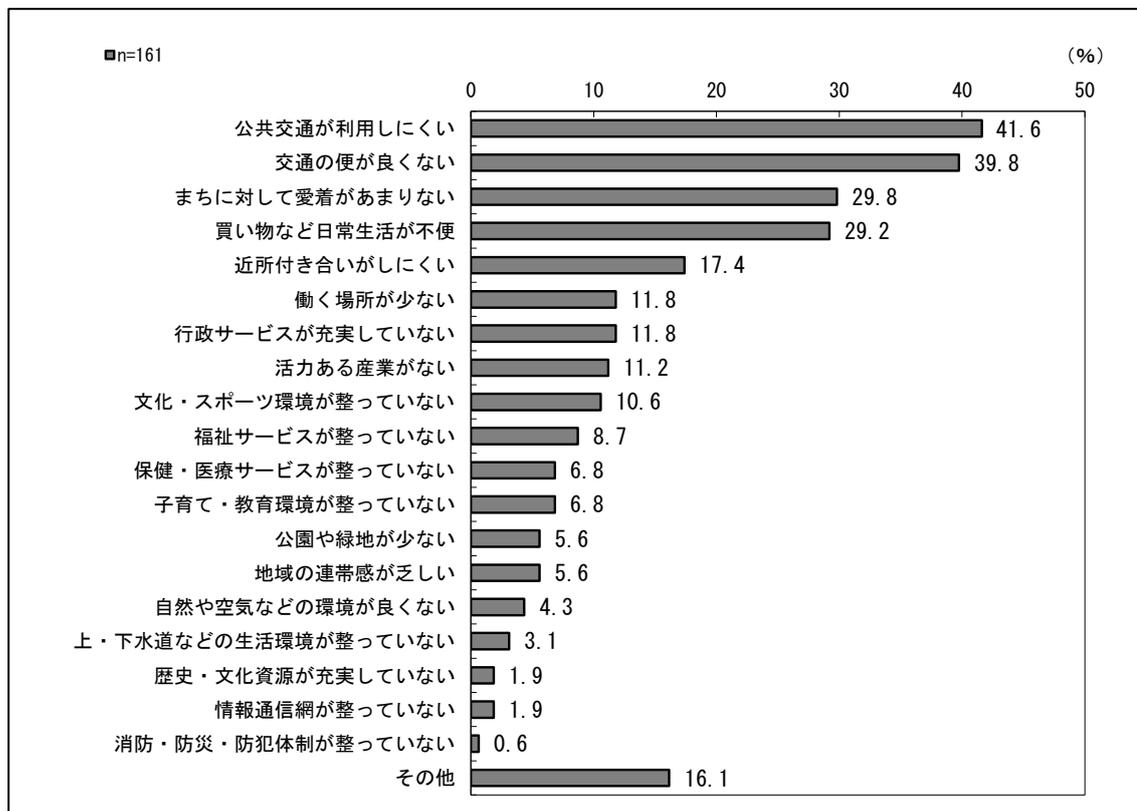
問3-2 住みたくない主な理由はなんですか。

(問3で「3」または「4」に○をつけた方)【複数回答】

- 「公共交通が利用しにくい」が第1位。次いで「交通の便が良くない」、「まちに対して愛着があまりない」、「買い物など日常生活が不便」の順。

問3で“住み続けたくない”と回答した161人(全体の11.3%)に、住みたくない理由をたずねたところ、「公共交通が利用しにくい」(41.6%)が第1位にあげられ、次いで、「交通の便が良くない」(39.8%)が第2位、「まちに対して愛着があまりない」(29.8%)が第3位、以下、「買い物など日常生活が不便」(29.2%)、「近所付き合いがしにくい」(17.4%)、「働く場所が少ない」・「行政サービスが充実していない」(同率11.8%)、「活力ある産業がない」(11.2%)、「文化・スポーツ環境が整っていない」(10.6%)、「福祉サービスが整っていない」(8.7%)、「保健・医療サービスが整っていない」・「子育て・教育環境が整っていない」(同率6.8%)、「公園や緑地が少ない」・「地域の連帯感が乏しい」(同率5.6%)、「自然や空気などの環境が良くない」(4.3%)、「上・下水道などの生活環境が整っていない」(3.1%)、「歴史・文化資源が充実していない」・「情報通信網が整っていない」(同率1.9%)、「消防・防災・防犯体制が整っていない」(0.6%)、などの順となっています。[図表5・6参照]

図表5 住み続けたくない主な理由(全体/複数回答)



図表6 住み続けたくない主な理由
(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|----------------------------------|----------------------------------|--|
| 全体 | | 公共交通が利用しにくい 41.6 | 交通の便が良くない 39.8 | まちに対して愛着があまりない 29.8 |
| 性別 | 男性 | 公共交通が利用しにくい 40.7 | まちに対して愛着があまりない 35.6 | 交通の便が良くない 23.7 |
| | 女性 | 交通の便が良くない 49.5 | 公共交通が利用しにくい 42.6 | 買い物など日常生活が不便 34.7 |
| 年齢 | 10・20代 | 公共交通が利用しにくい 42.9 | 交通の便が良くない 38.1 | 買い物など日常生活が不便 28.6 |
| | 30代 | 公共交通が利用しにくい 59.3 | 交通の便が良くない 33.3 | まちに対して愛着があまりない 29.6 |
| | 40代 | まちに対して愛着があまりない 45.5 | 交通の便が良くない 39.4 | 公共交通が利用しにくい 36.4 |
| | 50代 | 交通の便が良くない 45.9 | 買い物など日常生活が不便／公共交通が利用しにくい 35.1 | |
| | 60代 | 交通の便が良くない／まちに対して愛着があまりない 47.1 | | 買い物など日常生活が不便／公共交通が利用しにくい 41.2 |
| | 70代 | 近所付き合いがしにくい 52.6 | 交通の便が良くない 36.8 | 公共交通が利用しにくい 31.6 |
| | 80歳以上 | 公共交通が利用しにくい 66.7 | 買い物など日常生活が不便／近所付き合いがしにくい 50.0 | |
| 居住地区 | 太田 | 公共交通が利用しにくい 36.4 | 交通の便が良くない 27.3 | まちに対して愛着があまりない 24.2 |
| | 古井 | 公共交通が利用しにくい 42.4 | 交通の便が良くない 36.4 | まちに対して愛着があまりない 30.3 |
| | 山之上 | 買い物など日常生活が不便／交通の便が良くない 57.1 | | 公共交通が利用しにくい 42.9 |
| | 蜂屋 | 買い物など日常生活が不便 45.0 | 交通の便が良くない 40.0 | 公共交通が利用しにくい 35.0 |
| | 加茂野 | 公共交通が利用しにくい 50.0 | 交通の便が良くない 42.9 | まちに対して愛着があまりない 40.5 |
| | 伊深 | 公共交通が利用しにくい 75.0 | 交通の便が良くない 50.0 | 保健・医療サービスが整っていない／子育て・教育環境が整っていない／活力ある産業がない／買い物など日常生活が不便／公園や緑地が少ない／行政サービスが充実していない 25.0 |
| | 三和 | | | |
| | 下米田・牧野 | 交通の便が良くない 52.4 | 買い物など日常生活が不便 42.9 | 公共交通が利用しにくい 33.3 |

※居住地区別の「三和」は回答者0。

2 まちづくりの満足度とこれからの重要度について

(1) 市の各環境に関する満足度

問5 これまで美濃加茂市第5次総合計画（平成22年度～平成31年度）に沿って進めてきた、各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。

(1) これまでの満足度

- 満足度が最も高い項目は「上水道の安全供給」。次いで「下水道の整備」、「医療体制の整備」の順。
- 満足度が最も低い項目は「観光の振興」。次いで「商業の振興」、「市街地の整備」の順。

市の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、健康・福祉に関すること、教育に関すること、環境に関すること、産業振興に関すること、建設に関すること、市民生活に関すること、市政運営に関することの7分野 45項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は「上水道の安全供給」（2.54点）となっており、次いで第2位が「下水道の整備」（1.99点）、第3位が「医療体制の整備」（1.85点）、以下、「環境保全」（1.66点）、「消防・救急体制の整備」（1.56点）、「ごみの減量・省エネ・リサイクル対策」（1.51点）、「市の情報の発信」（0.88点）、「人権意識の高揚」（0.85点）、「学校教育の充実」（0.80点）、「子育て支援の推進」（0.56点）などの順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は「観光の振興」（-3.74点）となっており、次いで第2位が「商業の振興」（-3.51点）、第3位が「市街地の整備」（-2.85点）、以下、「公共交通の推進」（-2.21点）、「特産品などの発展と創造」（-2.02点）、「健全な行財政運営」（-1.40点）、「市政への市民意見の反映」（-1.31点）、「労働環境の整備」（-1.09点）、「工業の振興」（-0.93点）、「公園の整備」（-0.92点）などの順となっています。

全体的に環境に関することの満足度が高く、産業振興に関することの満足度が低くなっており、45項目のうち、満足度がプラス評価の項目が20項目、マイナス評価の項目が24項目、中間点が1項目となっています。〔図表7参照〕

また、これを居住地区別で見ると、以下のとおりとなっています。

太田

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(2.11点)、第2位が「医療体制の整備」(2.04点)、第3位が「消防・救急体制の整備」(1.91点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業の振興」(-4.33点)、第2位が「観光の振興」(-3.49点)、第3位が「市街地の整備」(-3.39点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が16項目、マイナス評価の項目が29項目となっています。[図表8参照]

古井

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(2.49点)、第2位が「下水道の整備」(2.37点)、第3位が「医療体制の整備」(2.06点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「観光の振興」(-3.78点)、第2位が「商業の振興」(-3.57点)、第3位が「市街地の整備」(-2.86点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が25項目、マイナス評価の項目が20項目となっています。[図表8参照]

山之上

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(3.23点)、第2位が「消防・救急体制の整備」(2.74点)、第3位が「下水道の整備」(2.34点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「観光の振興」(-3.05点)、第2位が「商業の振興」(-2.83点)、第3位が「公共交通の推進」(-2.10点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が20項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が2項目となっています。[図表8参照]

蜂屋

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(3.09点)、第2位が「下水道の整備」(2.24点)、第3位が「医療体制の整備」(1.98点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「観光の振興」(-3.00点)、第2位が「商業の振興」(-2.32点)、第3位が「公共交通の推進」(-1.84点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が22項目、マイナス評価の項目が23項目となっています。[図表8参照]

加茂野

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(2.92点)、第2位が「医療体制の整備」(1.86点)、第3位が「医療体制の整備」(1.64点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「観光の振興」(-4.20点)、第2位が「商業の振興」

(-3.61点)、第3位が「市街地の整備」(-3.47点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が16項目、マイナス評価の項目が29項目となっています。[図表8参照]

伊深

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の安全供給」(4.66点)、第2位が「環境保全」(2.59点)、第3位が「下水道の整備」(2.32点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業の振興」(-4.23点)、第2位が「観光の振興」(-4.04点)、第3位が「特産品などの発展と創造」(-3.08点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が12項目、マイナス評価の項目が32項目、中間点が1項目となっています。[図表8参照]

三和

満足度の上位3項目は、「環境保全」と「防犯体制の整備」(同点3.33点)が第1位、第3位が「上水道の安全供給」(3.13点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業の振興」(-3.44点)、第2位が「観光の振興」(-3.00点)、「労働環境の整備」・「農林業の振興」・「市政への市民意見の反映」・「健全な行財政運営」(いずれも-2.67点)が同点第3位となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が19項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が3項目となっています。[図表8参照]

下米田・牧野

満足度の上位3項目は、第1位が「ごみの減量・省エネ・リサイクル対策」(2.06点)、第2位が「下水道の整備」(1.94点)、第3位が「環境保全」(1.54点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「観光の振興」(-4.74点)、第2位が「商業の振興」(-3.37点)、第3位が「公共交通の推進」(-3.27点)となっています。

設定した45項目のうち、プラス評価の項目が18項目、マイナス評価の項目が26項目、中間点が1項目となっています。[図表8参照]

※加重平均値による評価点(満足度)の算出方法

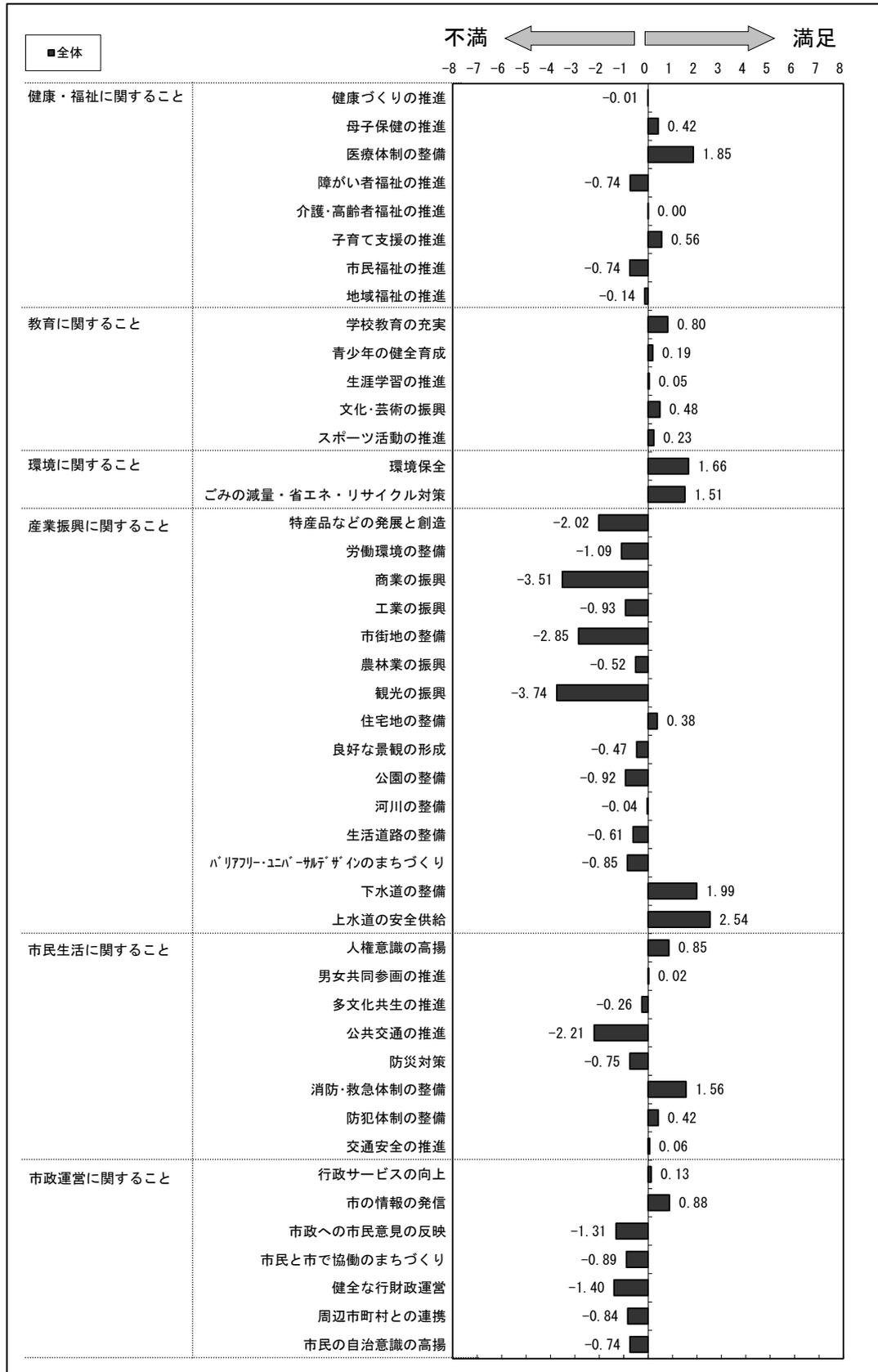
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、「普通」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」の回答} \\ \text{者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点~-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表7 市の各環境に関する満足度（全体）

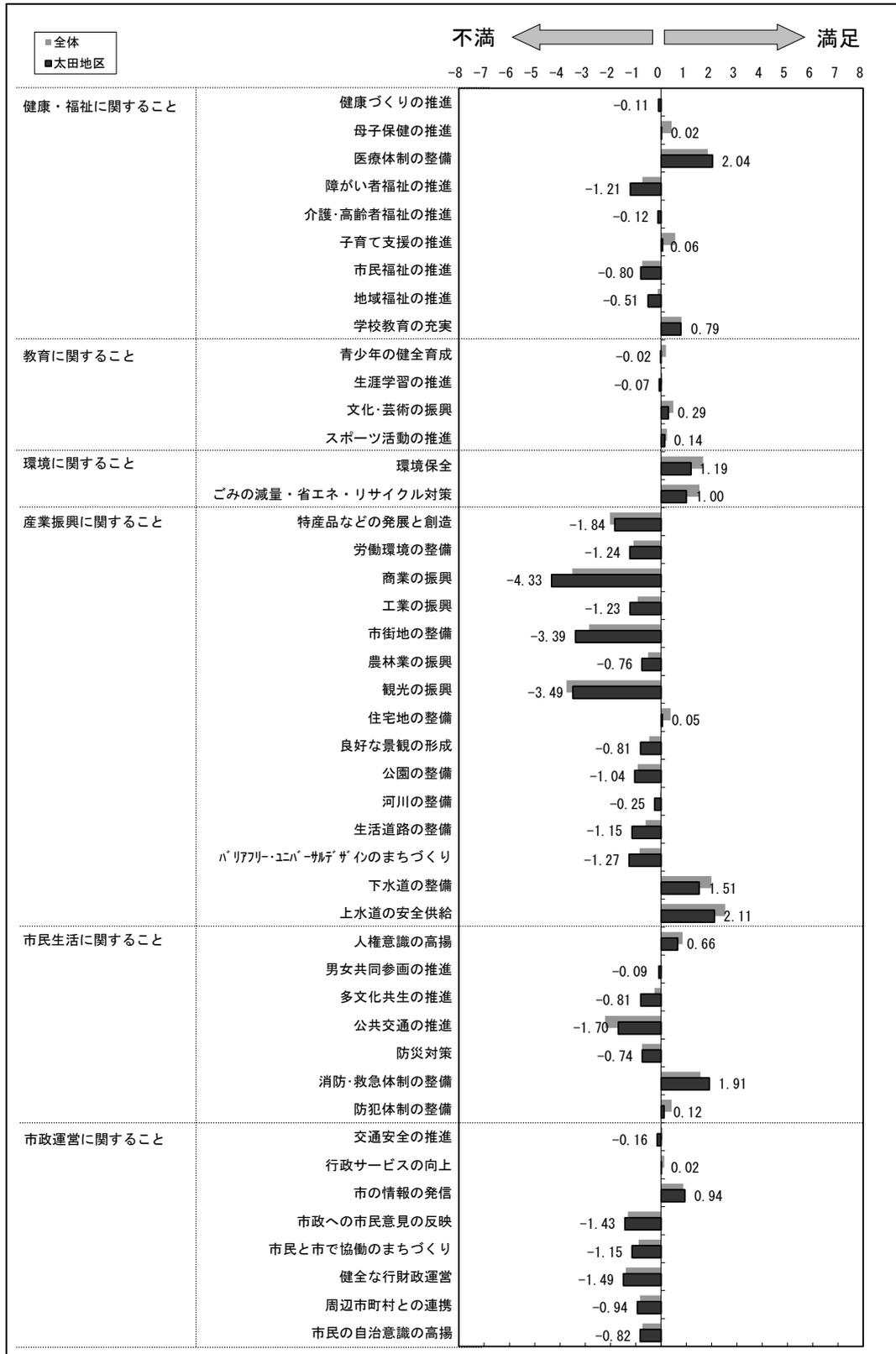
（単位：評価点）



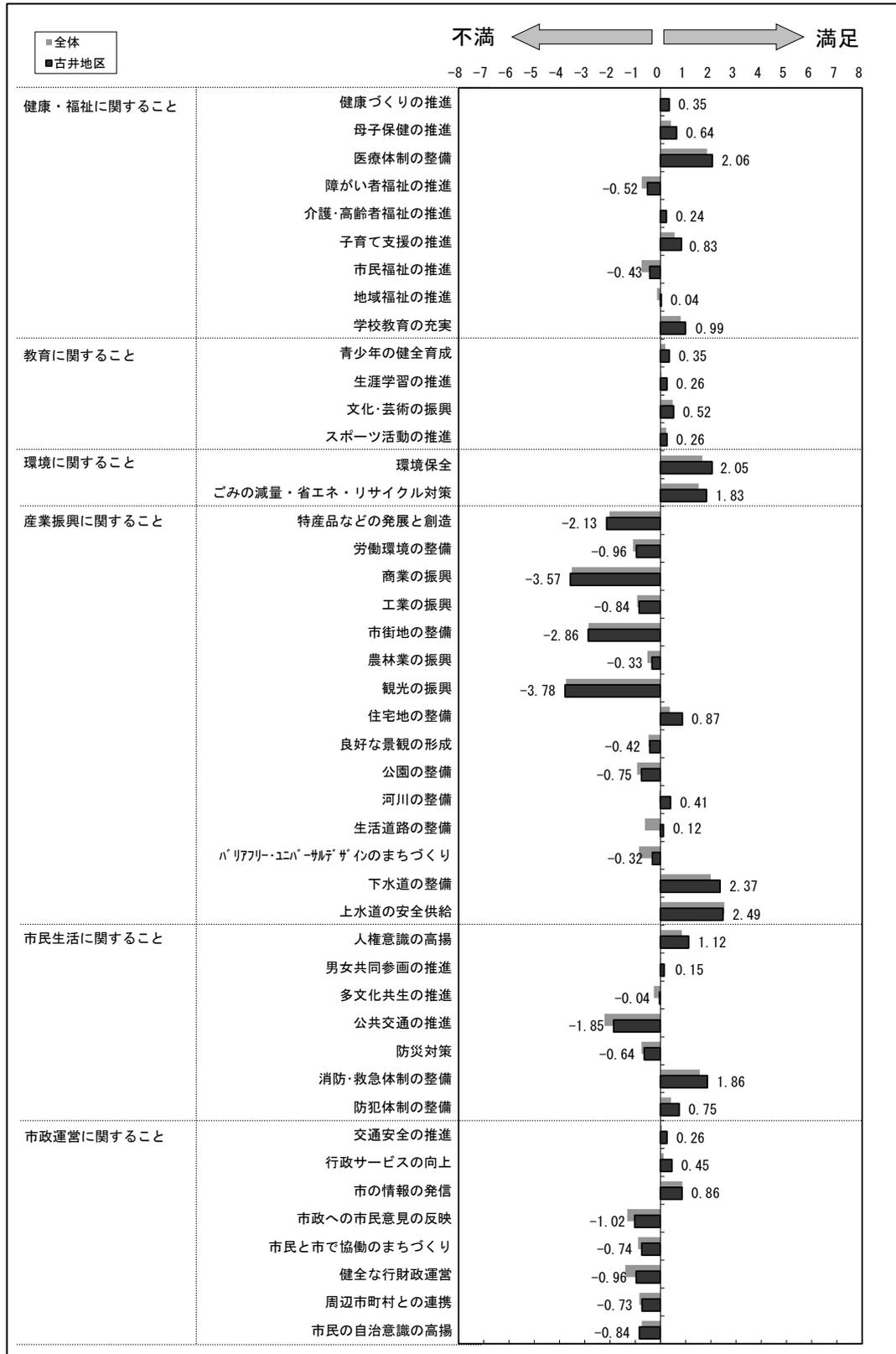
図表8 市の各環境に関する満足度（居住地区）

太田

（単位：評価点）

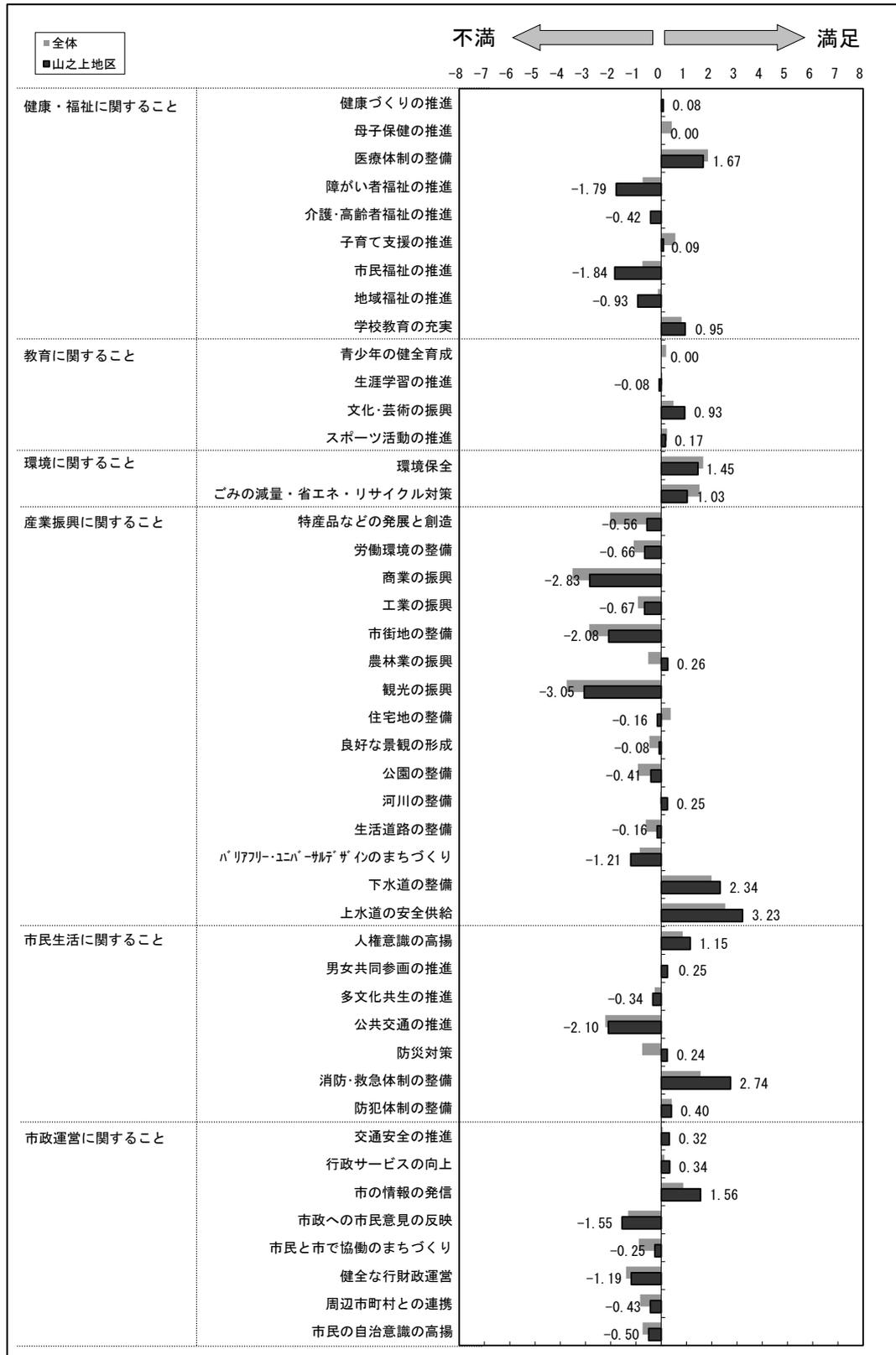


(単位：評価点)

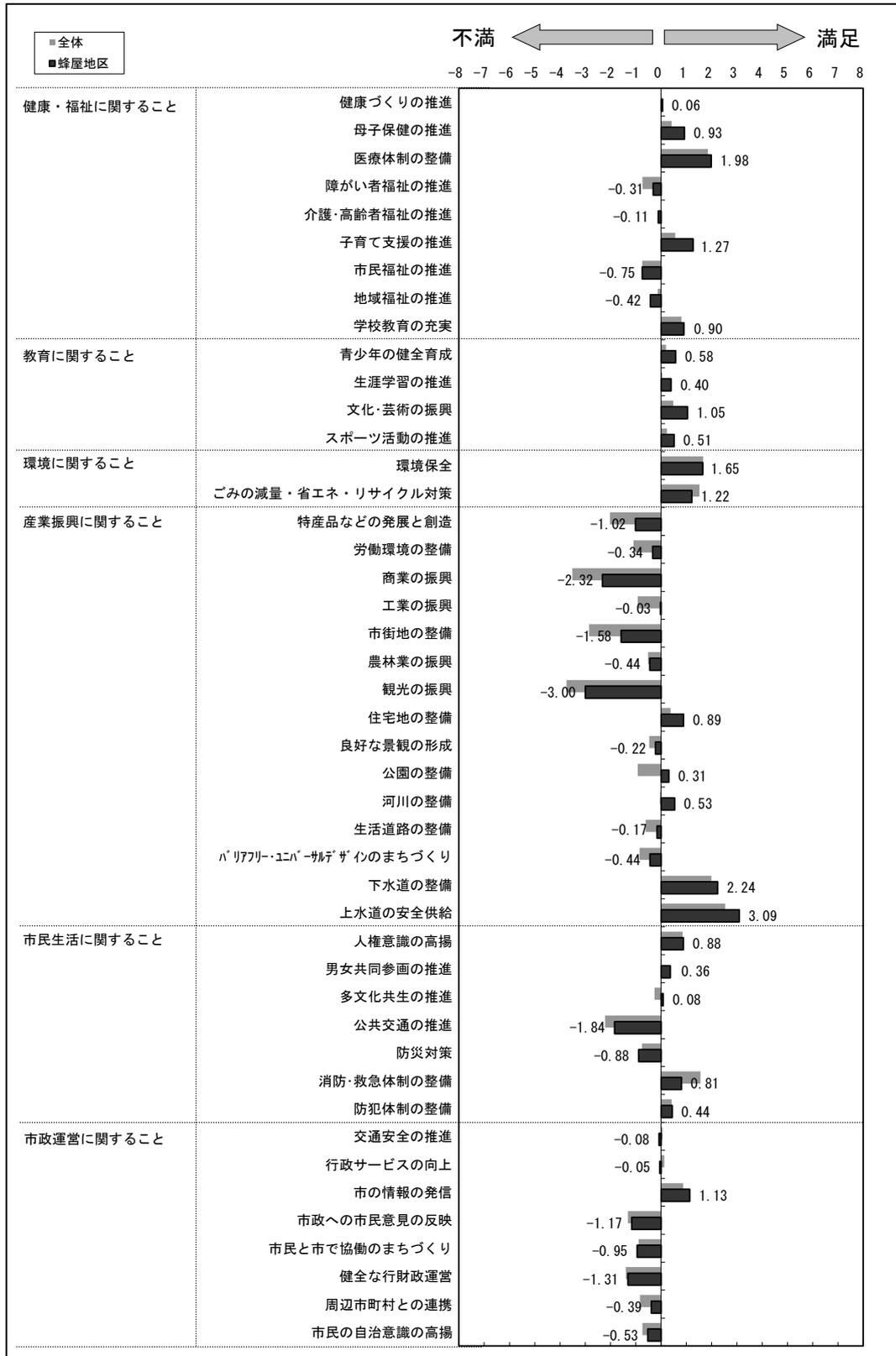


山之上

(単位：評価点)

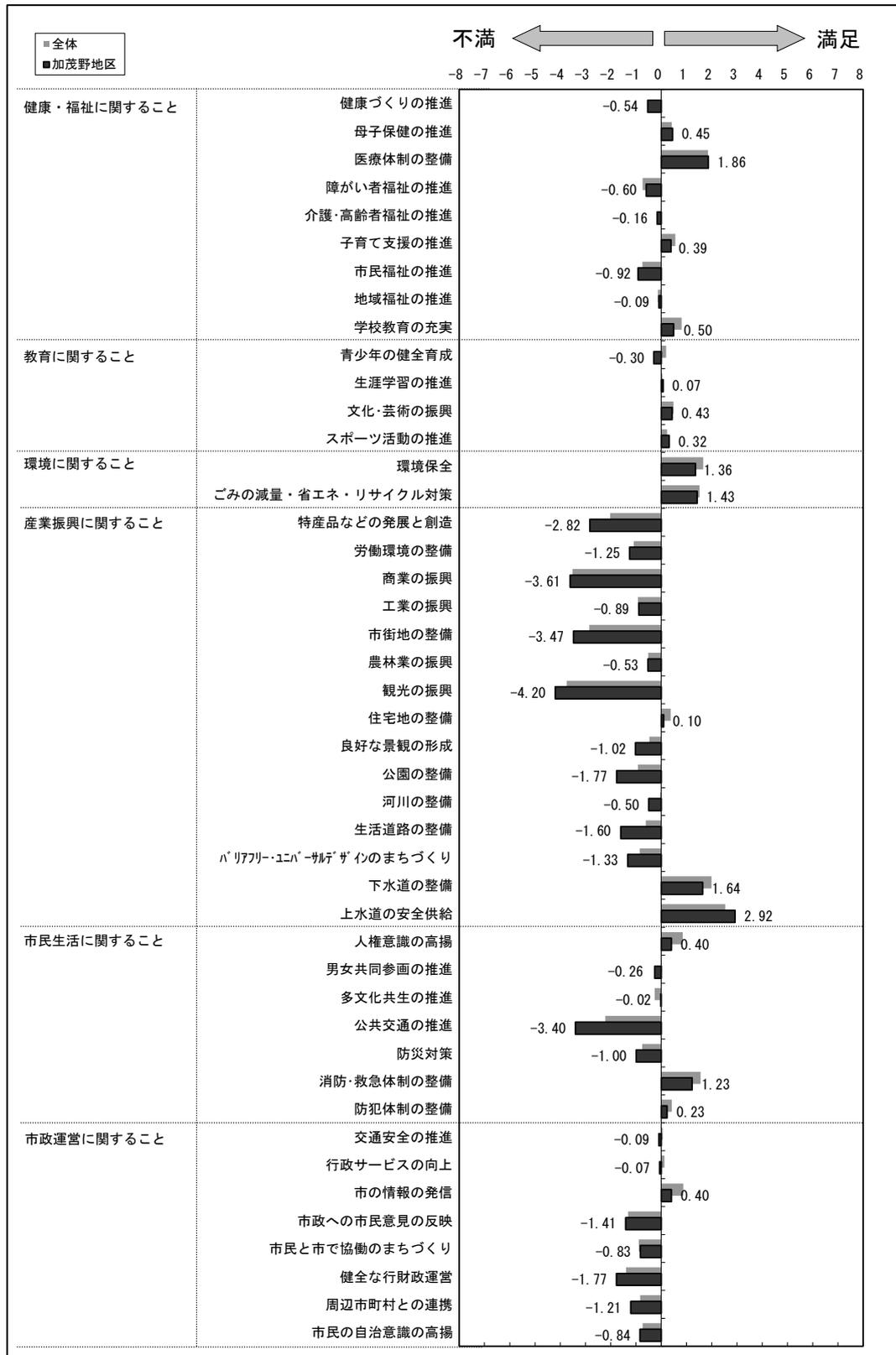


(単位：評価点)

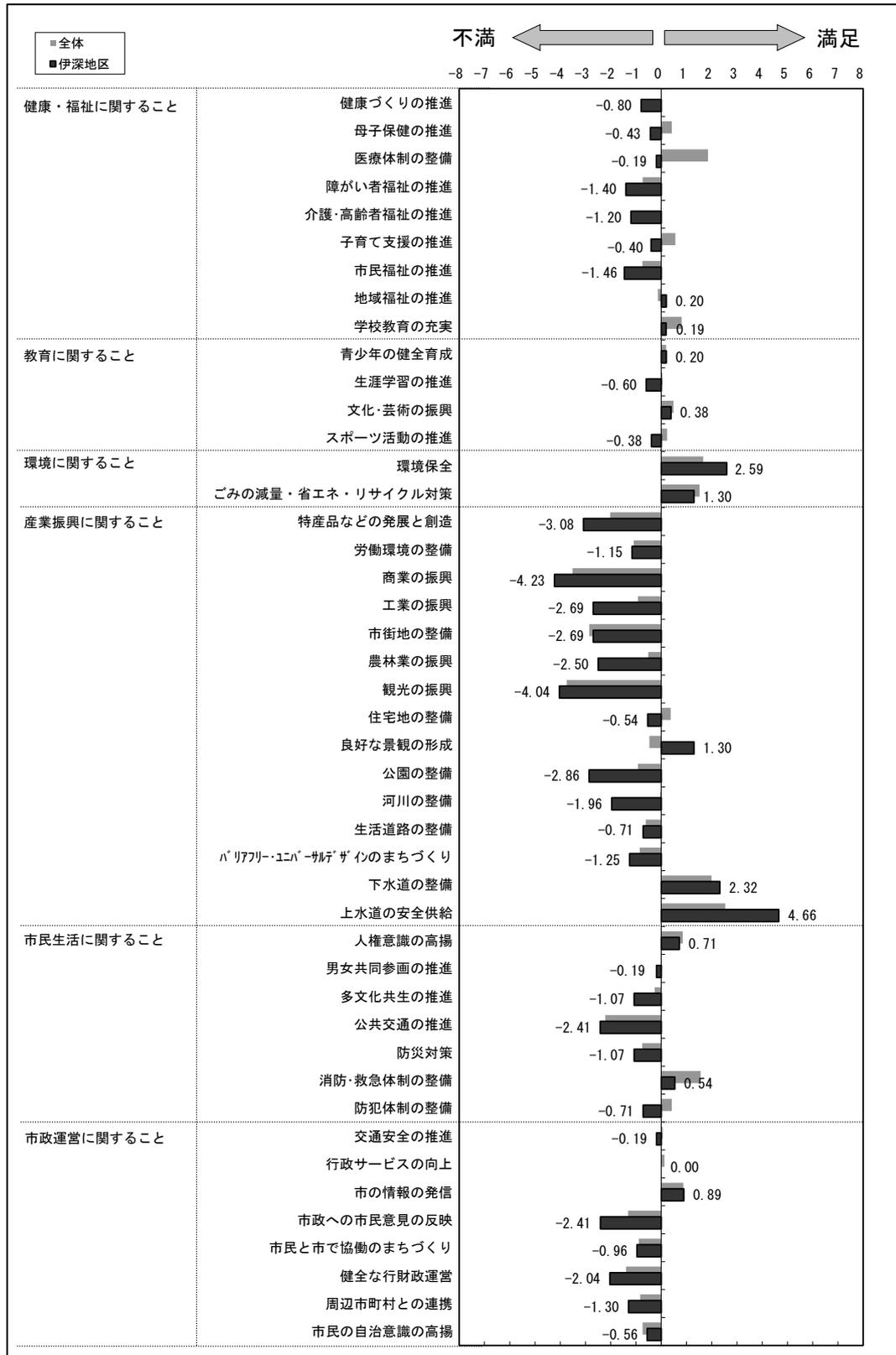


加茂野

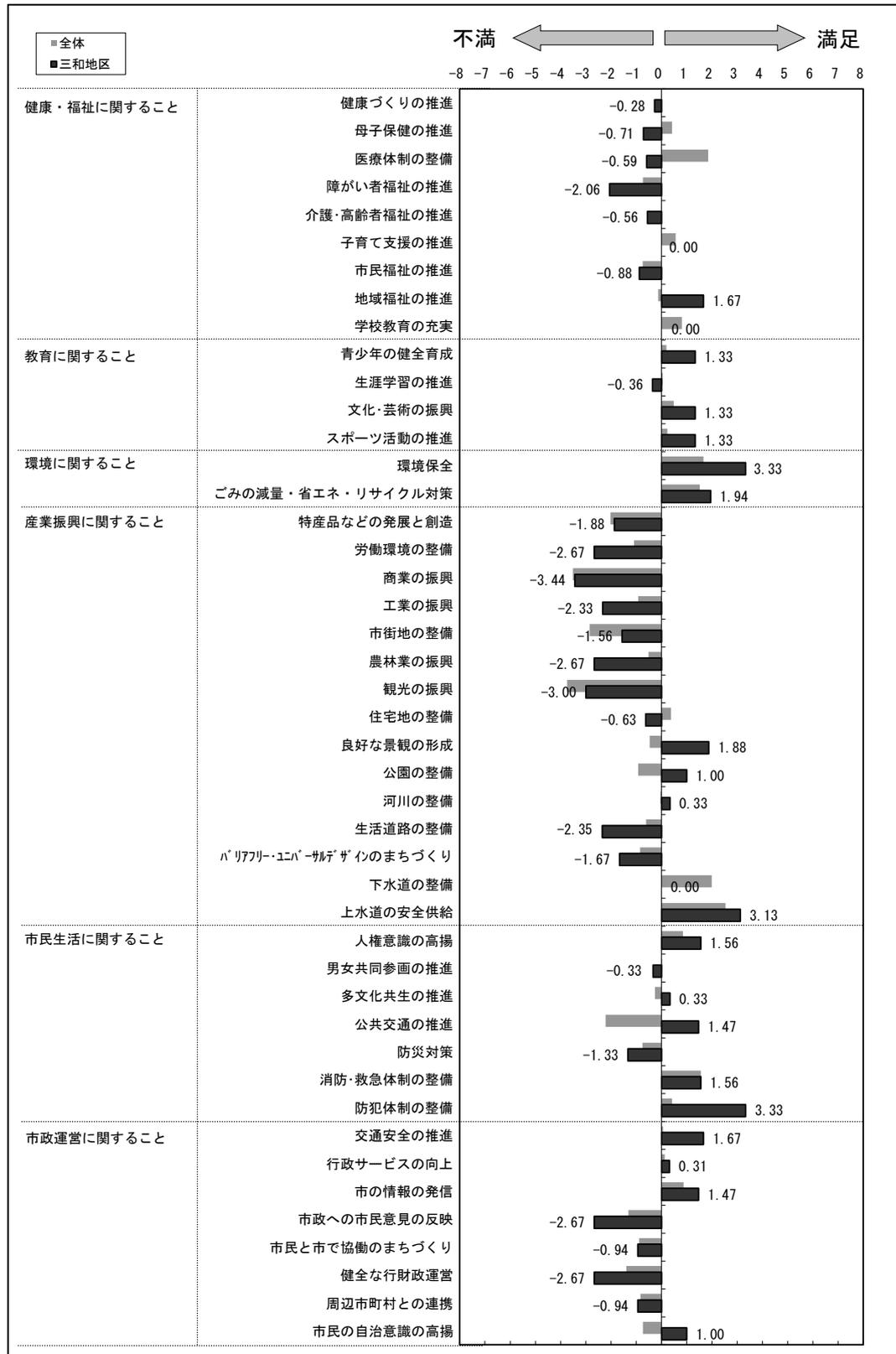
(単位：評価点)



(単位：評価点)

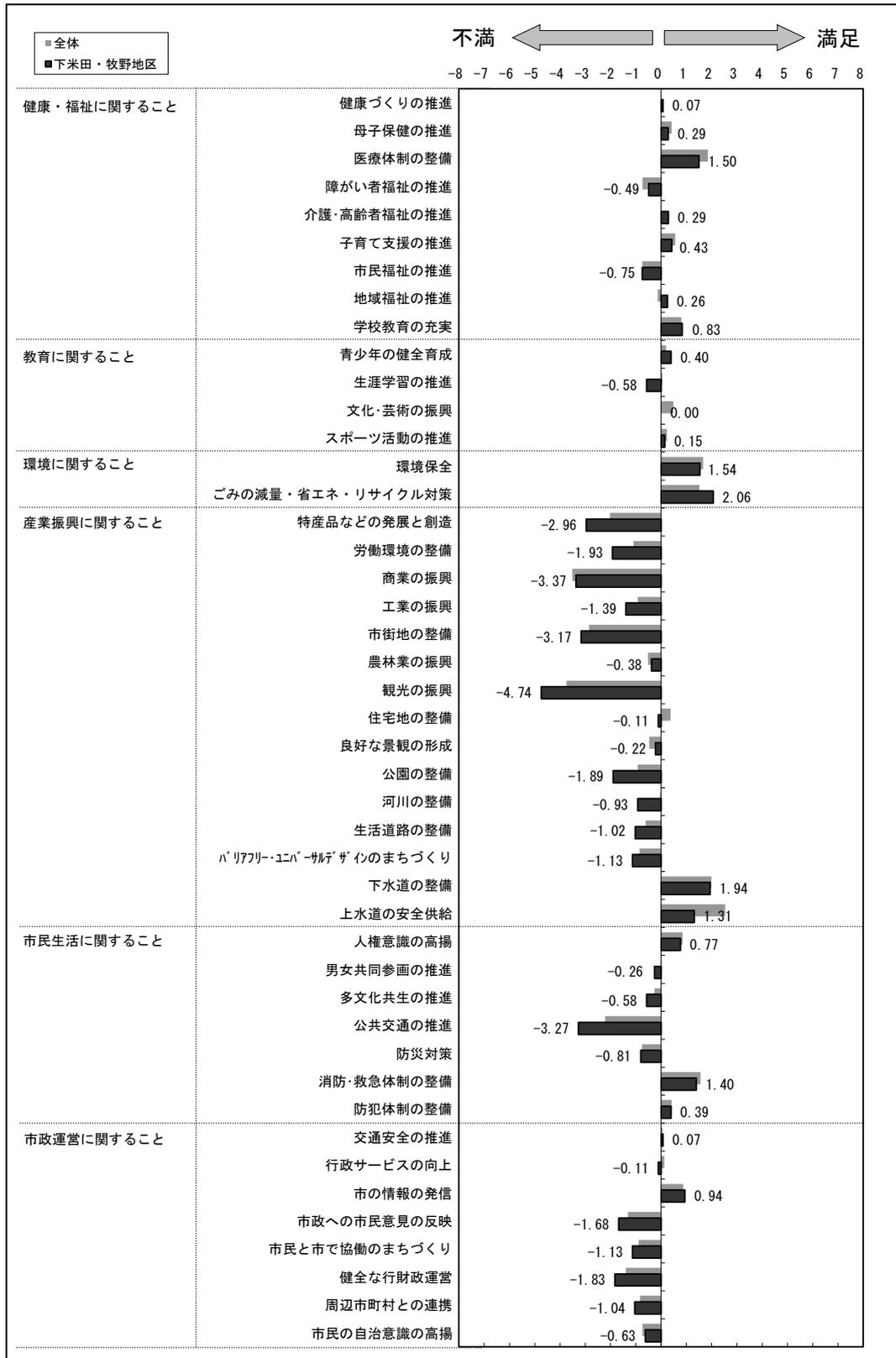


(単位：評価点)



下米田・牧野

(単位：評価点)



(2) 市の各環境に関する重要度

問5 これまで美濃加茂市第5次総合計画（平成22年度～平成31年度）に沿って進めてきた、各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。

(2) これからの重要度

● 重要度が最も高い項目は「医療体制の整備」。次いで「防犯体制の整備」、「介護・高齢者福祉の推進」、「上水道の安全供給」の順。

市の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ7分野45項目について、「重要である」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は「医療体制の整備」（6.98点）となっており、次いで第2位が「防犯体制の整備」（6.71点）、第3位が「介護・高齢者福祉の推進」（6.65点）、以下、「上水道の安全供給」（6.25点）、「交通安全の推進」（6.09点）、「子育て支援の推進」（6.08点）、「健康づくりの推進」（6.07点）、「環境保全」（5.93点）、「ごみの減量・省エネ・リサイクル対策」（5.80点）、「防災対策」（5.76点）などの順となっています。

これら上位10項目をみると、健康・福祉に関することが5項目、市民生活に関することが3項目、環境に関することが2項目となっており、健康・福祉のまちづくりと快適で安全・安心な環境づくりが重視されていることがうかがえます。〔図表9参照〕

また、これを居住地区別でみると、以下のとおりとなっています。

太田

重要度の上位5項目は、第1位が「医療体制の整備」（7.01点）、第2位が「防犯体制の整備」（6.77点）、第3位が「介護・高齢者福祉の推進」（6.44点）、以下、「上水道の安全供給」（6.27点）、「子育て支援の推進」（6.05点）の順となっています。

〔図表10参照〕

古井

重要度の上位5項目は、第1位が「医療体制の整備」（6.95点）、第2位が「介護・高齢者福祉の推進」（6.86点）、第3位が「防犯体制の整備」（6.84点）、以下、「上水道の安全供給」（6.37点）、「健康づくりの推進」（6.23点）の順となっています。

〔図表10参照〕

山之上

重要度の上位5項目は、第1位が「介護・高齢者福祉の推進」(7.23点)、第2位が「防犯体制の整備」(6.90点)、第3位が「医療体制の整備」(6.82点)、以下、「上水道の安全供給」(6.75点)、「子育て支援の推進」(6.60点)の順となっています。

[図表 10 参照]

蜂屋

重要度の上位5項目は、第1位が「医療体制の整備」(6.74点)、第2位が「介護・高齢者福祉の推進」(6.55点)、第3位が「健康づくりの推進」(6.48点)、以下、「防犯体制の整備」(6.39点)、「子育て支援の推進」(6.32点)の順となっています。

[図表 10 参照]

加茂野

重要度の上位5項目は、第1位が「医療体制の整備」(7.27点)、第2位が「防犯体制の整備」(6.79点)、第3位が「介護・高齢者福祉の推進」(6.61点)、以下、「子育て支援の推進」(6.08点)、「環境保全」(6.02点)の順となっています。

[図表 10 参照]

伊深

重要度の上位5項目は、第1位が「交通安全の推進」(8.15点)、第2位が「医療体制の整備」(8.13点)、第3位が「防犯体制の整備」(7.96点)、以下、「ごみの減量・省エネ・リサイクル対策」(7.59点)、「母子保健の推進」(7.38点)の順となっています。[図表 10 参照]

三和

重要度の上位5項目は、第1位が「介護・高齢者福祉の推進」(7.19点)、第2位が「市政への市民意見の反映」(6.56点)、第3位が「生活道路の整備」(6.47点)、第4位が「交通安全の推進」(5.88点)、以下、「地域福祉の推進」・「防災対策」・「健全な行財政運営」・「市民の自治意識の高揚」の4項目がいずれも5.63点の同点第5位となっています。[図表 10 参照]

下米田・牧野

重要度の上位5項目は、第1位が「医療体制の整備」(7.16点)、第2位が「防犯体制の整備」(6.73点)、第3位が「上水道の安全供給」(6.62点)、以下、「介護・高齢者福祉の推進」(6.44点)、「交通安全の推進」(6.20点)の順となっています。

[図表 10 参照]

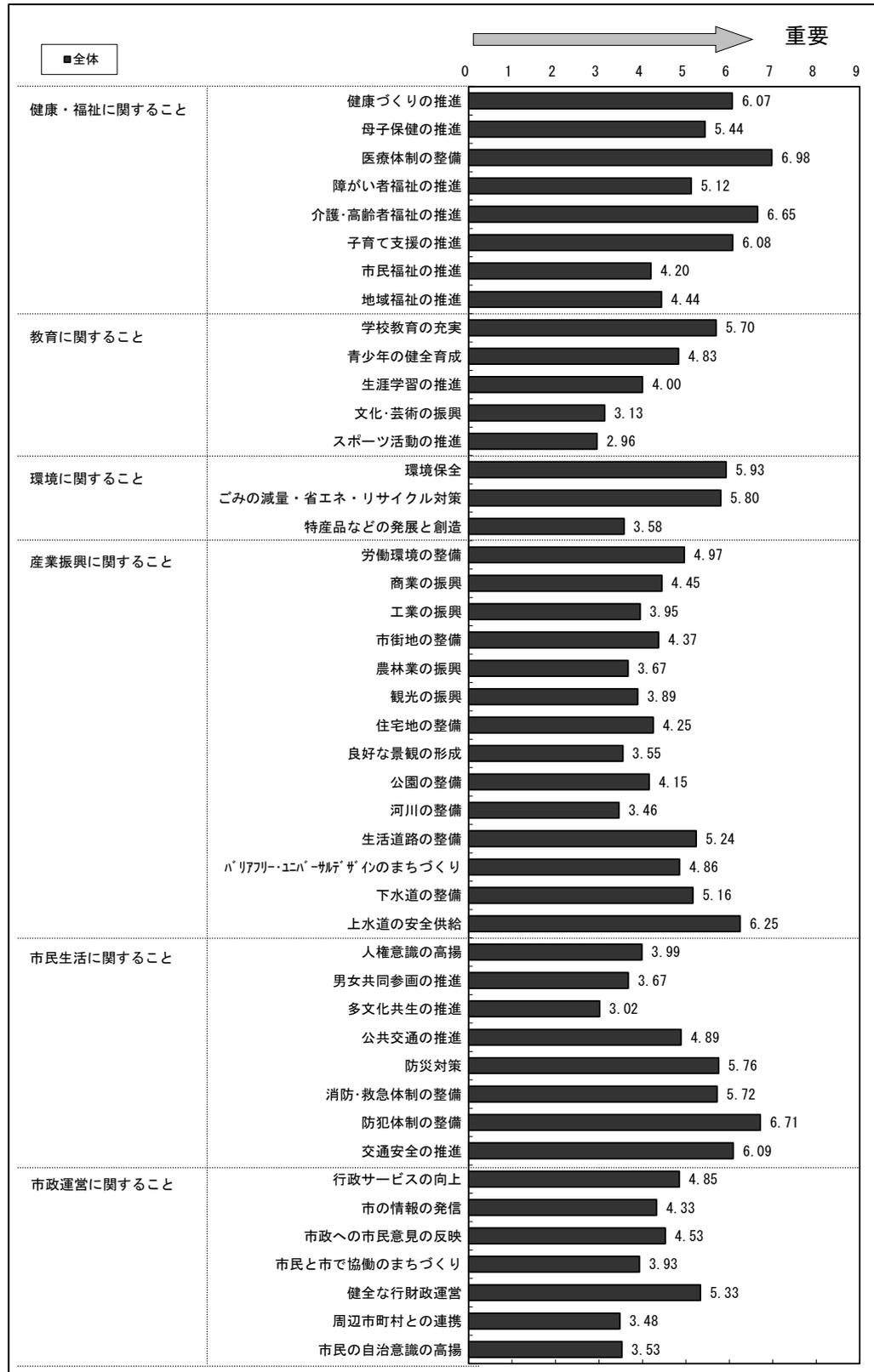
※加重平均値による評価点（重要度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重要である」、「やや重要」、} \\ \text{「どちらともいえない」、「あま} \\ \text{り重要でない」、「重要でない」} \\ \text{の回答者数} \end{array}}$$

図表9 市の各環境に関する重要度（全体）

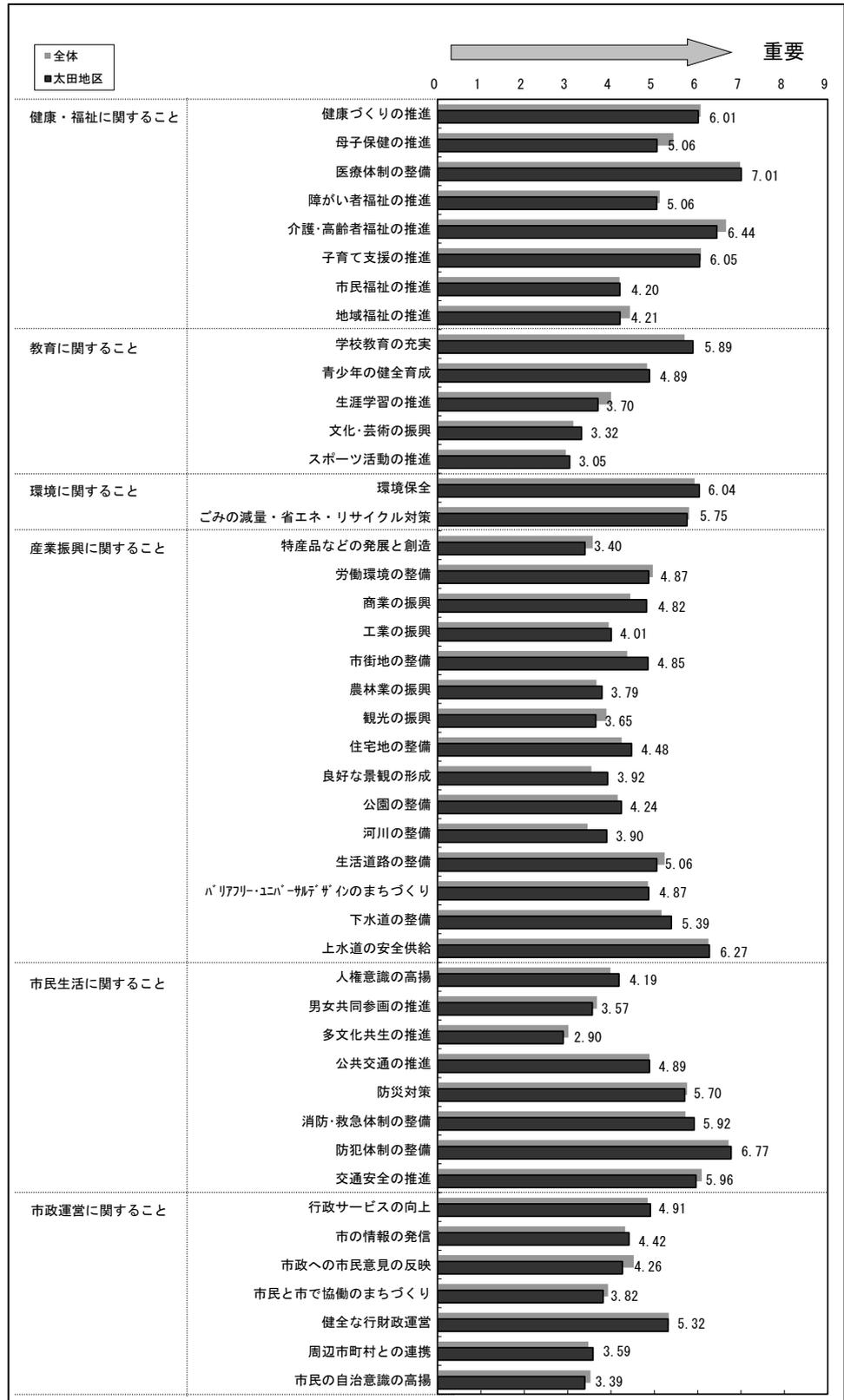
（単位：評価点）



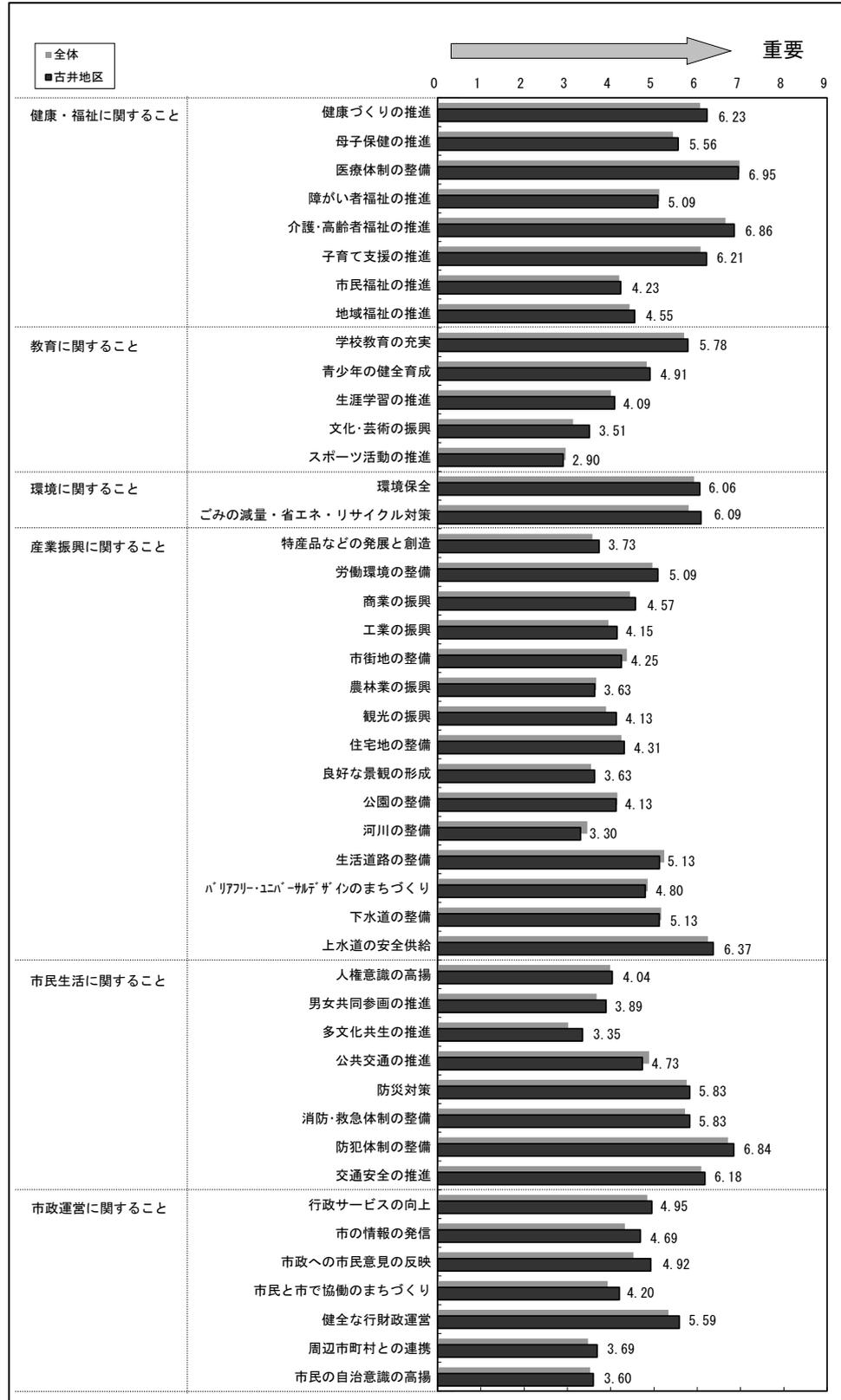
図表 10 市の各環境に関する重要度（居住地区）

太田

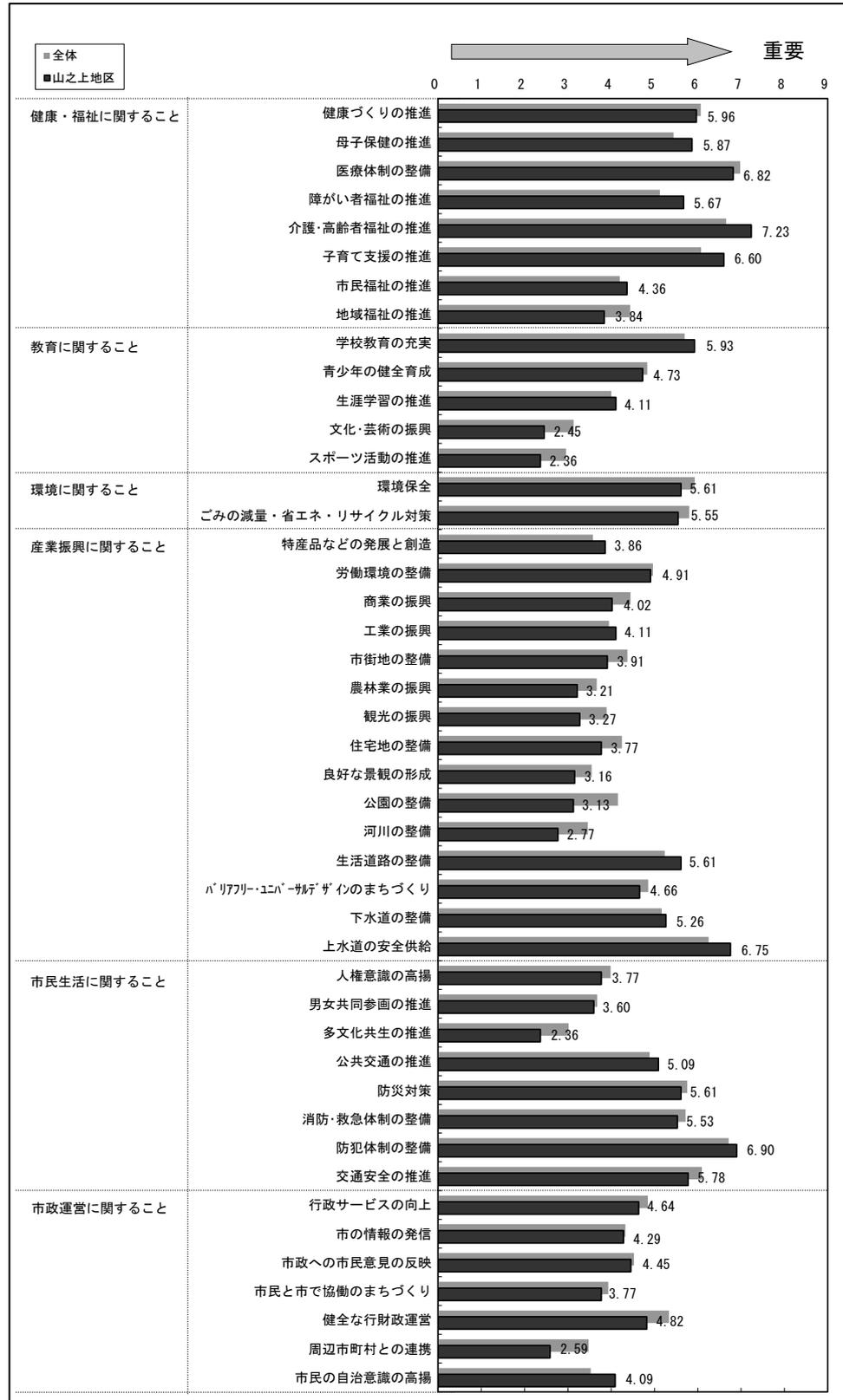
（単位：評価点）



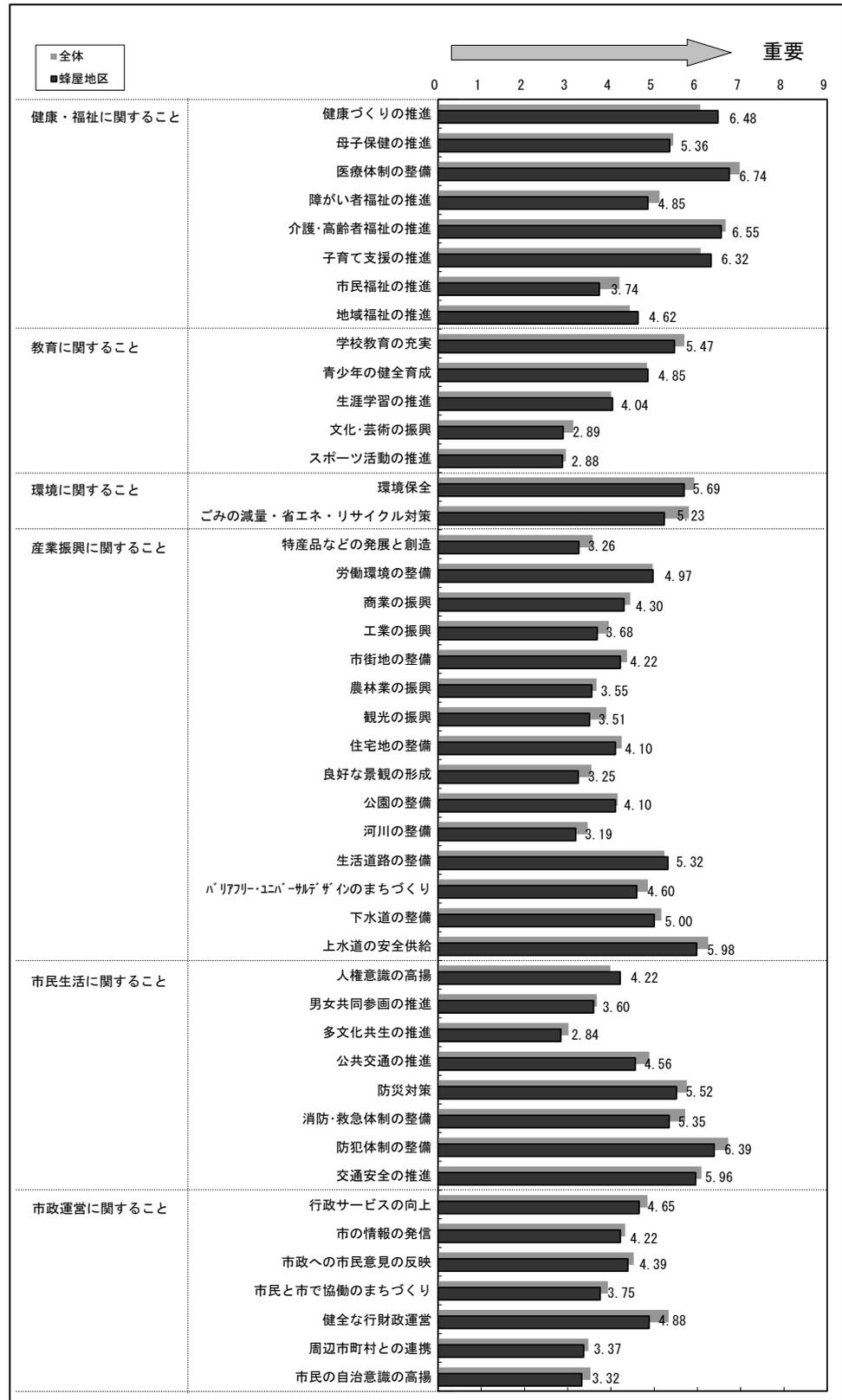
(単位：評価点)



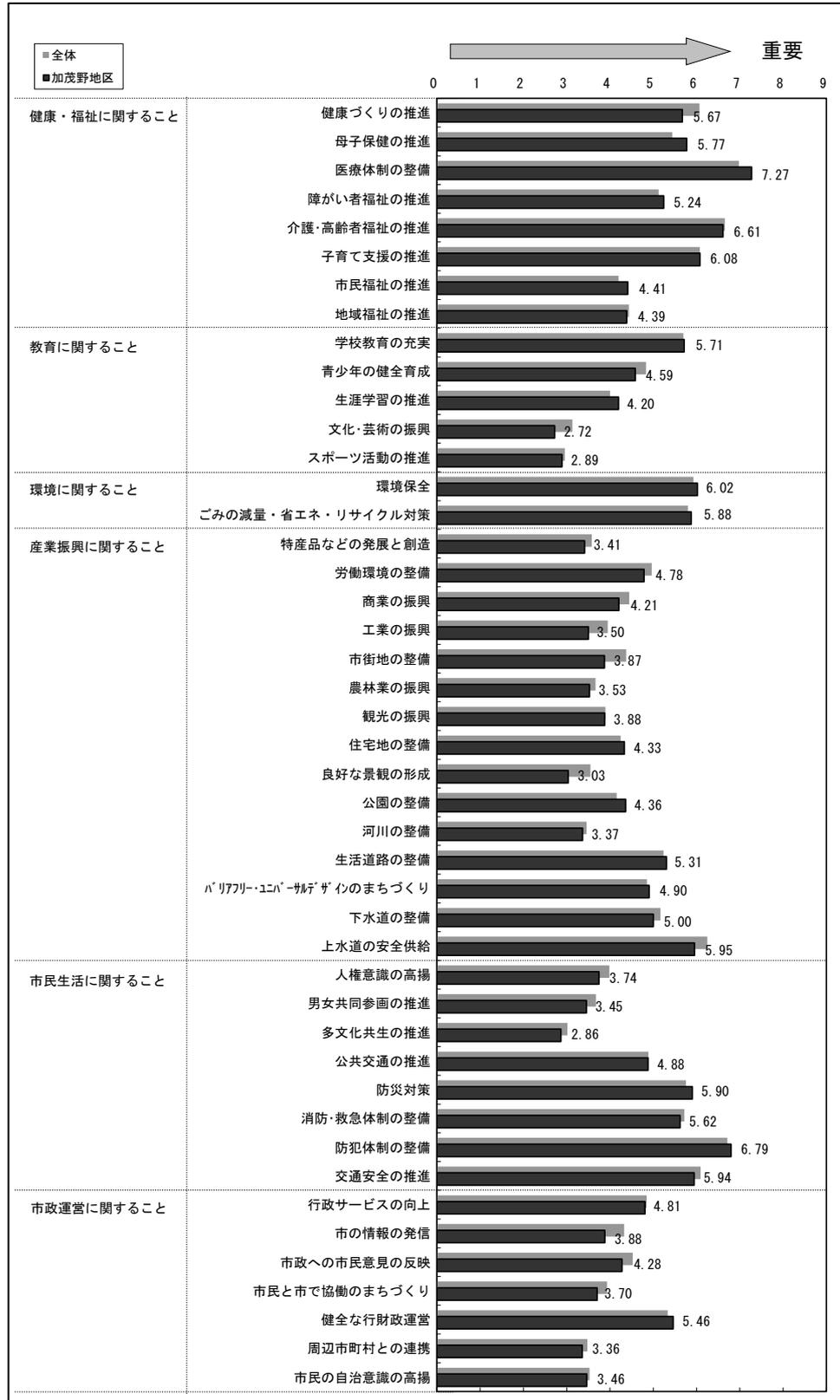
(単位：評価点)



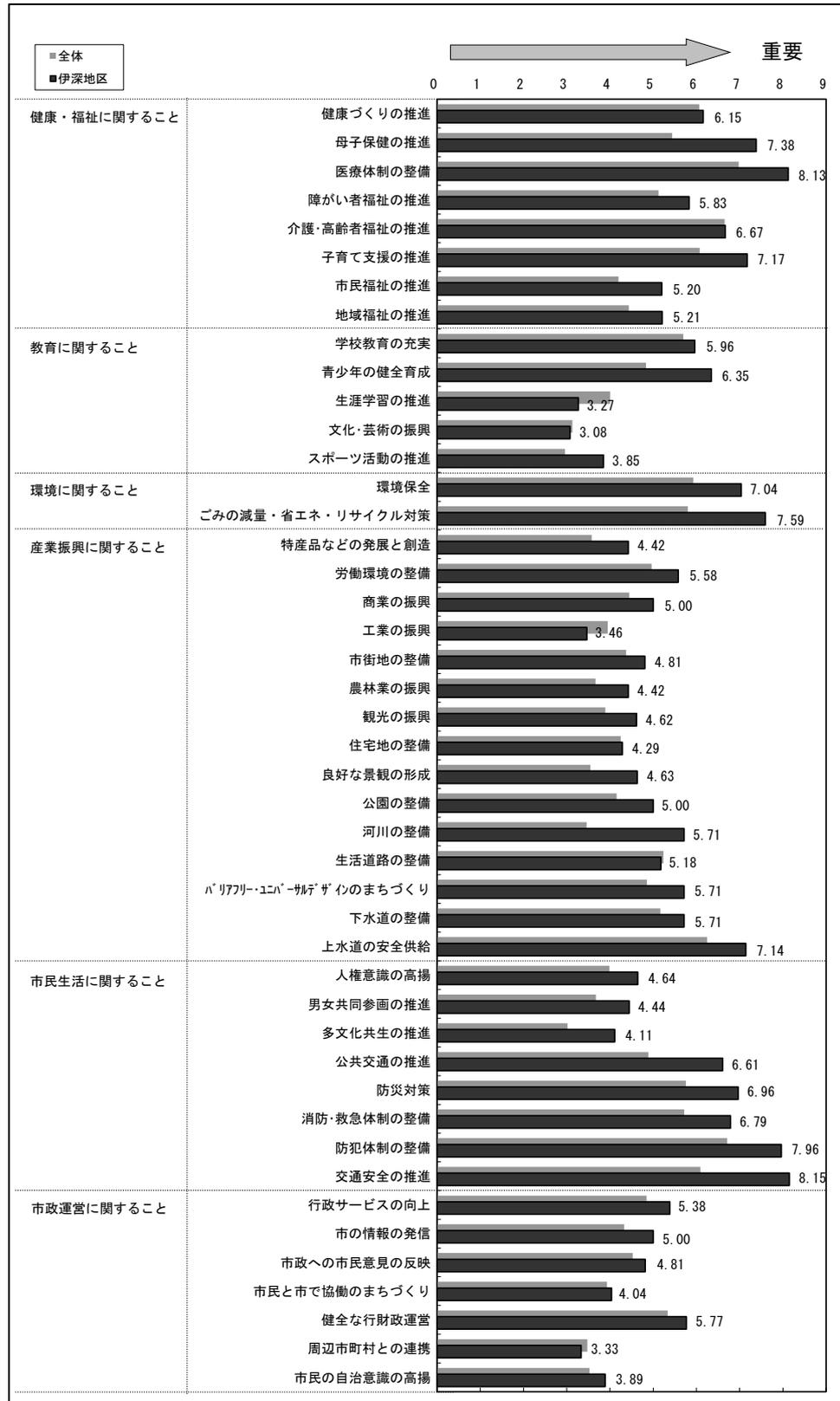
(単位：評価点)



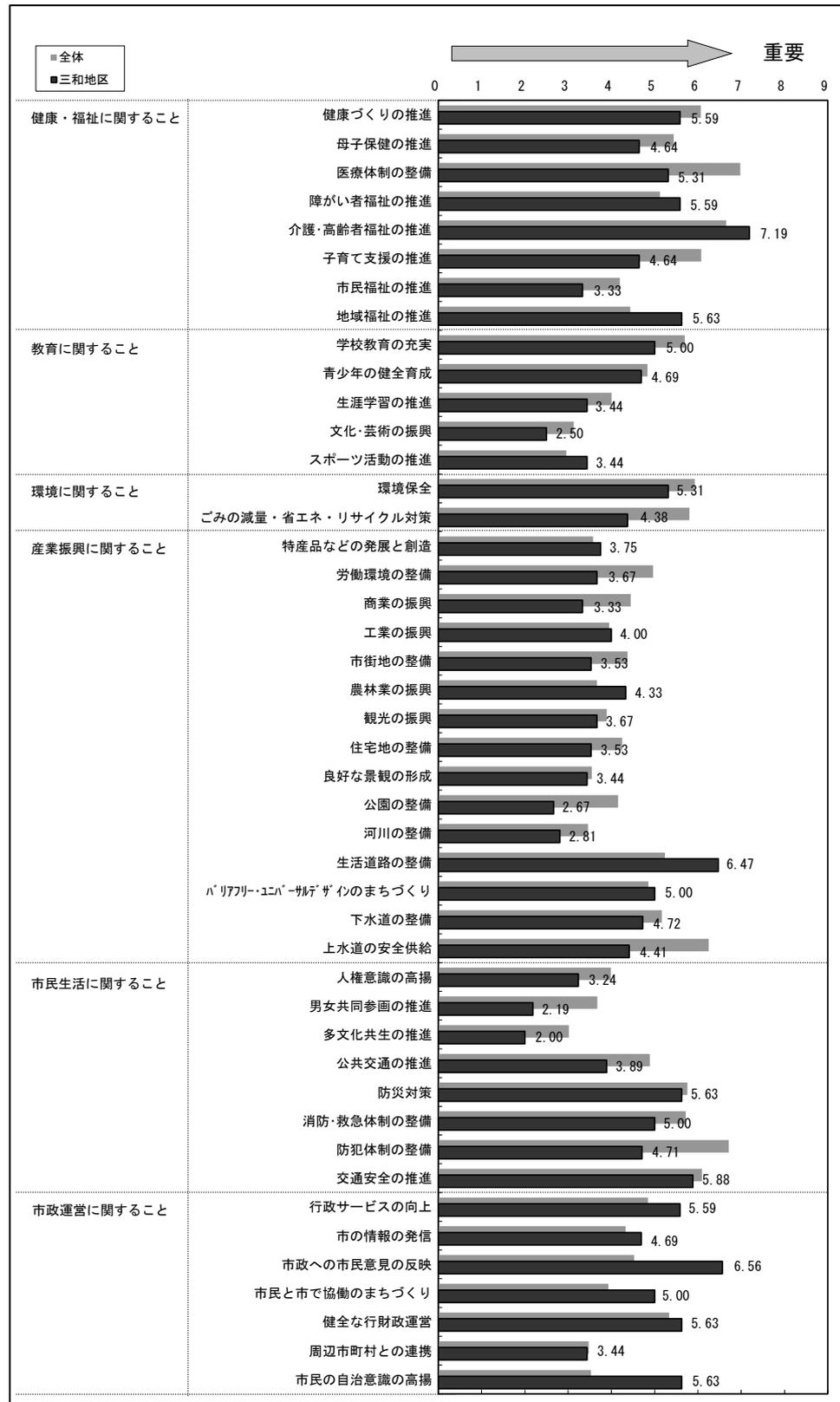
(単位：評価点)



(単位：評価点)

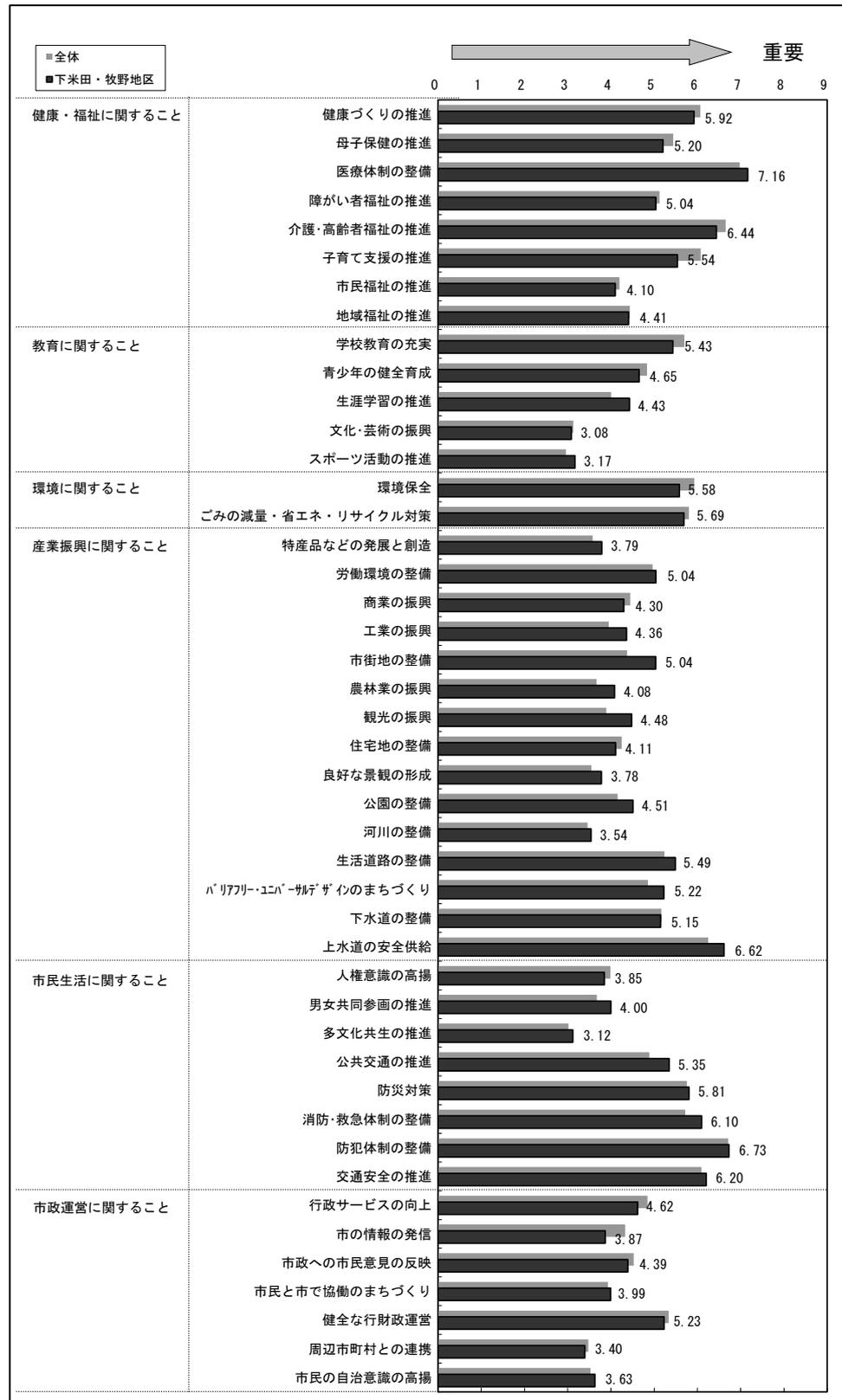


(単位：評価点)



下米田・牧野

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

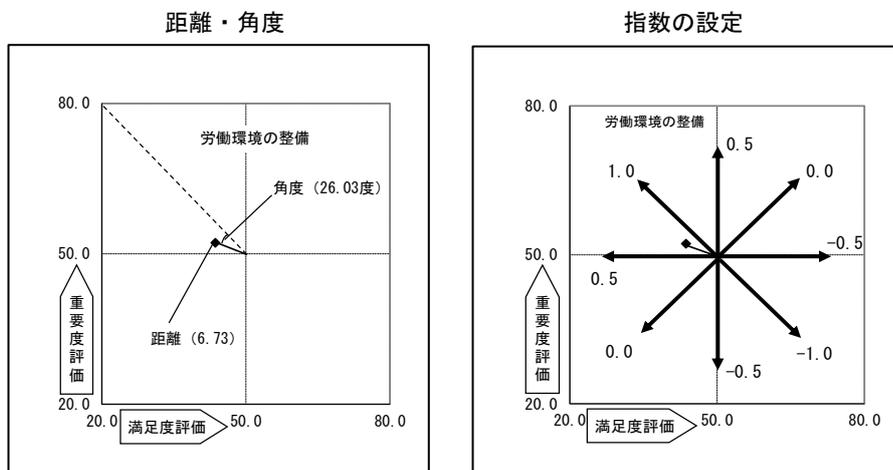
● 満足度と重要度の相関からみた優先度が最も高い項目は「商業の振興」。次いで「健全な行財政運営」、「観光の振興」、「公共交通の推進」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化【後述参照】で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

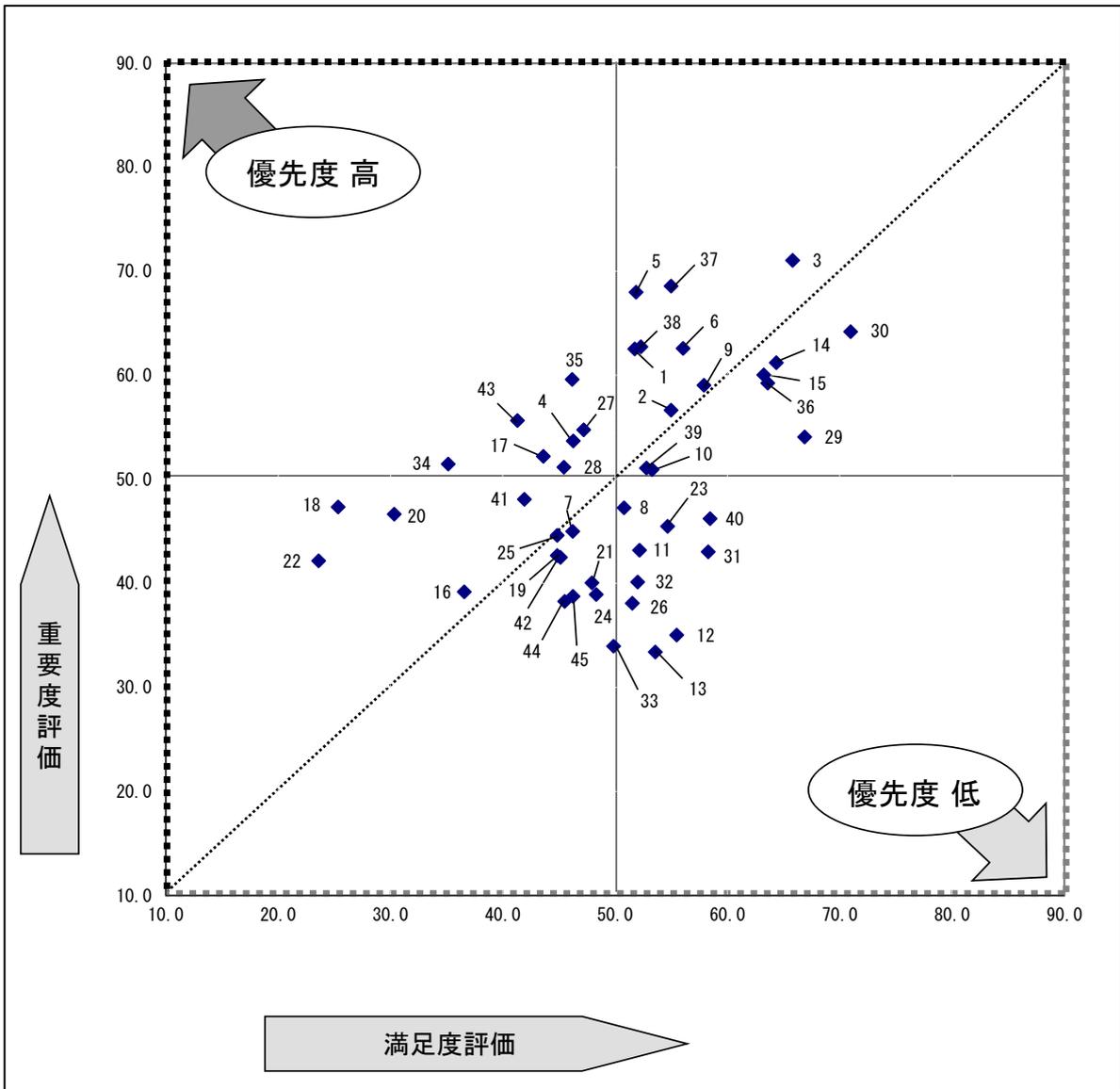
この結果をみると、優先度は、「商業の振興」（10.69 点）が第 1 位で、次いで「健全な行財政運営」（8.98 点）、「観光の振興」（8.70 点）、「公共交通の推進」（8.40 点）、「介護・高齢者福祉の推進」（7.84 点）、「市街地の整備」（7.82 点）、「防災対策」（7.64 点）、「防犯体制の整備」（6.39 点）、「障がい者福祉の推進」（5.21 点）、「健康づくりの推進」（5.20 点）などの順となっています。[図表 11・12 参照]

※散布図による評価点（優先度）の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「労働環境の整備」→満足度偏差値 43.63…、重要度偏差値 52.19…
- ② ①で算出した偏差値から、平均（中心）からの距離を算出する。
例：「労働環境の整備」→ $6.73… = \sqrt{(43.63-50)^2 + (52.19-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「労働環境の整備」→26.03 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる）。
例：「労働環境の整備」→ $0.7108 = (90-26.03) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「労働環境の整備」→ $4.79 = 6.73… \times 0.7108…$



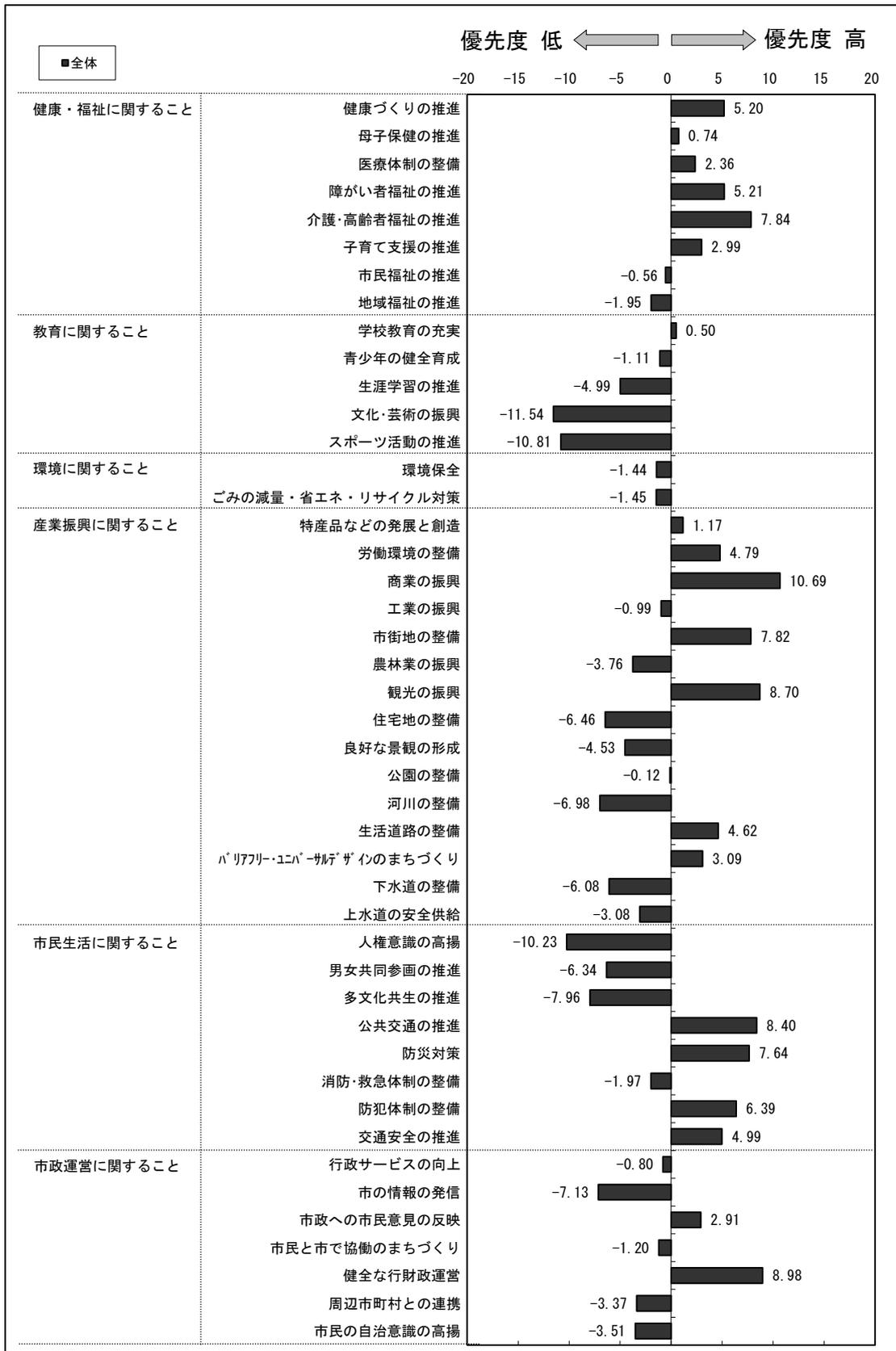
図表 11 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



| 優先度高い | | 優先度低い | |
|---------------|----------------------------|---------------|----------------------|
| 18 商業の振興 | 28 パリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり | 12 文化・芸術の振興 | 44 周辺市町村との連携 |
| 43 健全な行財政運営 | 6 子育て支援の推進 | 13 スポーツ活動の推進 | 30 上水道の安全供給 |
| 22 観光の振興 | 41 市政への市民意見の反映 | 31 人権意識の高揚 | 36 消防・救急体制の整備 |
| 34 公共交通の推進 | 3 医療体制の整備 | 33 多文化共生の推進 | 8 地域福祉の推進 |
| 5 介護・高齢者福祉の推進 | 16 特産品などの発展と創造 | 40 市の情報の発信 | 15 ごみの減量・省エネ・リサイクル対策 |
| 20 市街地の整備 | 2 母子保健の推進 | 26 河川の整備 | 14 環境保全 |
| 35 防災対策 | 9 学校教育の充実 | 23 住宅地の整備 | 42 市民と市で協働のまちづくり |
| 37 防犯体制の整備 | | 32 男女共同参画の推進 | 10 青少年の健全育成 |
| 4 障がい者福祉の推進 | | 29 下水道の整備 | 19 工業の振興 |
| 1 健康づくりの推進 | | 11 生涯学習の推進 | 39 行政サービスの向上 |
| 38 交通安全の推進 | | 24 良好な景観の形成 | 7 市民福祉の推進 |
| 17 労働環境の整備 | | 21 農林業の振興 | 25 公園の整備 |
| 27 生活道路の整備 | | 45 市民の自治意識の高揚 | |

図表 12 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



3 まちづくりの意識と取り組みについて

(1) 運動・スポーツを行った日数

問5-1 運動・スポーツ（通勤途上に意識的にウォーキングをする場合なども含む）を行った日数はどのくらいですか。

- 運動・スポーツを行った日数は「週1～2日」が最も多く、次いで「週3日以上」が続く。

運動・スポーツを行った日数は、「週1～2日」（22.8%）が最も多く、次いで、「週3日以上」（22.7%）、「月1～3日」（19.4%）、「年3日以下」（17.8%）、「3か月に1～2日」（12.2%）となっています。[図表13参照]

図表13 運動・スポーツを行った日数（全体・性別・年齢・居住地区）

| | | 週3日以上 | 週1～2日 | 月1～3日 | 3か月に1～2日 | 年3日以下 | 無回答 | n |
|------|--------|-------|-------|-------|----------|-------|------|------|
| 全体 | | 22.7 | 22.8 | 19.4 | 12.2 | 17.8 | 5.2 | 1421 |
| 性別 | 男性 | 22.9 | 23.5 | 21.1 | 12.2 | 16.2 | 4.1 | 630 |
| | 女性 | 22.8 | 22.5 | 18.1 | 12.3 | 19.2 | 5.0 | 755 |
| 年齢 | 10・20代 | 15.5 | 26.2 | 21.4 | 18.4 | 17.5 | 0.0 | 103 |
| | 30代 | 12.9 | 19.0 | 27.6 | 19.0 | 21.5 | 0.0 | 163 |
| | 40代 | 14.2 | 19.1 | 26.4 | 15.0 | 24.4 | 0.8 | 246 |
| | 50代 | 23.0 | 24.9 | 18.7 | 13.9 | 18.7 | 1.0 | 209 |
| | 60代 | 24.5 | 26.0 | 17.2 | 9.9 | 18.7 | 3.7 | 273 |
| | 70代 | 38.1 | 25.8 | 14.3 | 7.0 | 7.8 | 7.0 | 244 |
| | 80代以上 | 24.5 | 18.5 | 11.3 | 6.0 | 16.6 | 23.2 | 151 |
| 居住地区 | 太田 | 23.8 | 25.2 | 16.3 | 10.2 | 21.1 | 3.4 | 294 |
| | 古井 | 28.6 | 22.1 | 18.3 | 11.7 | 15.3 | 4.0 | 426 |
| | 山之上新 | 14.1 | 35.9 | 18.8 | 9.4 | 17.2 | 4.7 | 64 |
| | 蜂屋 | 16.8 | 26.1 | 21.7 | 13.6 | 16.8 | 4.9 | 184 |
| | 加茂野 | 18.5 | 19.4 | 24.8 | 15.3 | 17.6 | 4.5 | 222 |
| | 伊深 | 20.7 | 6.9 | 17.2 | 17.2 | 27.6 | 10.3 | 29 |
| | 三和 | 16.7 | 33.3 | 27.8 | 5.6 | 11.1 | 5.6 | 18 |
| | 下米田・牧野 | 22.1 | 20.0 | 17.9 | 11.7 | 20.0 | 8.3 | 145 |

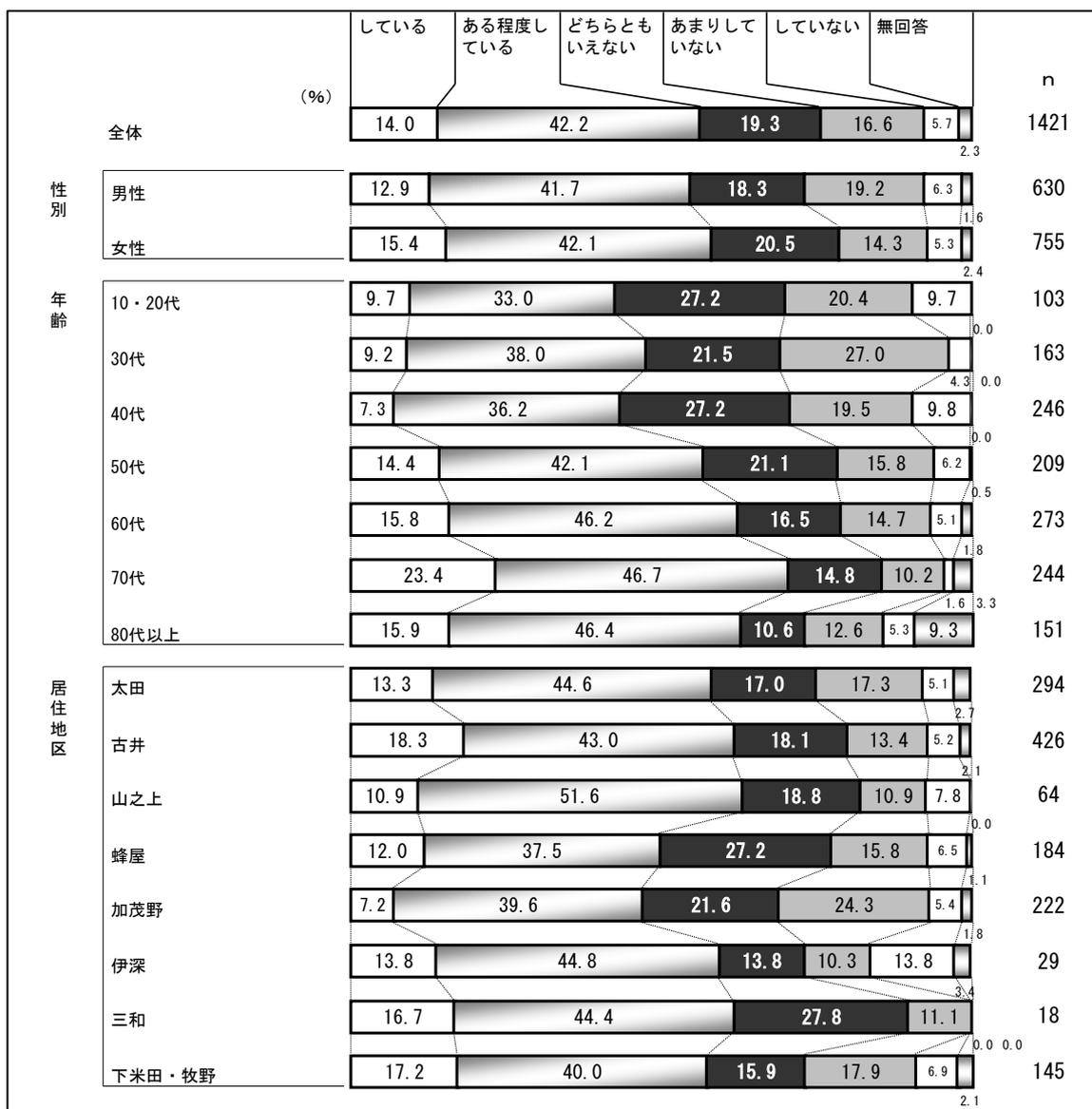
(2) 食生活の改善や運動など健康管理のための取り組み

問5-2 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。

● “している”は56.2%、“していない”は22.3%。

食生活の改善や運動など健康管理のための取り組みについては、「ある程度している」と答えた人が42.2%で最も多く、これに「している」(14.0%)をあわせた“している”という人が56.2%と6割弱にのぼっています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(16.6%)と「していない」(5.7%)の合計)は22.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.3%となっています。[図表14参照]

図表14 食生活の改善や運動など健康管理のための取り組み(全体・性別・年齢・居住地区)



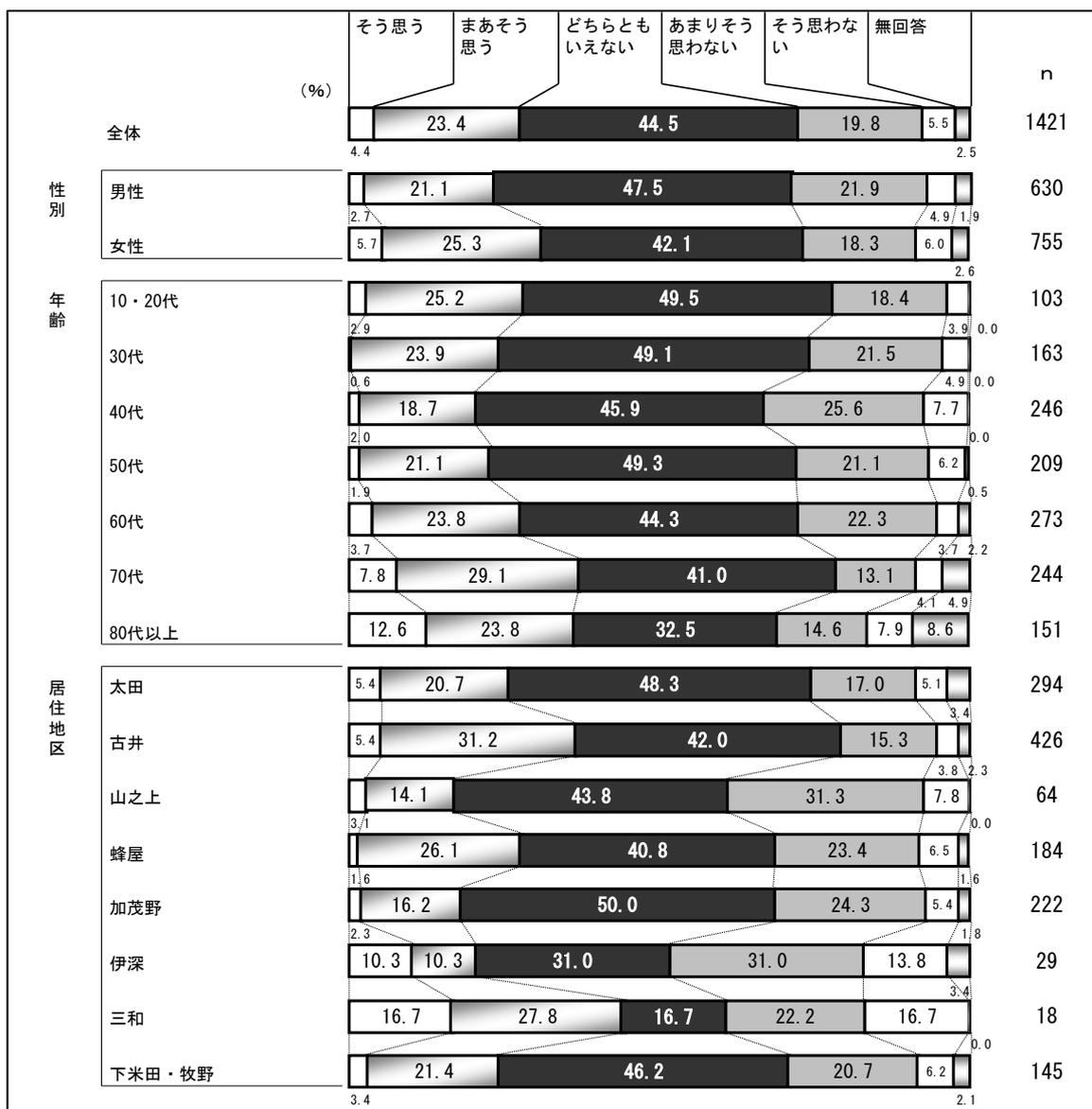
(3) 高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか

問 5-3 住んでいる地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

● “そう思う” は 27.8%、“そう思わない” は 25.3%。

地域が高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいかどうかたずねたところ、「どちらともいえない」と答えた人が 44.5%で最も多く、次いで「まあそう思う」が 23.4%で続き、これに「そう思う」(4.4%)をあわせた“そう思う”という人が 27.8%と3割弱にのぼっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(19.8%)と「そう思わない」(5.5%)の合計)は 25.3%となっています。[図表 15 参照]

図表 15 高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか (全体・性別・年齢・居住地区)



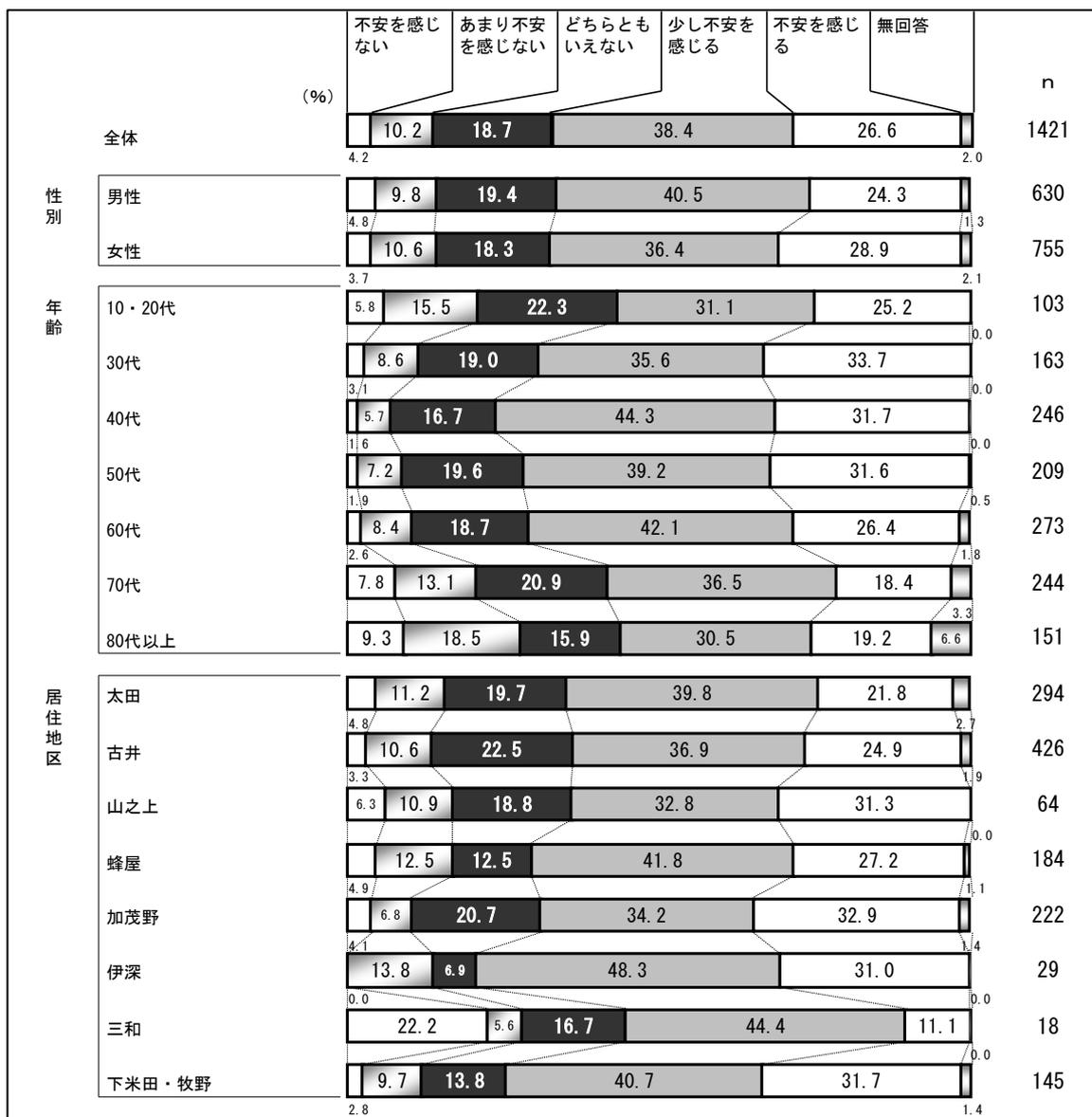
(4) 老後に不安を感じるか

問5-4 老後に不安を感じますか。

● “不安を感じる”は65.0%、“不安を感じない”は14.4%。

老後に不安を感じるかどうかについては、「少し不安を感じる」と答えた人が38.4%で最も多く、次いで「不安を感じる」と答えた人が26.6%で続き、これらをあわせた“不安を感じる”という人が65.0%にのぼっています。これに対し、“不安を感じない”という人（「あまり不安を感じない」(10.2%)と「不安を感じない」(4.2%)の合計）は14.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は18.7%となっています。[図表16参照]

図表16 老後に不安を感じるか（全体・性別・年齢・居住地区）



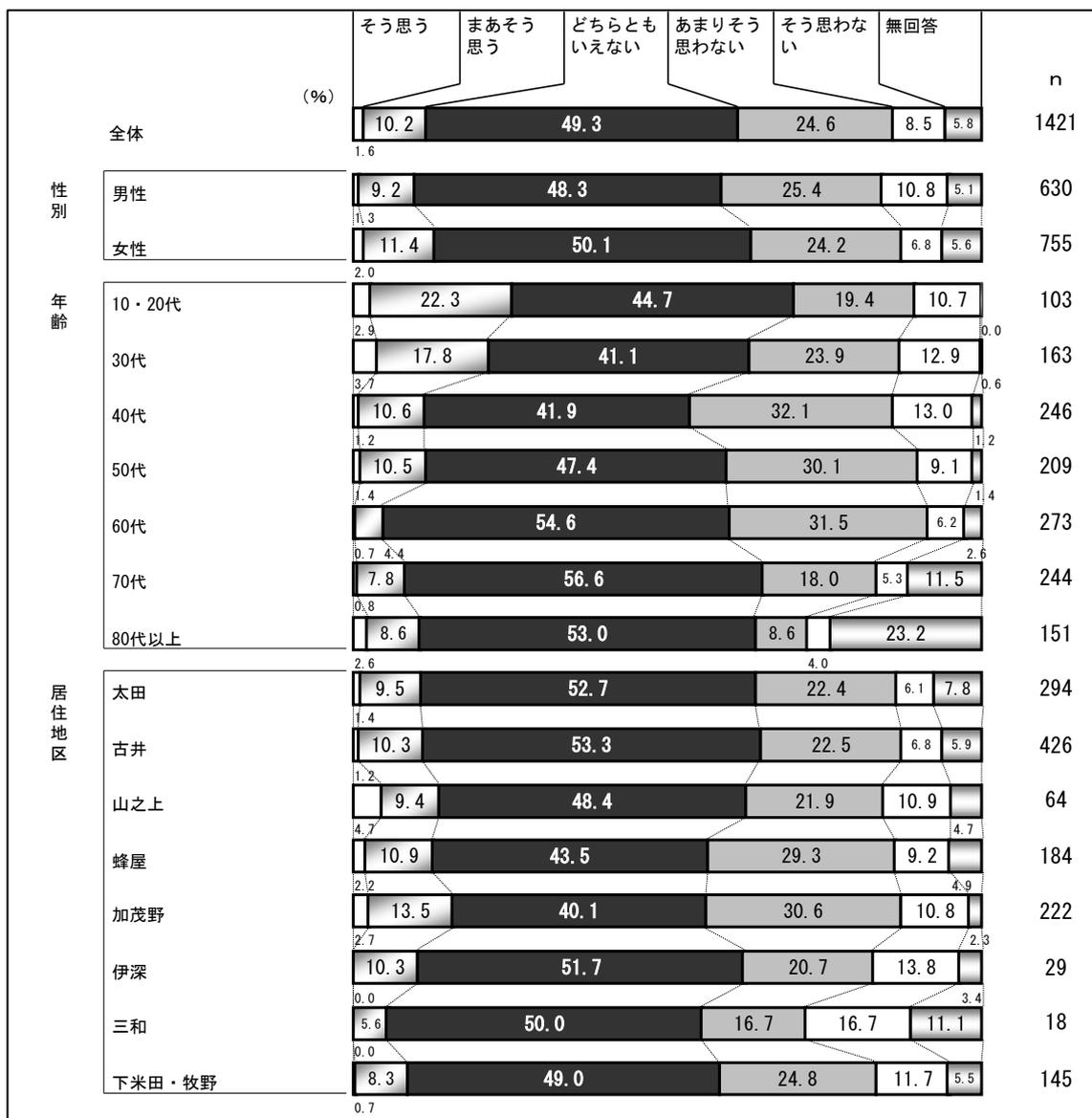
(5) 企業は子育て支援に積極的だと思うか

問5-5 企業は子育て支援に積極的だと思いますか。

● “そう思わない”は33.1%、“そう思う”は11.8%。

企業は子育て支援に積極的だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が49.3%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が24.6%で続き、これに「そう思わない」(8.5%)をあわせた“そう思わない”という人が33.1%と3割強にのぼっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(10.2%)と「そう思う」(1.6%)の合計)は11.8%となっています。[図表17参照]

図表17 企業は子育て支援に積極的だと思うか(全体・性別・年齢・居住地区)



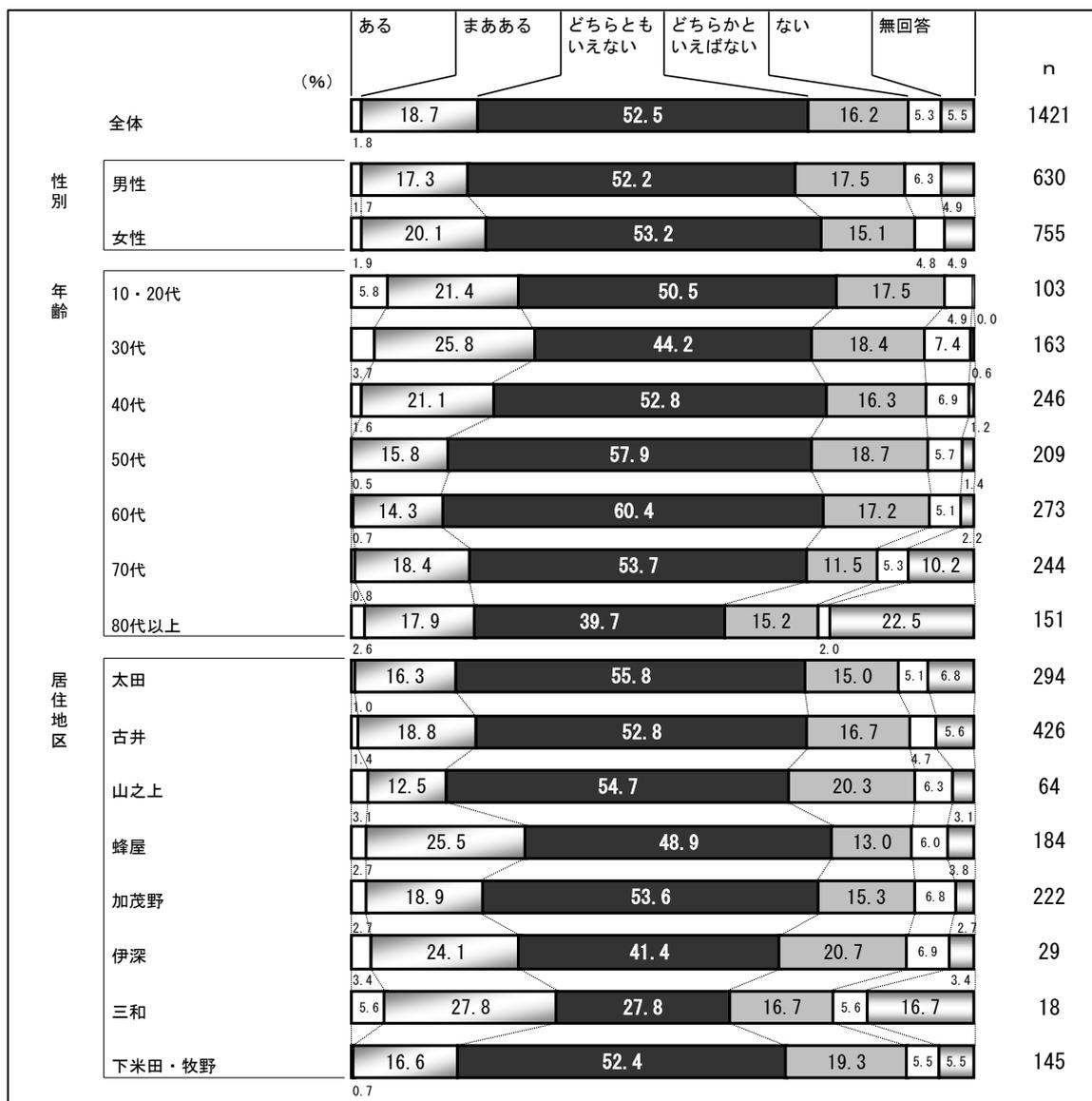
(6) 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか

問5-6 子育てについて地域で支え合う雰囲気がありますか。

● “ある”は20.5%、“ない”は21.5%。

子育てについて地域で支え合う雰囲気があるかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が52.5%で最も多く、次いで「まあある」が18.7%で続き、これに「ある」(1.8%)をあわせた“ある”という人が20.5%となっています。これに対し、“ない”という人(「どちらかといえはばない」(16.2%)と「ない」(5.3%)の合計)は21.5%となっています。[図表18参照]

図表18 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか(全体・性別・年齢・居住地区)



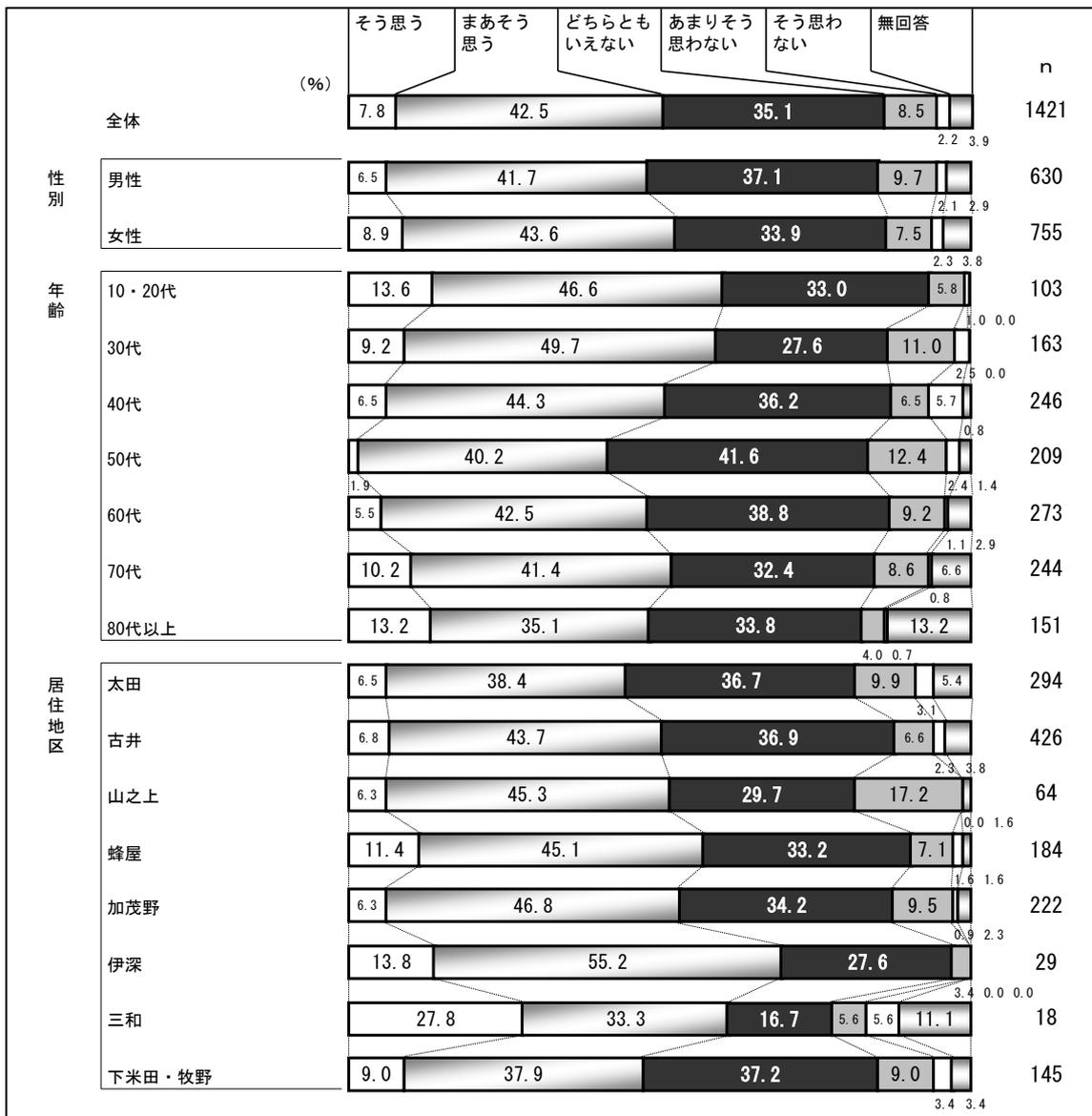
(7) 地域の子どもはのびのびと育っていると思うか

問5-7 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

● “そう思う”は50.3%、“そう思わない”は10.7%。

地域の子どもはのびのびと育っていると思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が42.5%で最も多く、これに「そう思う」(7.8%)をあわせた“そう思う”という人が50.3%と5割強にのぼっています。これに対し、“思わない”という人(「あまりそう思わない」(8.5%)と「そう思わない」(2.2%)の合計)は10.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は35.1%となっています。[図表19参照]

図表19 地域の子どもはのびのびと育っていると思うか(全体・性別・年齢・居住地区)



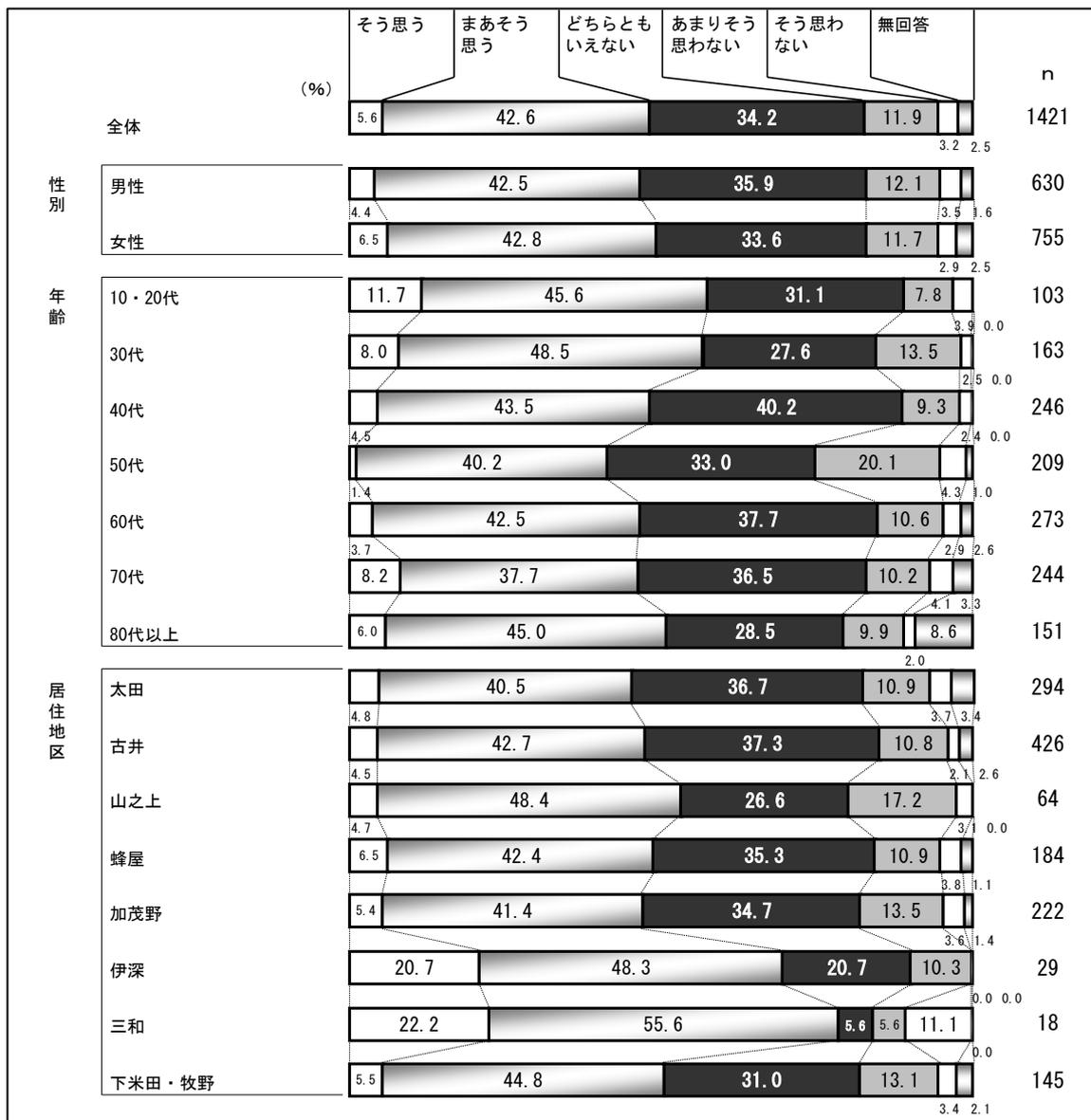
(8) 地域の自然環境は守られていると思うか

問5-8 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

● “そう思う”は48.2%、“そう思わない”は15.1%。

地域の自然環境は守られていると思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が42.6%で最も多く、これに「そう思う」(5.6%)をあわせた“そう思う”という人が48.2%と5割弱にのぼっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(11.9%)と「そう思わない」(3.2%)の合計)は15.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は34.2%となっています。[図表20参照]

図表20 地域の自然環境は守られていると思うか(全体・性別・年齢・居住地区)



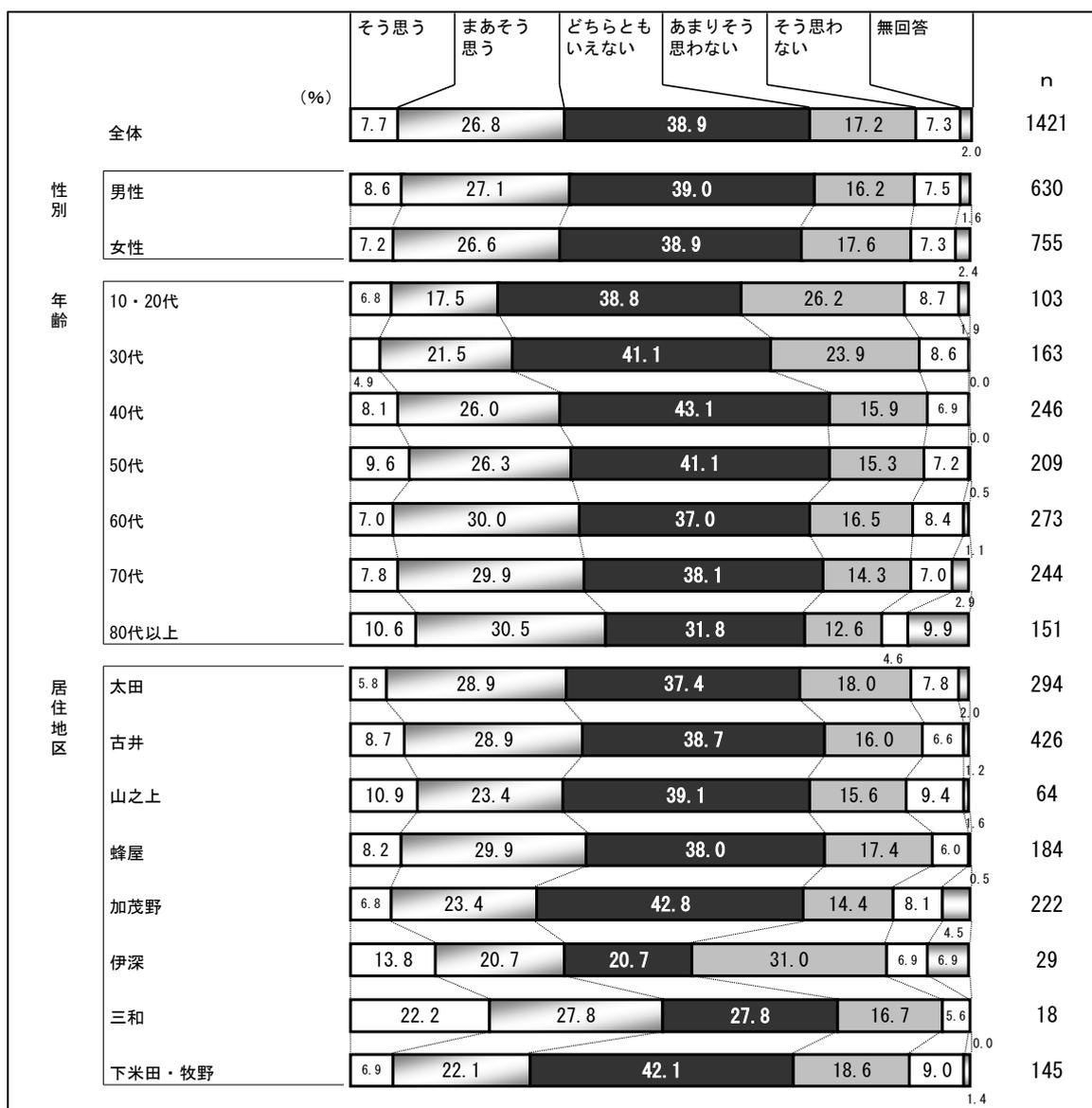
(9) 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいか

問5-9 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。

● “そう思う”は34.5%、“そう思わない”は24.5%。

自然を守るためなら生活が少し不便でもいいかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が38.9%で最も多く、次いで「まあそう思う」と答えた人が26.8%で続き、これと「そう思う」(7.7%)をあわせた“そう思う”という人が34.5%となっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(17.2%)と「そう思わない」(7.3%)の合計)は24.5%となっています。[図表21参照]

図表21 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいか(全体・性別・年齢・居住地区)



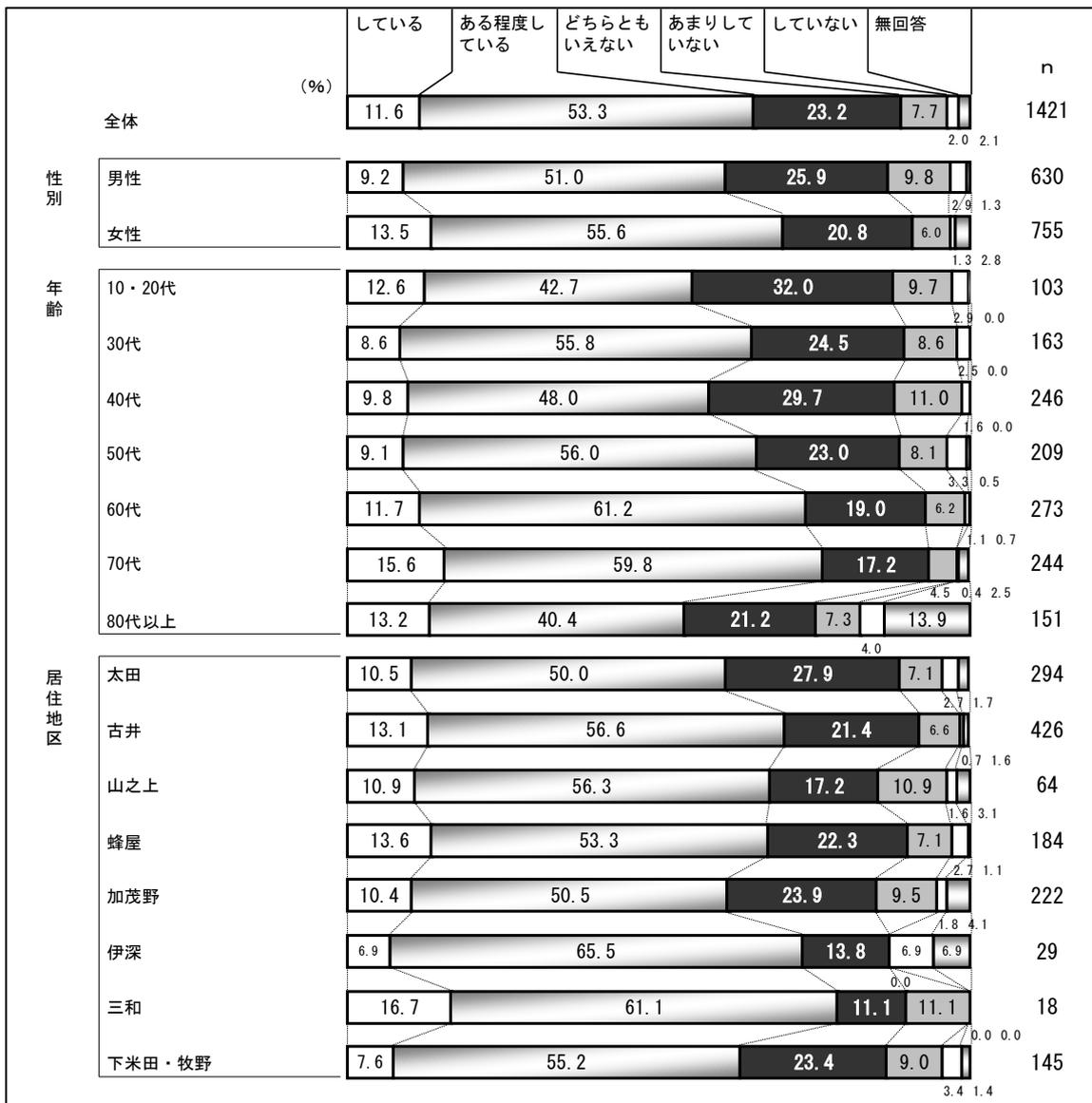
(10) 環境に配慮した生活をしているか

問5-10 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

● “している”は64.9%、“していない”は9.7%。

環境に配慮した生活をしているかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が53.3%で最も多く、これに「している」(11.6%)をあわせた“している”という人が64.9%と6割強にのぼっています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(7.7%)と「していない」(2.0%)の合計)は9.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は23.2%となっています。[図表22参照]

図表22 環境に配慮した生活をしているか(全体・性別・年齢・居住地区)



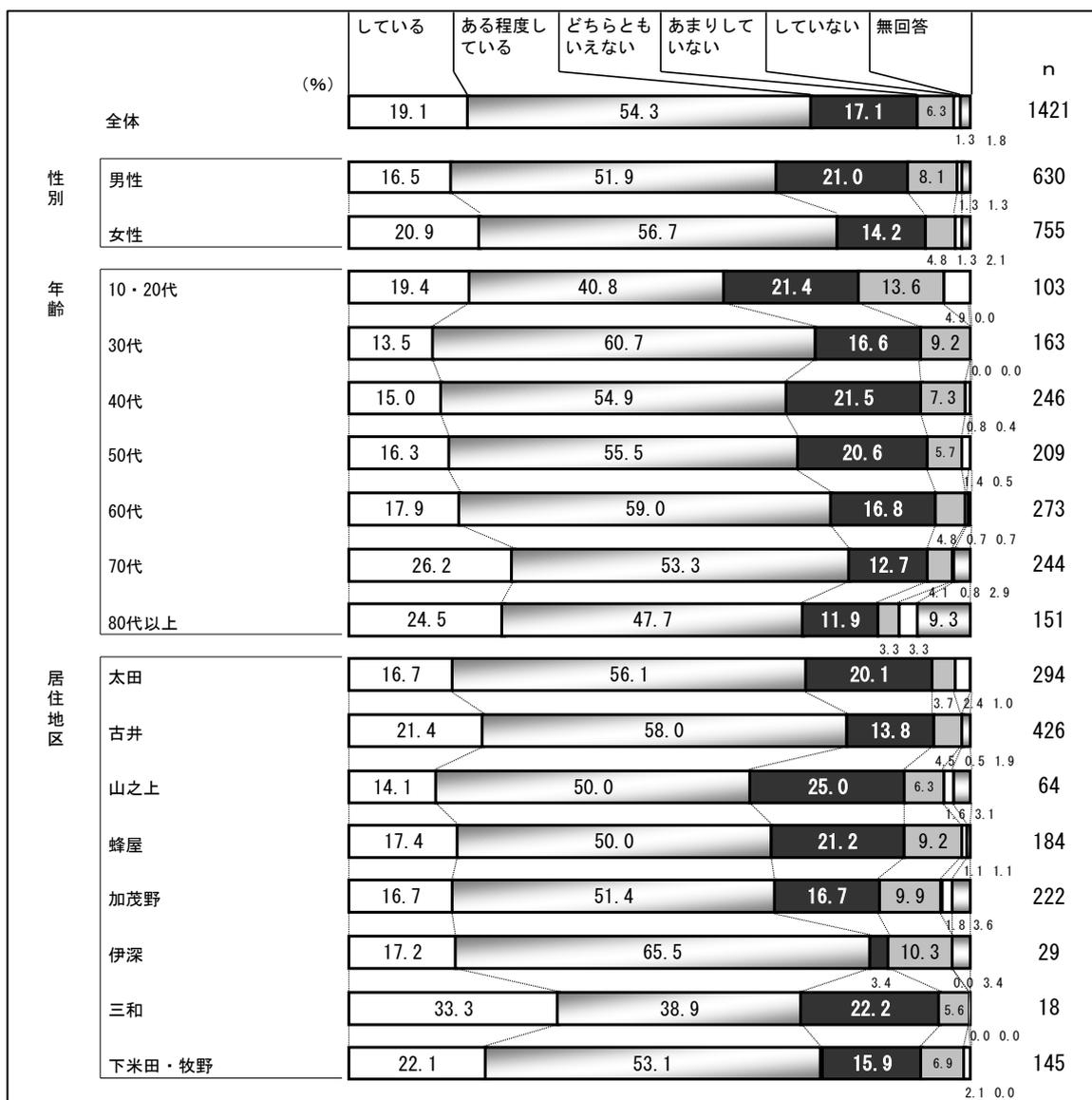
(11) 3R運動をしているか

問5-11 ごみの減量化のための3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

- “している”は73.4%、“していない”は7.6%。

3R運動をしているかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が54.3%で最も多く、次いで「している」と答えた人が19.1%で続き、これらをあわせた“している”という人が73.4%と7割強にのぼっています。これに対し、“していない”という人（「あまりしていない」(6.3%)と「していない」(1.3%)の合計）は7.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は17.1%となっています。[図表23参照]

図表23 3R運動をしているか（全体・性別・年齢・居住地区）



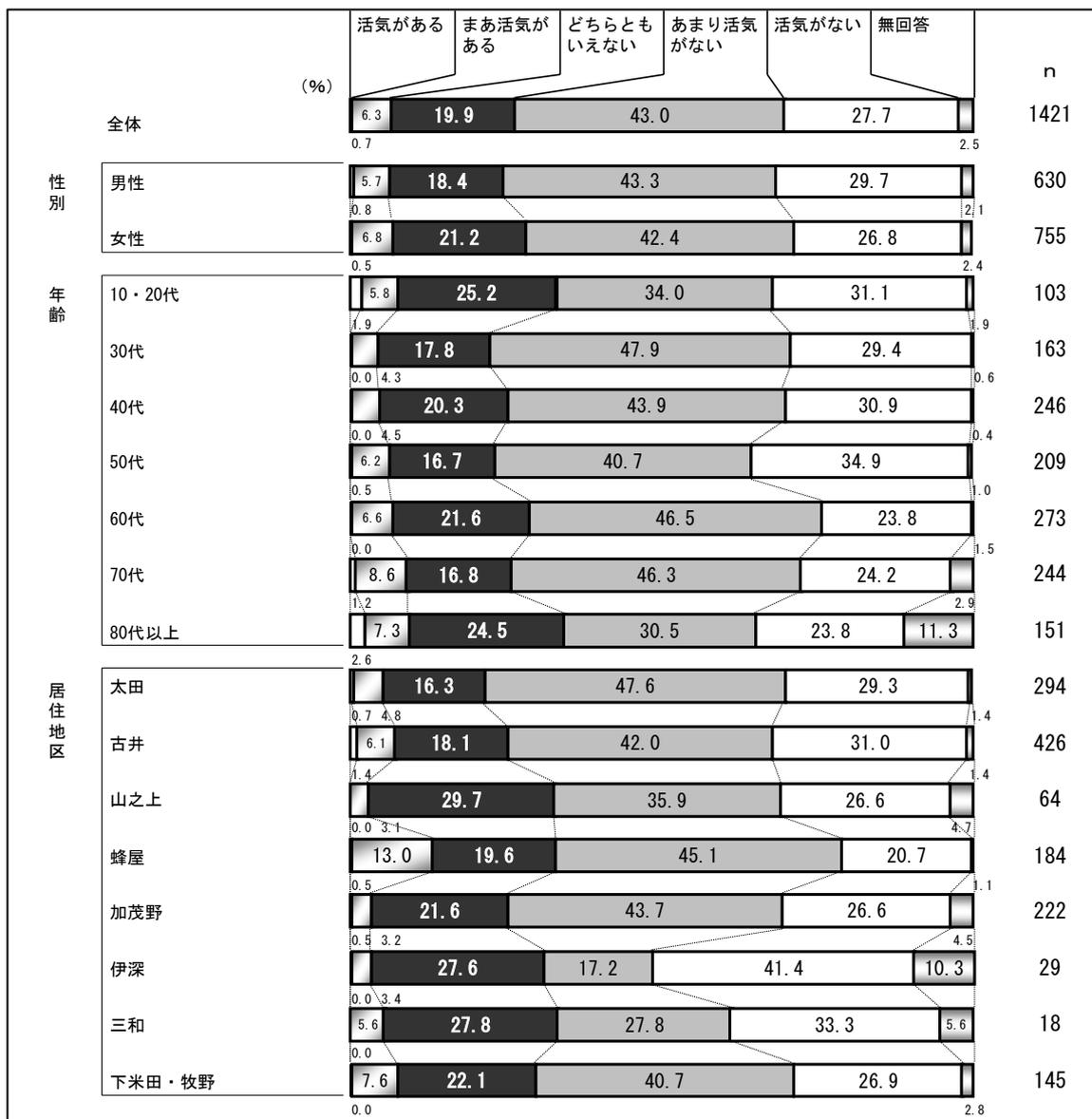
(12) 地域の商店街や駅前に活気があるか

問 5-12 住んでいる地域の商店街や駅前に活気がありますか。

● “活気がない” は 70.7%、“活気がある” は 7.0%。

地域の商店街や駅前に活気があるかどうかについては、「あまり活気がない」と答えた人が 43.0%で最も多く、次いで「活気がない」と答えた人が 27.7%で続き、これらをあわせた“活気がない”という人が 70.7%と 7割強にのぼっています。これに対し、“活気がある”という人（「まあ活気がある」(6.3%)と「活気がある」(0.7%)の合計)は 7.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は 19.9%となっています。[図表 24 参照]

図表 24 地域の商店街や駅前に活気があるか（全体・性別・年齢・居住地区）



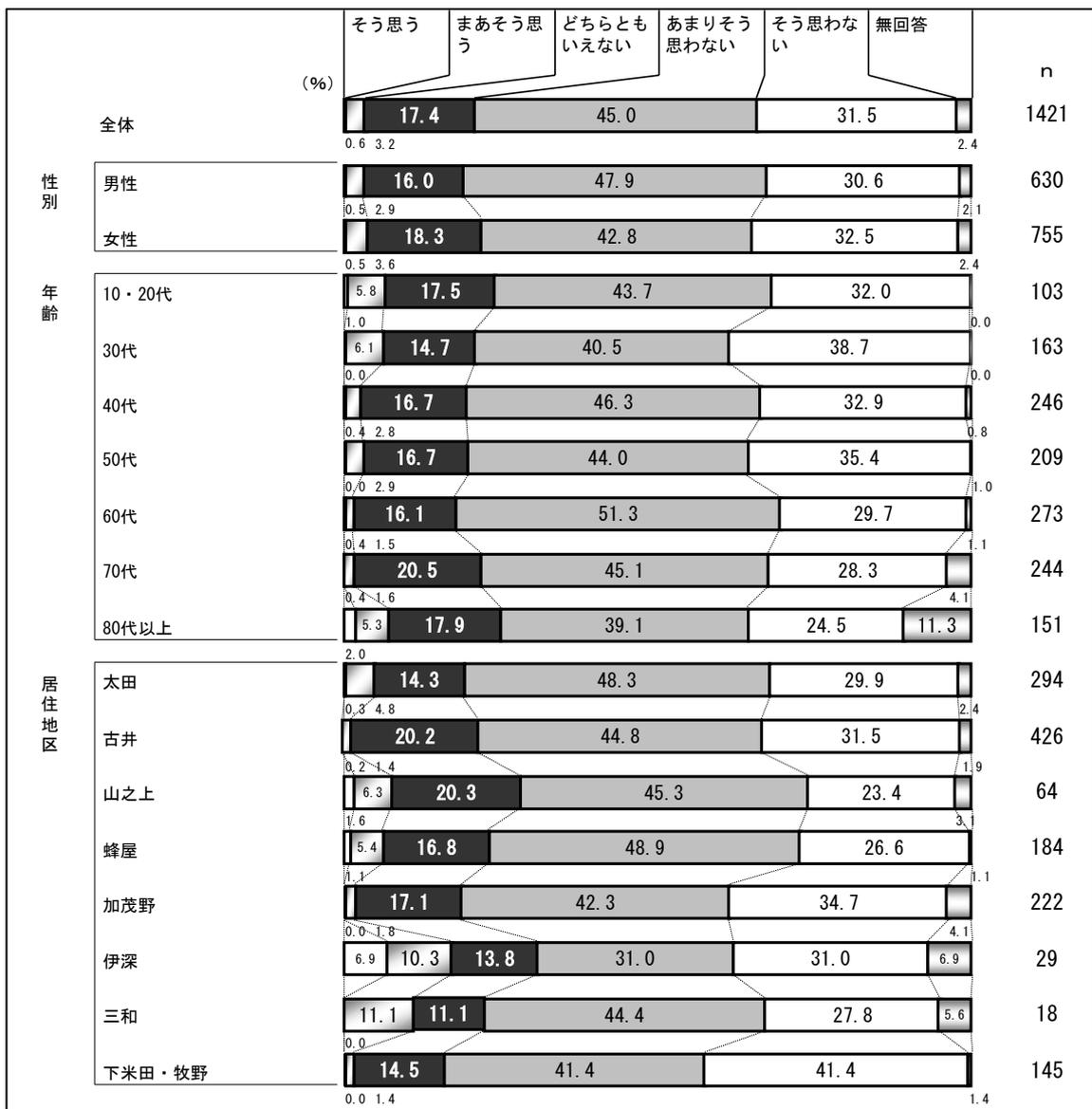
(13) 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか

問 5-13 住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思いますか。

● “そう思わない” は 76.5%、“そう思う” は 3.8%。

地域に観光などの訪問客が増えていると思うかどうかについては、「あまりそう思わない」と答えた人が 45.0%で最も多く、次いで「そう思わない」と答えた人が 31.5%で続き、これらをあわせた“そう思わない”という人が 76.5%と 8 割弱にのぼっています。これに対し、“そう思う”という人（「まあそう思う」(3.2%)と「そう思う」(0.6%)の合計)は 3.8%となっています。なお、「どちらともいえない」は 17.4%となっています。[図表 25 参照]

図表 25 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか（全体・性別・年齢・居住地区）



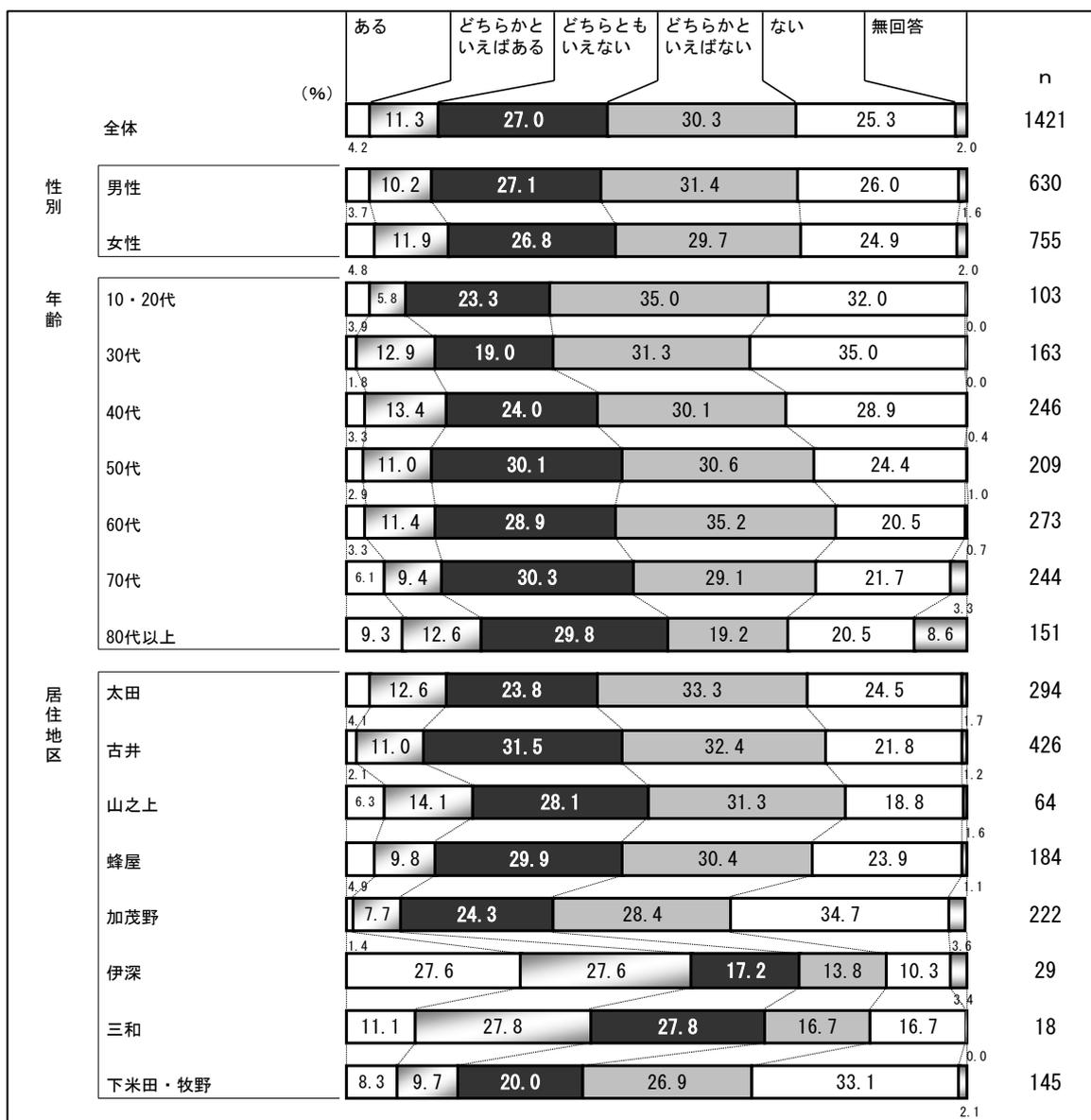
(14) 自慢したい地域の風景や名所があるか

問 5-14 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

● “ない” は 55.6%、“ある” は 15.5%。

自慢したい地域の風景や名所があるかどうかについては、「どちらかといえばない」と答えた人が 30.3%で最も多く、これと「ない」(25.3%)を合わせた“ない”という人が 55.6%と 6 割弱にのぼっています。これに対し、“ある”という人(「どちらかといえばある」(11.3%)と「ある」(4.2%)の合計)は 15.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は 27.0%となっています。[図表 26 参照]

図表 26 自慢したい地域の風景や名所があるか (全体・性別・年齢・居住地区)



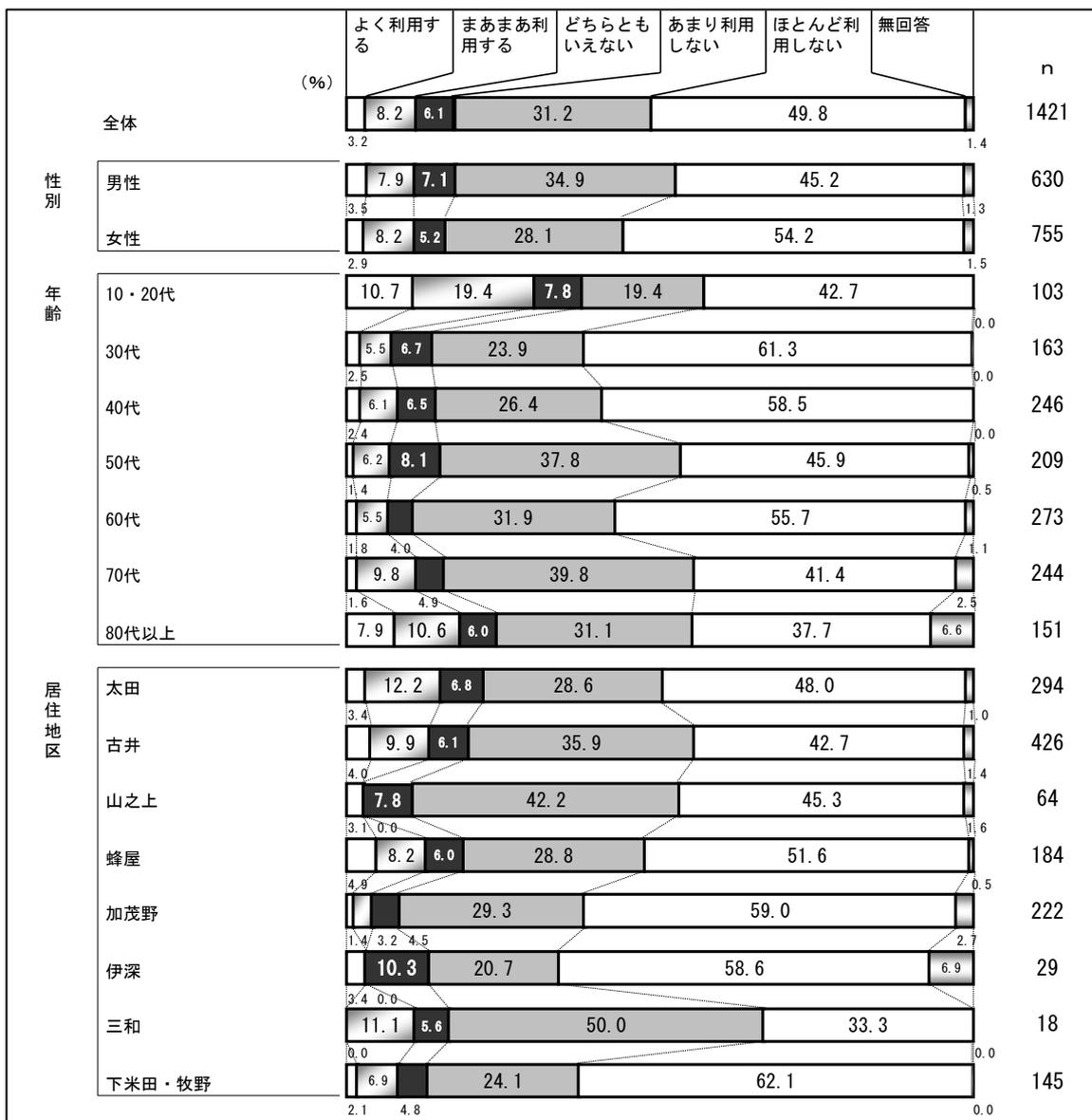
(15) 公共の交通機関を利用しているか

問 5-15 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

● “利用しない” は 81.0%、“利用する” は 11.4%。

公共の交通機関を利用しているかどうかについては、「ほとんど利用しない」と答えた人が 49.8%で最も多く、次いで「あまり利用しない」と答えた人が 31.2%で続き、これらをあわせた“利用しない”という人が 81.0%と 8割強にのぼっています。これに対し、“利用する”という人（「まあまあ利用する」(8.2%)と「よく利用する」(3.2%)の合計）は 11.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 6.1%となっています。[図表 27 参照]

図表 27 公共の交通機関を利用しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



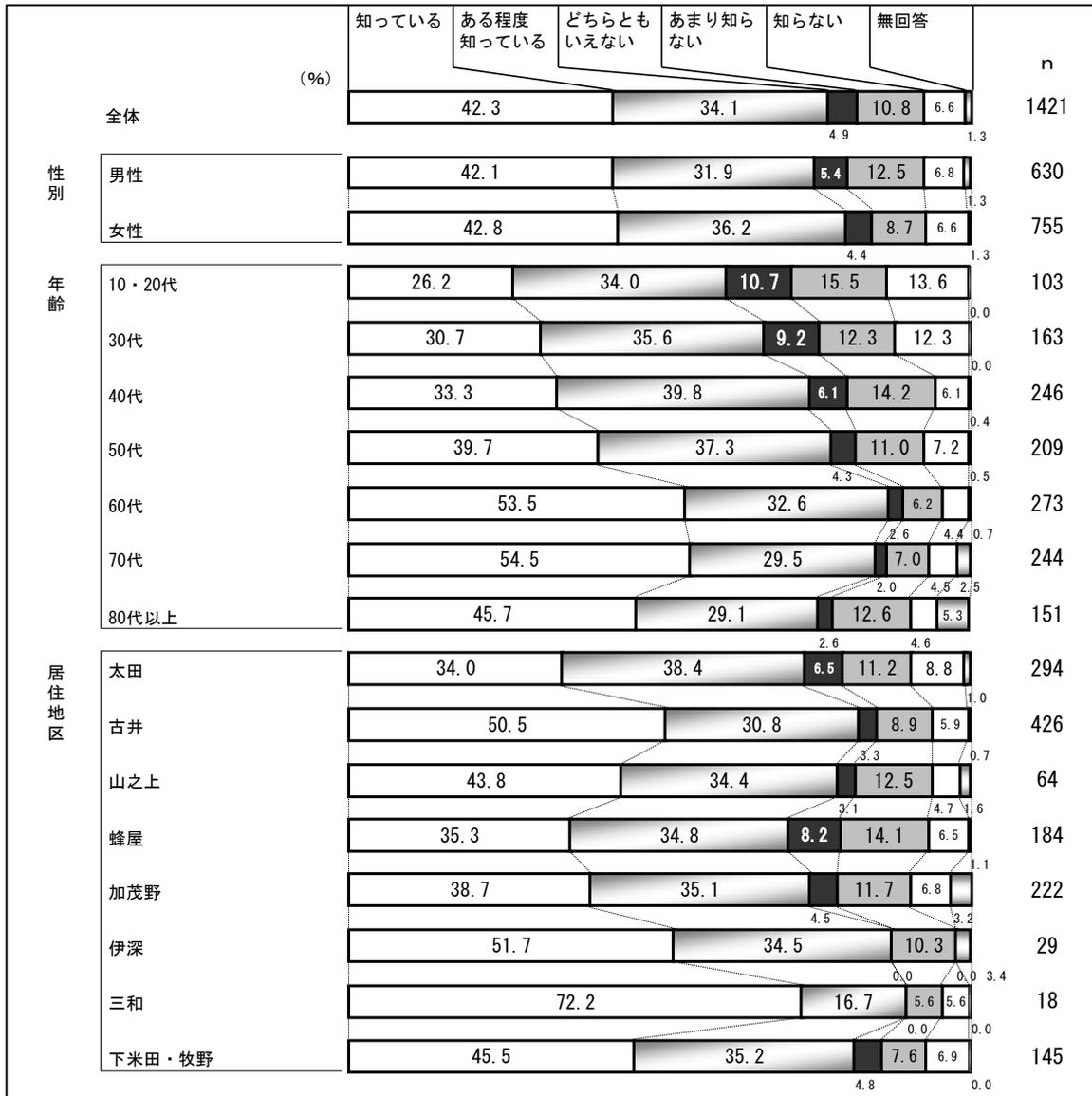
(16) 災害時の避難場所

問 5-16 災害時の避難場所を知っていますか。

● “知っている” は 76.4%、“知らない” は 17.4%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」と答えた人が 42.3%で最も多く、次いで「ある程度知っている」と答えた人が 34.1%で続き、これらをあわせた“知っている”という人が 76.4%と 8 割弱にのぼっています。これに対し、“知らない”という人（「あまり知らない」(10.8%)と「知らない」(6.6%)の合計）は 17.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 4.9%となっています。[図表 28 参照]

図表 28 災害時の避難場所（全体・性別・年齢・居住地区）



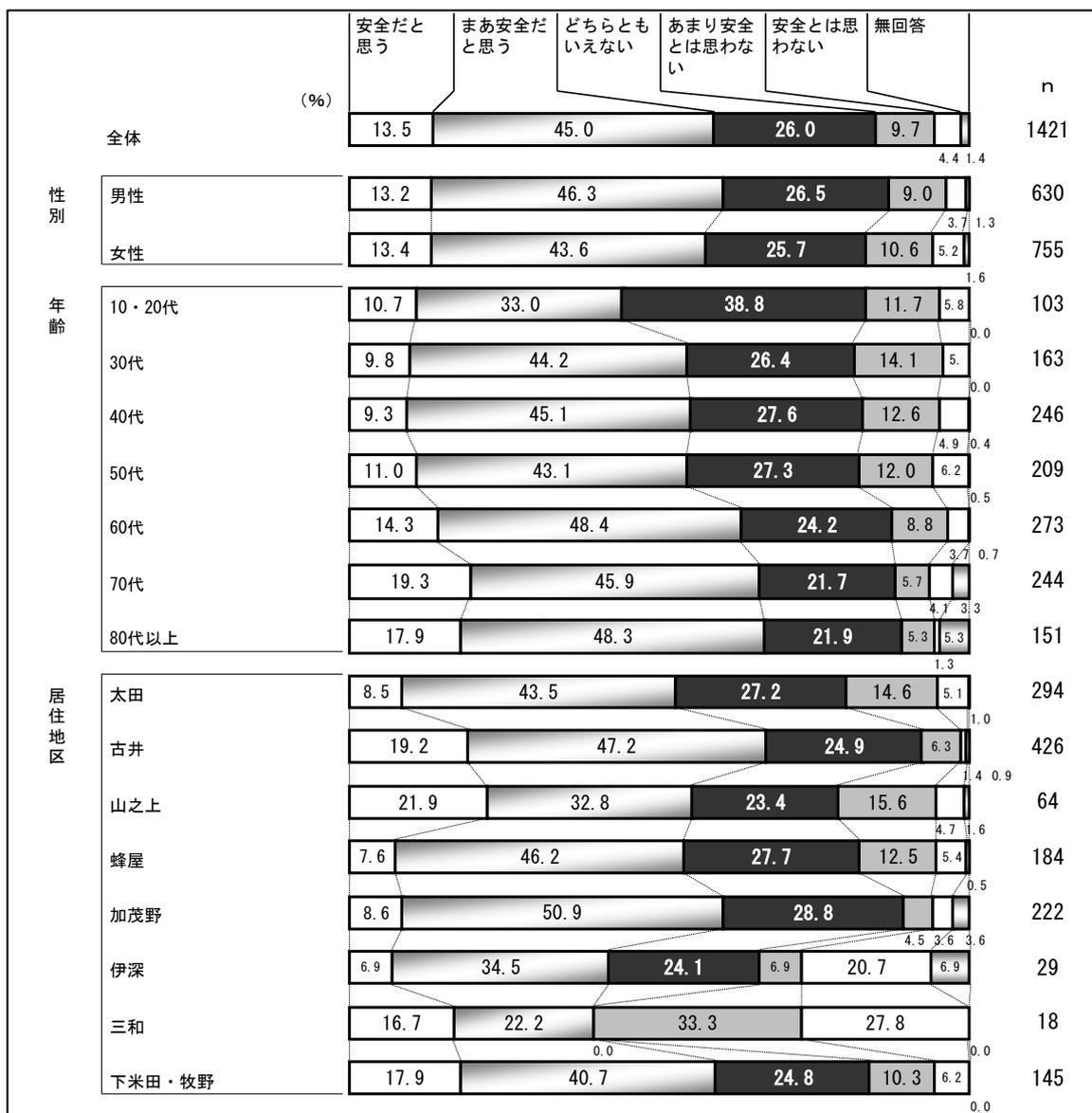
(17) 災害に対して住んでいる地域は安全か

問 5-17 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

● “安全だと思う”は58.5%、“安全とは思わない”は14.1%。

災害に対して住んでいる地域は安全かどうかについては、「まあ安全だと思う」と答えた人が45.0%で最も多く、これに「安全だと思う」(13.5%)をあわせた“安全だと思う”という人が58.5%と6割弱にのぼっています。これに対し、“安全とは思わない”という人(「あまり安全とは思わない」(9.7%)と「安全とは思わない」(4.4%)の合計)は14.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は26.0%となっています。[図表 29 参照]

図表 29 災害に対して住んでいる地域は安全か（全体・性別・年齢・居住地区）



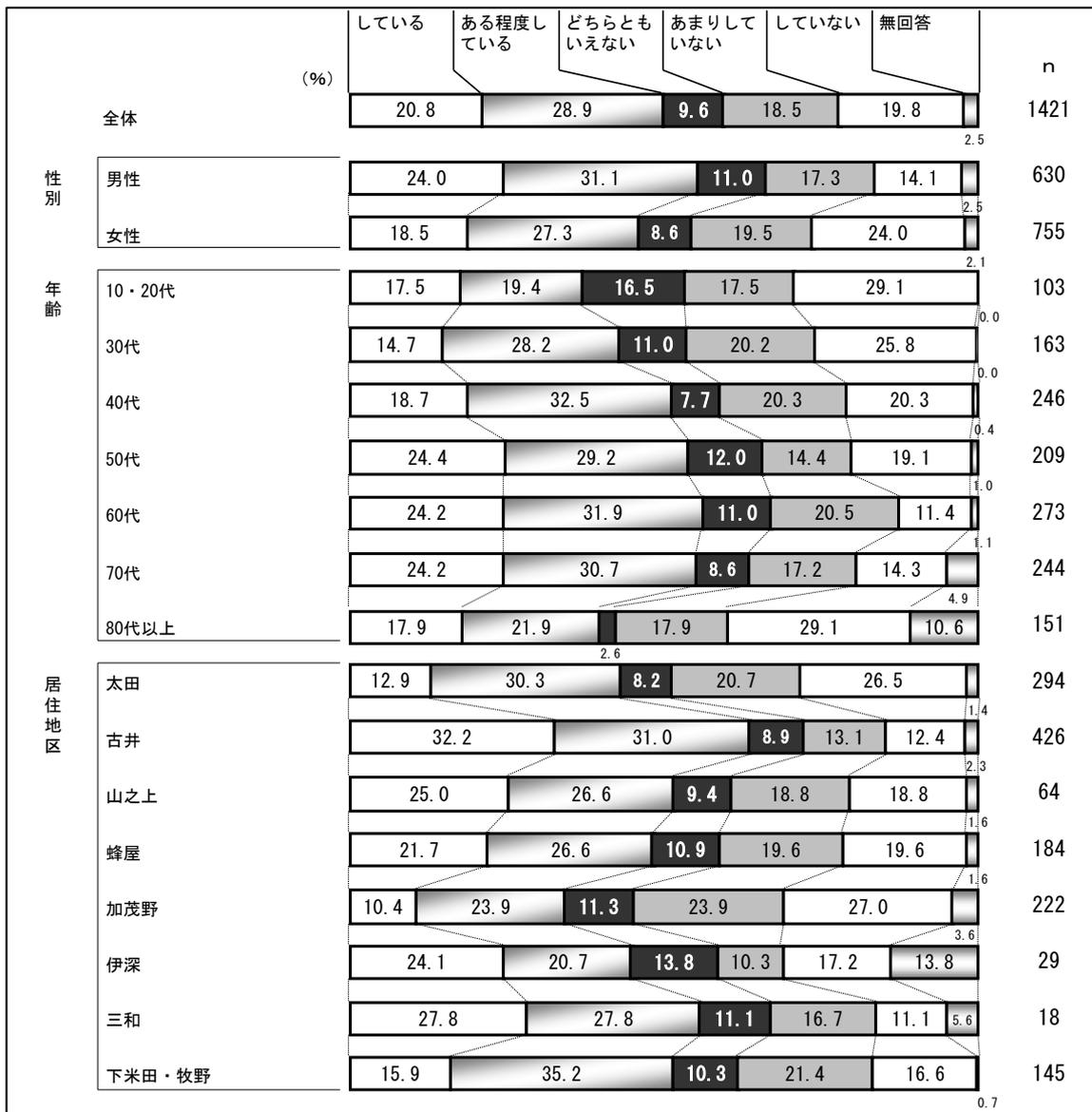
(18) 職場や地域での防災訓練に参加しているか

問 5-18 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

● “している” は 49.7%、“していない” は 38.3%。

職場や地域での防災訓練に参加しているかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が 28.9%で最も多く、次いで「している」と答えた人が 20.8%で続き、これらをあわせた“している”という人が 49.7%と 5割弱にのぼっています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(18.5%)と「していない」(19.8%)の合計)は 38.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は 9.6%となっています。[図表 30 参照]

図表 30 職場や地域での防災訓練に参加しているか (全体・性別・年齢・居住地区)



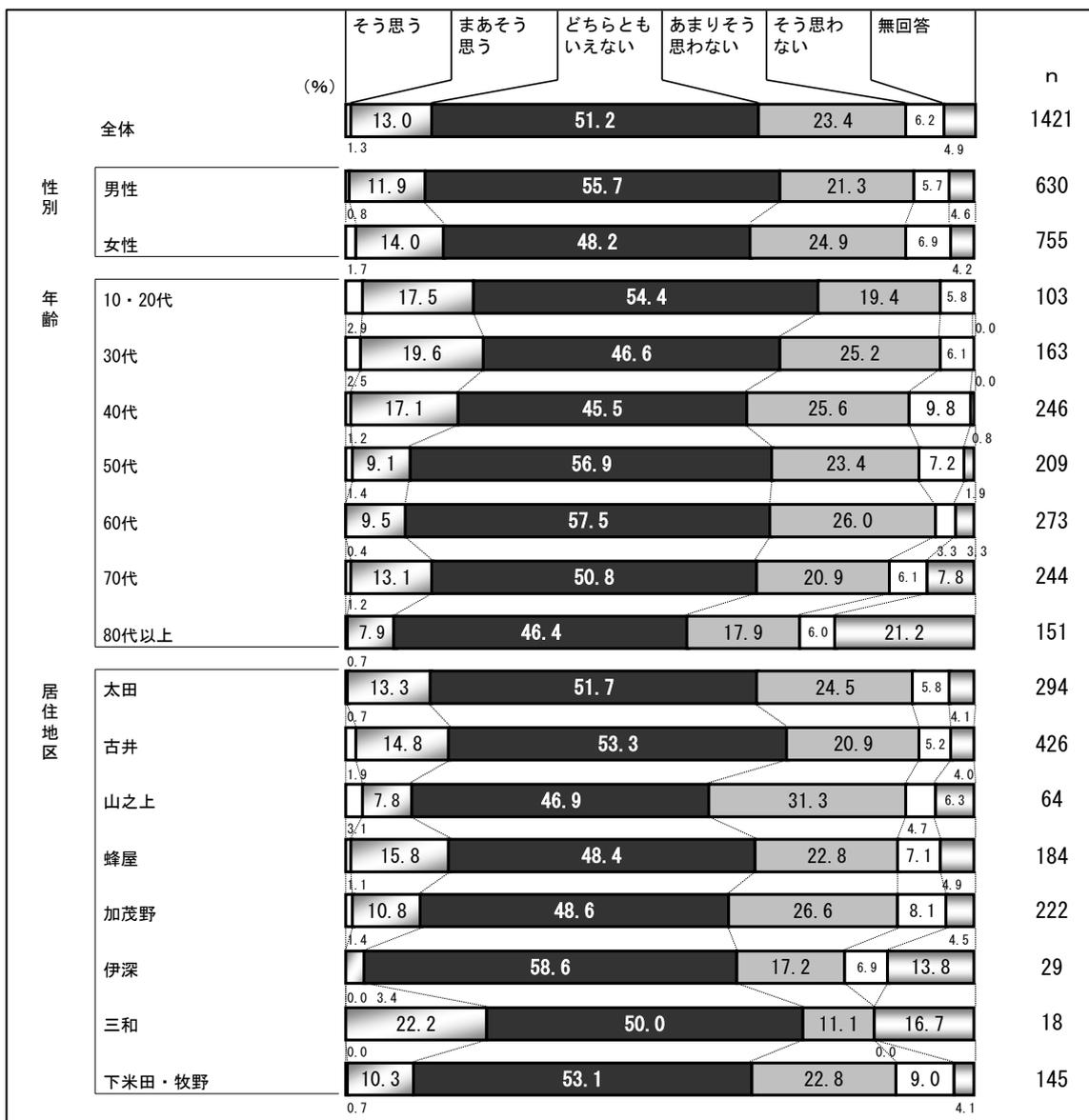
(19) 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思うか

問 5-19 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

● “そう思わない”は29.6%、“そう思う”は14.3%。

女性の活躍を多面的に支援する地域かどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が51.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が23.4%で続き、これに「そう思わない」(6.2%)をあわせた“そう思わない”という人が29.6%と3割弱にのぼっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(13.0%)と「そう思う」(1.3%)の合計)は14.3%となっています。[図表31参照]

図表31 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思うか(全体・性別・年齢・居住地区)



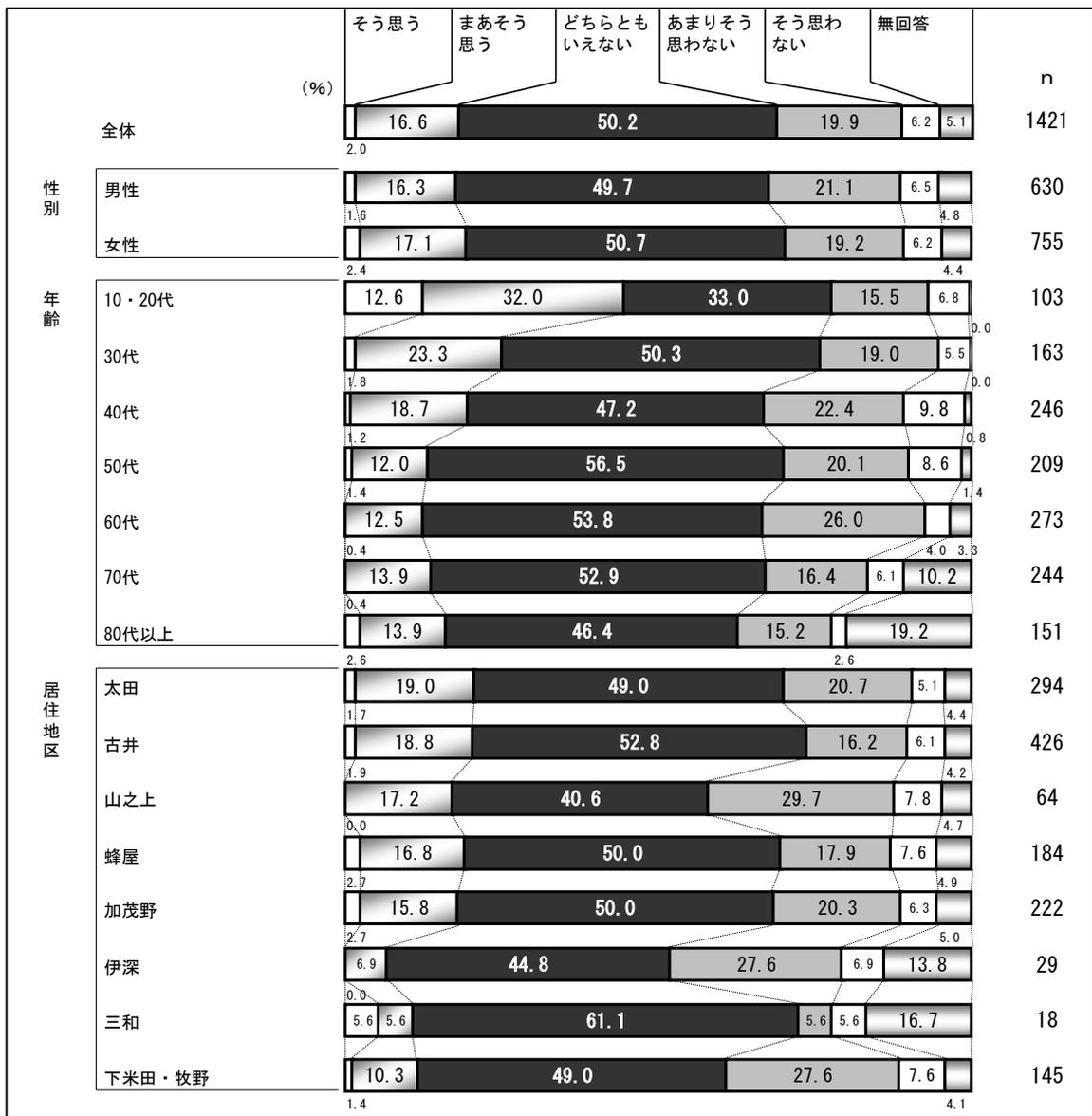
(20) 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか

問 5-20 性別や年齢、国籍を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思いますか。

- “そう思わない”は26.1%、“そう思う”は18.6%。

意欲のある人が働きやすい環境が整っているかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が50.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が19.9%で続き、これに「そう思わない」(6.2%)をあわせた“そう思わない”という人が26.1%と3割弱にのぼっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(16.6%)と「そう思う」(2.0%)の合計)は18.6%となっています。[図表 32 参照]

図表 32 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか (全体・性別・年齢・居住地区)



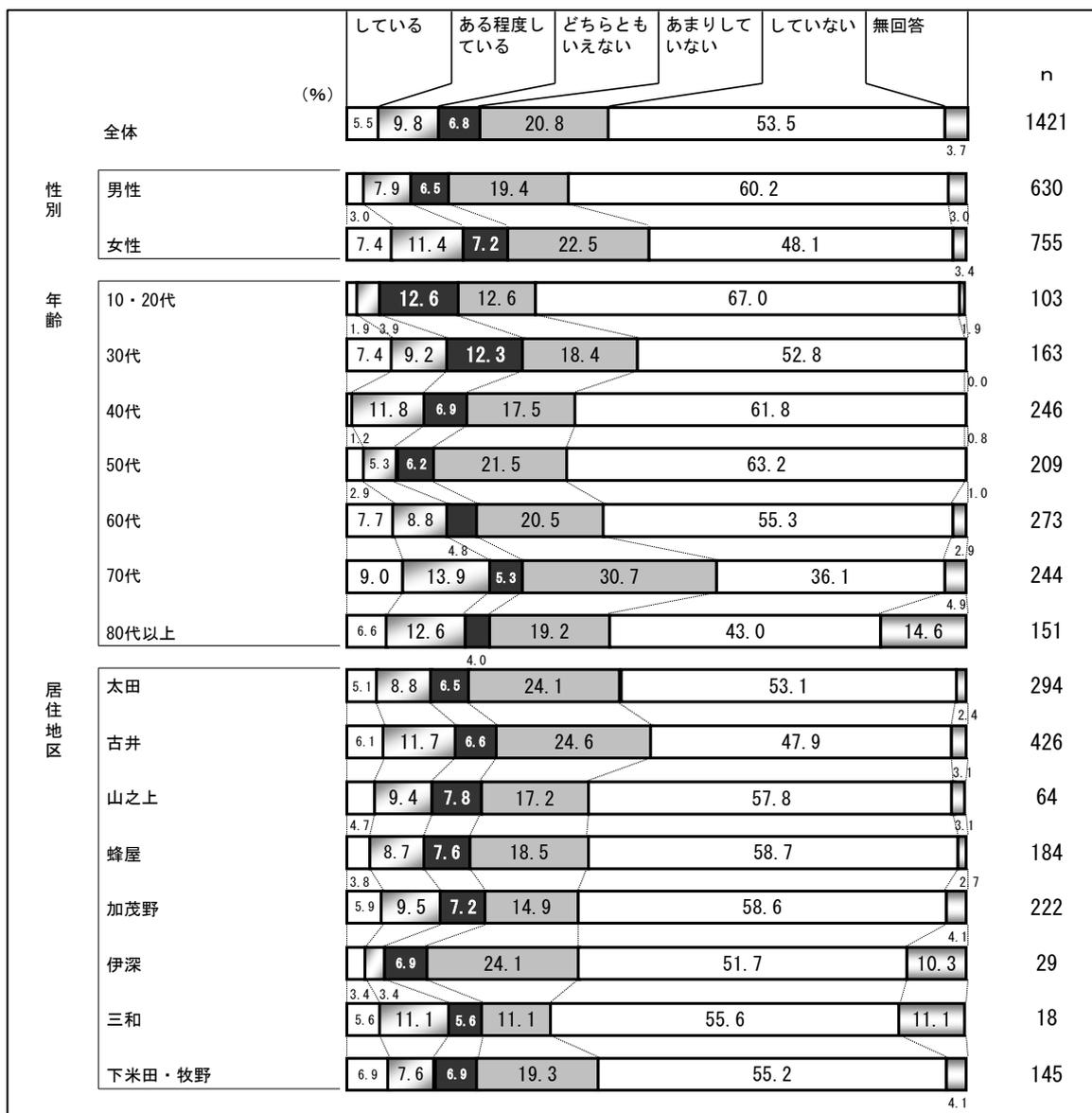
(21) 市の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加

問 5-21 市の講座や教室等を利用した生涯学習活動に参加していますか。

● “していない” は 74.3%、“している” は 15.3%。

市の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加については、「していない」と答えた人が 53.5%で最も多く、次いで「あまりしていない」と答えた人が 20.8%で続き、これらをあわせた“していない”という人が 74.3%と7割台半ばにのぼっています。これに対し、“している”という人（「ある程度している」(9.8%)と「している」(5.5%)の合計）は 15.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は 6.8%となっています。[図表 33 参照]

図表 33 市の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加（全体・性別・年齢・居住地区）



(22) 地域活動やボランティア活動をしてみたいか

問 5-22 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいですか。

● “活動したいとは思わない”は29.7%、“活動してみたい”は26.1%。

地域活動やボランティア活動をしてみたいかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が39.8%で最も多く、次いで、「まあ活動してみたい」が20.1%で続き、これを「活動してみたい」(6.0%)とあわせた“活動してみたい”という人が26.1%となっています。これに対し、“活動したいとは思わない”という人(「あまり活動したいとは思わない」(17.9%)と「活動したいとは思わない」(11.8%)の合計)は29.7%となっています。[図表 34 参照]

図表 34 地域活動やボランティア活動をしてみたいか (全体・性別・年齢・居住地区)

| | | 活動してみたい | | | | | | まあ活動してみたい | | どちらともいえない | | あまり活動したいとは思わない | | 活動したいとは思わない | | 無回答 | | n |
|--------|--------|---------|-----|--|--|--|--|-----------|------|-----------|------|----------------|------|-------------|------|------|-----|------|
| | | 6.0 | | | | | | 20.1 | | 39.8 | | 17.9 | | 11.8 | | 4.4 | | |
| 全体 | | 6.0 | | | | | | 20.1 | | 39.8 | | 17.9 | | 11.8 | | 4.4 | | 1421 |
| 性別 | 男性 | 5.9 | | | | | | 18.1 | | 41.7 | | 18.1 | | 12.2 | | 4.0 | | 630 |
| | 女性 | 6.1 | | | | | | 22.1 | | 38.5 | | 18.0 | | 11.3 | | 4.0 | | 755 |
| 年齢 | 10・20代 | 9.7 | | | | | | 22.3 | | 35.0 | | 21.4 | | 11.7 | | 4.0 | | 103 |
| | 30代 | 2.5 | | | | | | 20.2 | | 39.9 | | 20.2 | | 16.6 | | 0.6 | | 163 |
| | 40代 | 2.8 | | | | | | 19.5 | | 41.1 | | 21.5 | | 14.2 | | 0.8 | | 246 |
| | 50代 | 7.2 | | | | | | 23.0 | | 44.0 | | 16.7 | | 8.1 | | 1.0 | | 209 |
| | 60代 | 6.6 | | | | | | 20.9 | | 41.0 | | 19.4 | | 8.8 | | 3.3 | | 273 |
| | 70代 | 8.6 | | | | | | 22.5 | | 41.4 | | 13.5 | | 6.6 | | 7.4 | | 244 |
| | 80代以上 | 6.0 | | | | | | 11.3 | | 31.1 | | 13.9 | | 20.5 | | 17.2 | | 151 |
| | 居住地区 | 太田 | 4.8 | | | | | | 22.4 | | 36.7 | | 18.7 | | 14.3 | | 3.1 | |
| 古井 | | 6.8 | | | | | | 18.3 | | 43.9 | | 18.1 | | 8.9 | | 4.0 | | 426 |
| 山之上 | | 9.4 | | | | | | 23.4 | | 42.2 | | 10.9 | | 9.4 | | 4.7 | | 64 |
| 蜂屋 | | 5.4 | | | | | | 21.7 | | 37.0 | | 21.2 | | 12.0 | | 2.7 | | 184 |
| 加茂野 | | 3.2 | | | | | | 21.2 | | 40.5 | | 17.6 | | 13.1 | | 4.5 | | 222 |
| 伊深 | | 6.9 | | | | | | 6.9 | | 41.4 | | 20.7 | | 10.3 | | 13.8 | | 29 |
| 三和 | | 5.6 | | | | | | 33.3 | | 27.8 | | 11.1 | | 11.1 | | 11.1 | | 18 |
| 下米田・牧野 | | 9.7 | | | | | | 17.9 | | 38.6 | | 15.9 | | 13.1 | | 4.8 | | 145 |

(23) 市政に関する情報を知る方法

問 5-23 市政に関する情報を主にどの方法で知りますか。【複数回答】

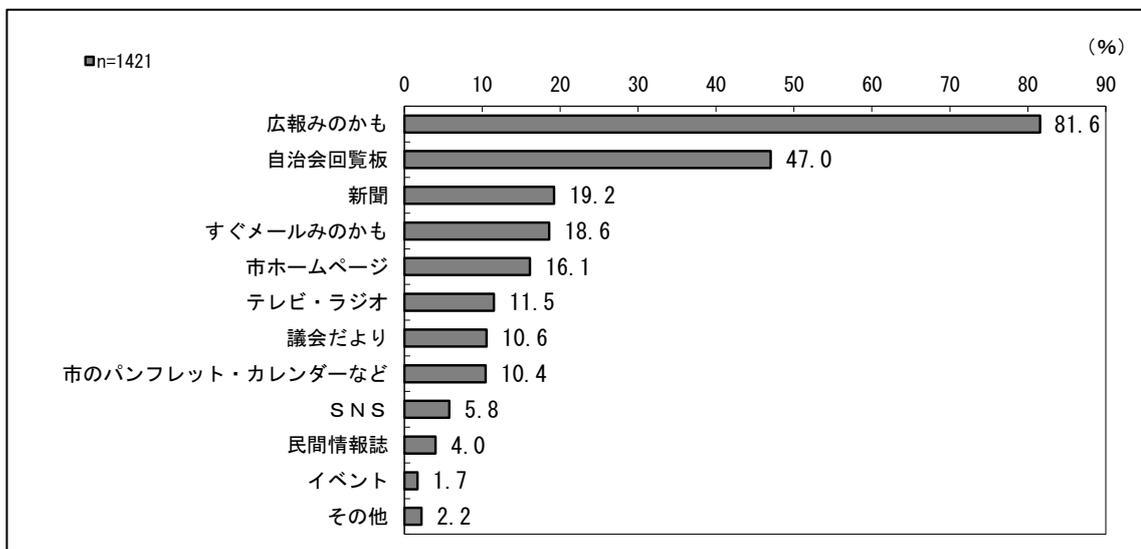
- 「広報みのかも」が他を引き離して第1位。次いで「自治会回覧板」、「新聞」の順。

市政に関する情報を知る方法については、「広報みのかも」と答えた人が81.6%で最も多く、次いで「自治会回覧板」(47.0%)が第2位、「新聞」(19.2%)が第3位、以下、「すぐメールみのかも」(18.6%)、「市ホームページ」(16.1%)、「テレビ・ラジオ」(11.5%)、「議会だより」(10.6%)、「市のパンフレット・カレンダーなど」(10.4%)、「SNS」(5.8%)、「民間情報誌」(4.0%)、「イベント」(1.7%)の順となっています。

属性別でも、すべての属性で「広報みのかも」が第1位となっています。

[図表 35・36 参照]

図表 35 市政に関する情報を知る方法（全体／複数回答）



図表 36 市政に関する情報を知る方法
 (全体・性別・年齢・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|----------------|-------------------|--------------------------|
| 全体 | | 広報みのかも 81.6 | 自治会回覧板 47.0 | 新聞 19.2 |
| 性別 | 男性 | 広報みのかも 80.6 | 自治会回覧板 45.9 | 市ホームページ 20.0 |
| | 女性 | 広報みのかも 83.0 | 自治会回覧板 48.1 | すぐメールみのかも 23.2 |
| 年齢 | 10・20代 | 広報みのかも 60.2 | 自治会回覧板 24.3 | SNS 22.3 |
| | 30代 | 広報みのかも 77.3 | すぐメールみのかも 30.1 | 市ホームページ 28.2 |
| | 40代 | 広報みのかも 80.5 | 自治会回覧板 41.5 | すぐメールみのかも 30.9 |
| | 50代 | 広報みのかも 89.0 | 自治会回覧板 47.8 | 市ホームページ 22.5 |
| | 60代 | 広報みのかも 88.3 | 自治会回覧板 57.5 | 新聞 21.6 |
| | 70代 | 広報みのかも 84.8 | 自治会回覧板 56.6 | 新聞 26.6 |
| | 80歳以上 | 広報みのかも 77.5 | 自治会回覧板 58.3 | 新聞 32.5 |
| 居住地区 | 太田 | 広報みのかも 78.2 | 自治会回覧板 44.6 | すぐメールみのかも 22.1 |
| | 古井 | 広報みのかも 82.9 | 自治会回覧板 46.9 | すぐメールみのかも 21.4 |
| | 山之上 | 広報みのかも 82.8 | 自治会回覧板 45.3 | 新聞 23.4 |
| | 蜂屋 | 広報みのかも 84.8 | 自治会回覧板 53.3 | 新聞 21.2 |
| | 加茂野 | 広報みのかも 80.2 | 自治会回覧板 40.5 | すぐメールみのかも 16.7 |
| | 伊深 | 広報みのかも 82.8 | 自治会回覧板 44.8 | 新聞 17.2 |
| | 三和 | 広報みのかも 83.3 | 自治会回覧板 44.4 | 市のパンフレット・カレンダーなど 22.2 |
| | 下米田・牧野 | 広報みのかも 84.8 | 自治会回覧板 55.9 | 市ホームページ 16.6 |

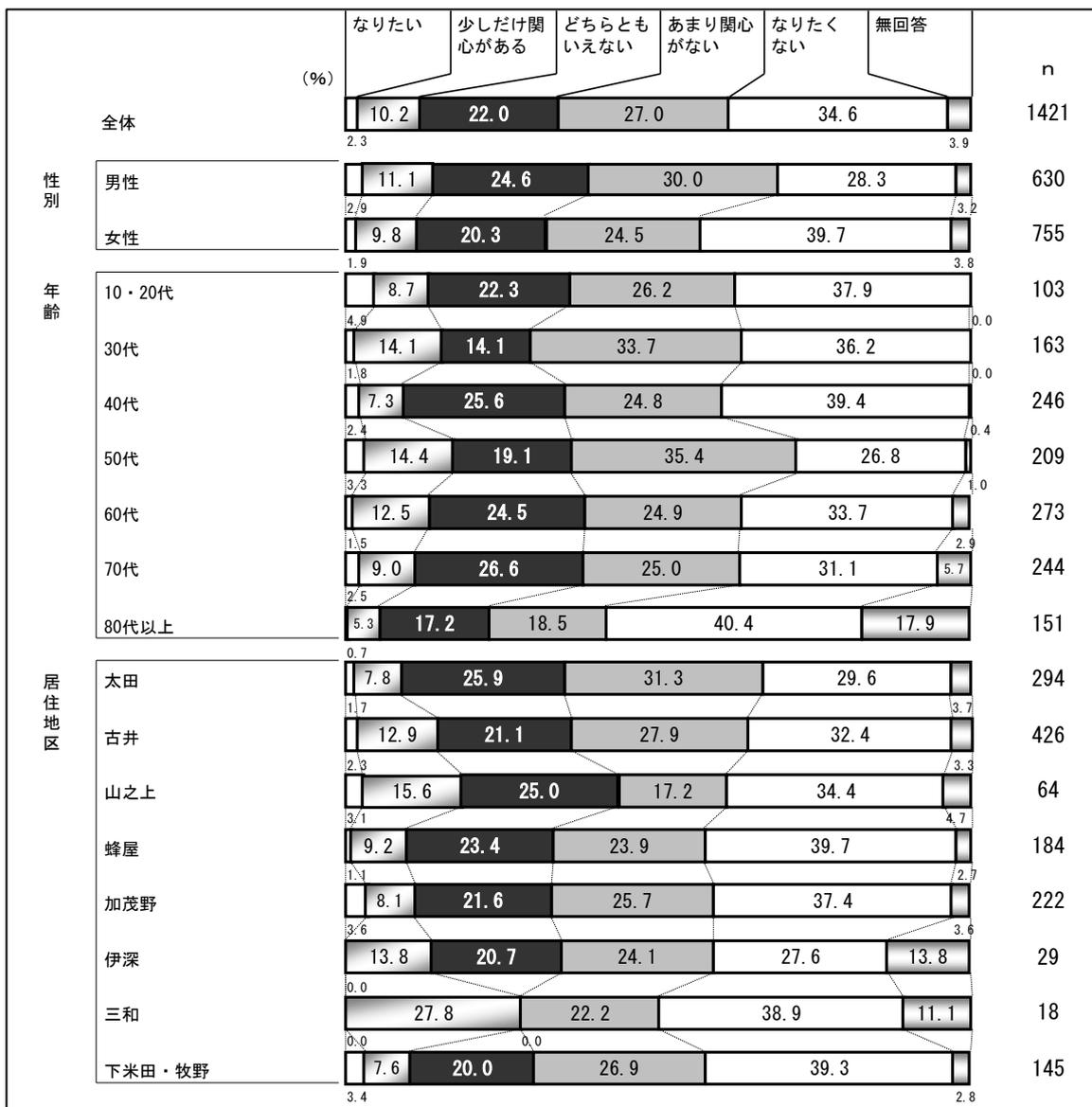
(24) 市民公募委員になってみたいか

問 5-24 市のいろいろな計画を策定する時の市民公募委員になってみたいですか。

● “関心がない” は 61.6%、“関心がある” は 12.5%。

市民公募委員になってみたいかどうかについては、「なりたくない」と答えた人が 34.6%で最も多く、次いで「あまり関心がない」と答えた人が 27.0%で続き、これらをあわせた“関心がない”という人が 61.6%と 6 割強にのぼっています。これに対し、“関心がある”という人（「少しだけ関心がある」（10.2%）と「なりたくない」（2.3%）の合計）は 12.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は 22.0%となっています。[図表 37 参照]

図表 37 市民公募委員になってみたいか（全体・性別・年齢・居住地区）



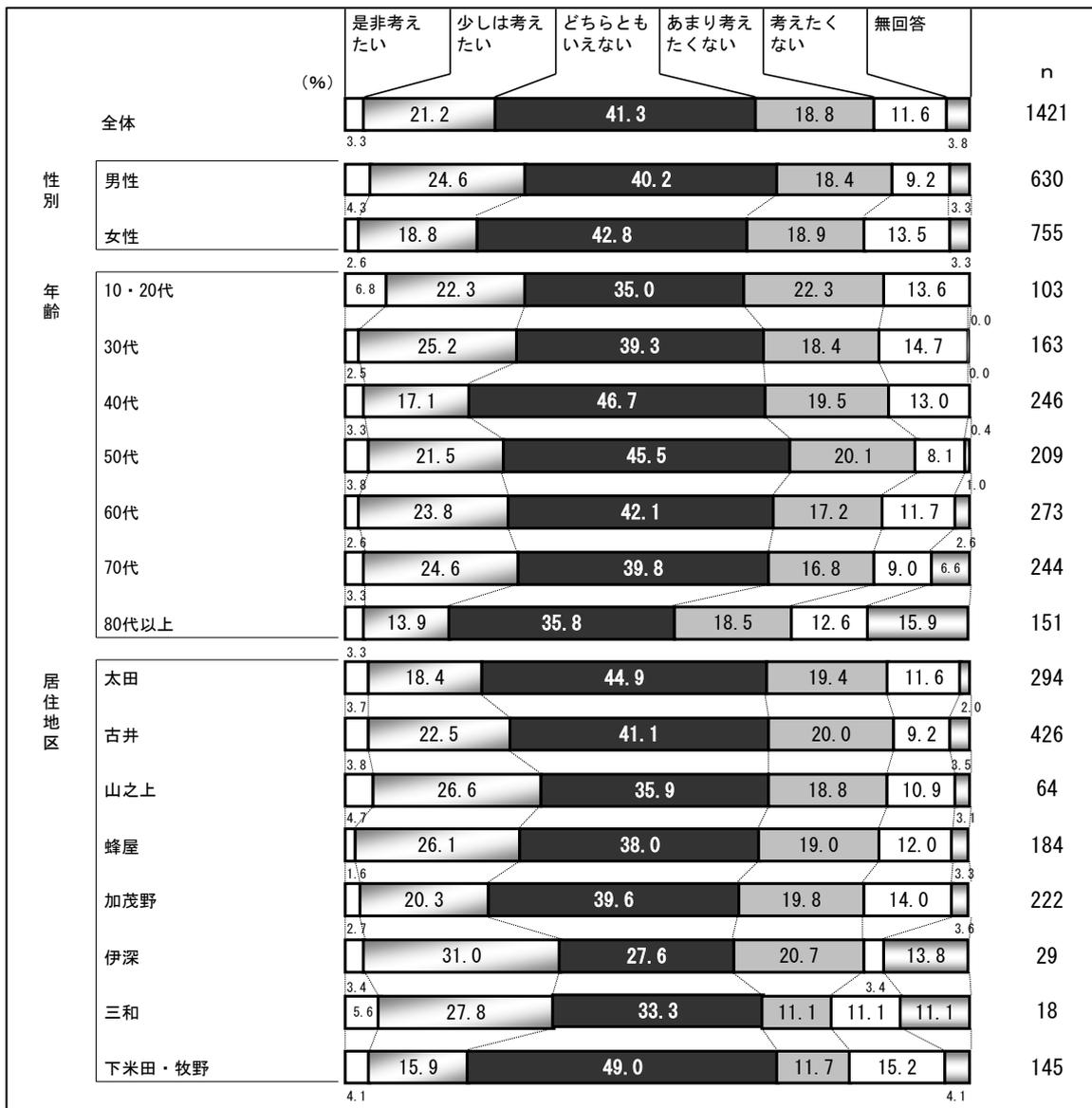
(25) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか

問 5-25 市と一緒にまちづくりを考えてみたいですか。

● “考えたくない”は30.4%、“考えたい”は24.5%。

市と一緒にまちづくりを考えてみたいかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が41.3%で最も多く、次いで「少しは考えたい」と答えた人が21.2%で続き、これと「是非考えたい」(3.3%)をあわせた“考えたい”という人が24.5%となっています。これに対し、“考えたくない”という人(「あまり考えたくない」(18.8%)と「考えたくない」(11.6%)の合計)は30.4%となっています。[図表 38 参照]

図表 38 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか (全体・性別・年齢・居住地区)



(26) 仕事と生活の両立ができていると思うか

問 5-26 仕事と自分の生活の両立ができていると思いますか。

● “そう思う” は 41.5%、“そう思わない” は 22.8%。

仕事と生活の両立ができていると思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 31.7%で最も多く、これと「そう思う」(9.8%)をあわせた“そう思う”という人が 41.5%と 4割強にのぼっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(14.1%)と「そう思わない」(8.7%)の合計)は 22.8%となっています。なお、「どちらともいえない」は 29.6%となっています。[図表 39 参照]

図表 39 仕事と生活の両立ができていると思うか (全体・性別・年齢・居住地区)

| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 | n |
|------|--------|------|--------|-----------|-----------|--------|------|------|
| | | (%) | | | | | | |
| 全体 | | 9.8 | 31.7 | 29.6 | 14.1 | 8.7 | 6.3 | 1421 |
| 性別 | 男性 | 10.5 | 34.3 | 27.8 | 14.6 | 7.6 | 5.2 | 630 |
| | 女性 | 9.5 | 29.5 | 31.1 | 13.6 | 9.7 | 6.5 | 755 |
| 年齢 | 10・20代 | 11.7 | 44.7 | 24.3 | 10.7 | 7.8 | | 103 |
| | 30代 | 8.6 | 41.1 | 25.2 | 19.0 | 6.1 | 0.0 | 163 |
| | 40代 | 9.3 | 30.1 | 33.7 | 17.1 | 8.9 | 0.8 | 246 |
| | 50代 | 12.9 | 38.3 | 24.9 | 13.9 | 8.1 | | 209 |
| | 60代 | 12.8 | 34.8 | 30.4 | 11.4 | 5.9 | 1.9 | 273 |
| | 70代 | 9.0 | 25.0 | 33.6 | 13.5 | 7.0 | 4.8 | 244 |
| | 80代以上 | 11.3 | 29.1 | 12.6 | 20.5 | 23.8 | | 151 |
| 居住地区 | 太田 | 8.2 | 34.7 | 31.0 | 11.9 | 8.2 | 6.1 | 294 |
| | 古井 | 11.7 | 28.9 | 29.1 | 14.6 | 8.7 | 7.0 | 426 |
| | 山之上 | 9.4 | 37.5 | 28.1 | 14.1 | 7.8 | | 64 |
| | 蜂屋 | 8.7 | 35.3 | 31.0 | 9.2 | 9.2 | 6.5 | 184 |
| | 加茂野 | 9.9 | 29.7 | 29.7 | 17.1 | 9.0 | | 222 |
| | 伊深 | 17.2 | 37.9 | 13.8 | 13.8 | 6.9 | 10.3 | 29 |
| | 三和 | 22.2 | 16.7 | 33.3 | 11.1 | 5.6 | 11.1 | 18 |
| | 下米田・牧野 | 7.6 | 31.0 | 29.0 | 18.6 | 9.0 | | 145 |

(27) 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか

問 5-27 地域内の異なる世代の人と付き合いがありますか。

● “ない” は 38.8%、“ある” は 37.3%。

地域内の異なる世代の人と付き合いがあるかどうかについては、「どちらかといえ
ばある」と答えた人が 23.9%で最も多く、これと「ある」(13.4%)をあわせた“あ
る”という人が 37.3%となっています。これに対し、“ない”という人(「どちらか
といえはない」(22.0%)と「ない」(16.8%)の合計)は 38.8%となっています。なお、
「どちらともいえない」は 20.9%となっています。[図表 40 参照]

図表 40 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか (全体・性別・年齢・居住地区)

| | | (%) | | | | | | n |
|------|--------|------|----------------|---------------|----------------|------|------|------|
| | | ある | どちらかといえ ばある | どちらとも いえない | どちらかといえ ばない | ない | 無回答 | |
| 全体 | | 13.4 | 23.9 | 20.9 | 22.0 | 16.8 | 3.0 | 1421 |
| 性別 | 男性 | 11.6 | 23.7 | 22.9 | 21.3 | 17.9 | 2.7 | 630 |
| | 女性 | 15.1 | 24.1 | 19.7 | 22.6 | 15.8 | 2.6 | 755 |
| 年齢 | 10・20代 | 11.7 | 31.1 | 14.6 | 20.4 | 22.3 | 0.0 | 103 |
| | 30代 | 12.9 | 21.5 | 20.2 | 23.3 | 22.1 | 0.0 | 163 |
| | 40代 | 9.8 | 22.4 | 24.8 | 26.0 | 16.7 | 0.4 | 246 |
| | 50代 | 12.9 | 26.8 | 20.1 | 21.1 | 18.2 | 1.0 | 209 |
| | 60代 | 13.9 | 22.0 | 25.6 | 22.7 | 13.6 | 2.2 | 273 |
| | 70代 | 18.0 | 27.5 | 16.8 | 18.0 | 14.8 | 4.9 | 244 |
| | 80代以上 | 14.6 | 17.9 | 21.2 | 20.5 | 13.9 | 11.9 | 151 |
| 居住地区 | 太田 | 12.6 | 25.2 | 21.4 | 21.8 | 17.3 | 1.7 | 294 |
| | 古井 | 13.1 | 24.2 | 20.7 | 23.7 | 15.3 | 3.1 | 426 |
| | 山之上 | 14.1 | 21.9 | 31.3 | 18.8 | 12.5 | 1.6 | 64 |
| | 蜂屋 | 8.7 | 22.3 | 22.3 | 25.5 | 19.0 | 2.2 | 184 |
| | 加茂野 | 14.9 | 19.4 | 20.3 | 23.0 | 18.9 | 3.6 | 222 |
| | 伊深 | 20.7 | 24.1 | 13.8 | 20.7 | 13.8 | 6.9 | 29 |
| | 三和 | 27.8 | 38.9 | 5.6 | 11.1 | 11.1 | 5.6 | 18 |
| | 下米田・牧野 | 17.9 | 28.3 | 21.4 | 13.8 | 15.9 | 2.8 | 145 |

(28) 頼りになる知り合いが近所にいるか

問 5-28 頼りになる知り合いが近所にいますか。

● “いる” は 54.2%、“いない” は 22.9%。

頼りになる知り合いが近所にいるかどうかについては、「どちらかといえばいる」と答えた人が 30.1%で最も多く、次いで「いる」と答えた人が 24.1%で続き、これらをあわせた“いる”という人が 54.2%となっています。これに対し、“いない”という人（「どちらかといえばいない」(10.7%)と「いない」(12.2%)の合計)は 22.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は 20.6%となっています。[図表 41 参照]

図表 41 頼りになる知り合いが近所にいるか（全体・性別・年齢・居住地区）

| | | いる | どちらか といえばいる | どちらとも いえない | どちらか といえばいな い | いない | 無回答 | n |
|------|--------|------|----------------|---------------|---------------------|------|------|------|
| | | (%) | | | | | | |
| 全体 | | 24.1 | 30.1 | 20.6 | 10.7 | 12.2 | 2.2 | 1421 |
| 性別 | 男性 | 20.0 | 28.7 | 25.9 | 11.6 | 11.9 | 1.9 | 630 |
| | 女性 | 27.7 | 31.1 | 16.2 | 10.5 | 12.6 | 2.0 | 755 |
| 年齢 | 10・20代 | 18.4 | 27.2 | 21.4 | 11.7 | 21.4 | 0.0 | 103 |
| | 30代 | 18.4 | 27.0 | 24.5 | 11.0 | 19.0 | 0.0 | 163 |
| | 40代 | 22.0 | 32.9 | 16.7 | 14.2 | 13.8 | 0.4 | 246 |
| | 50代 | 22.0 | 25.8 | 24.4 | 12.0 | 13.9 | 1.9 | 209 |
| | 60代 | 26.0 | 31.5 | 22.3 | 10.6 | 8.4 | 1.1 | 273 |
| | 70代 | 26.2 | 33.2 | 19.3 | 8.6 | 8.2 | 4.5 | 244 |
| | 80代以上 | 35.8 | 27.8 | 15.2 | 7.3 | 7.3 | 6.6 | 151 |
| 居住地区 | 太田 | 21.1 | 28.9 | 20.7 | 12.2 | 14.6 | 2.4 | 294 |
| | 古井 | 24.6 | 30.0 | 19.0 | 12.0 | 12.7 | 1.6 | 426 |
| | 山之上 | 32.8 | 23.4 | 17.2 | 12.5 | 12.5 | 1.6 | 64 |
| | 蜂屋 | 17.4 | 31.5 | 27.2 | 12.5 | 10.3 | 1.1 | 184 |
| | 加茂野 | 27.5 | 27.0 | 18.5 | 9.5 | 14.4 | 3.2 | 222 |
| | 伊深 | 27.6 | 41.4 | 17.2 | | 6.9 | | 29 |
| | 三和 | | 55.6 | 22.2 | 5.6 | 5.6 | 11.1 | 18 |
| | 下米田・牧野 | 26.9 | 36.6 | 22.1 | 6.9 | 6.2 | 1.4 | 145 |

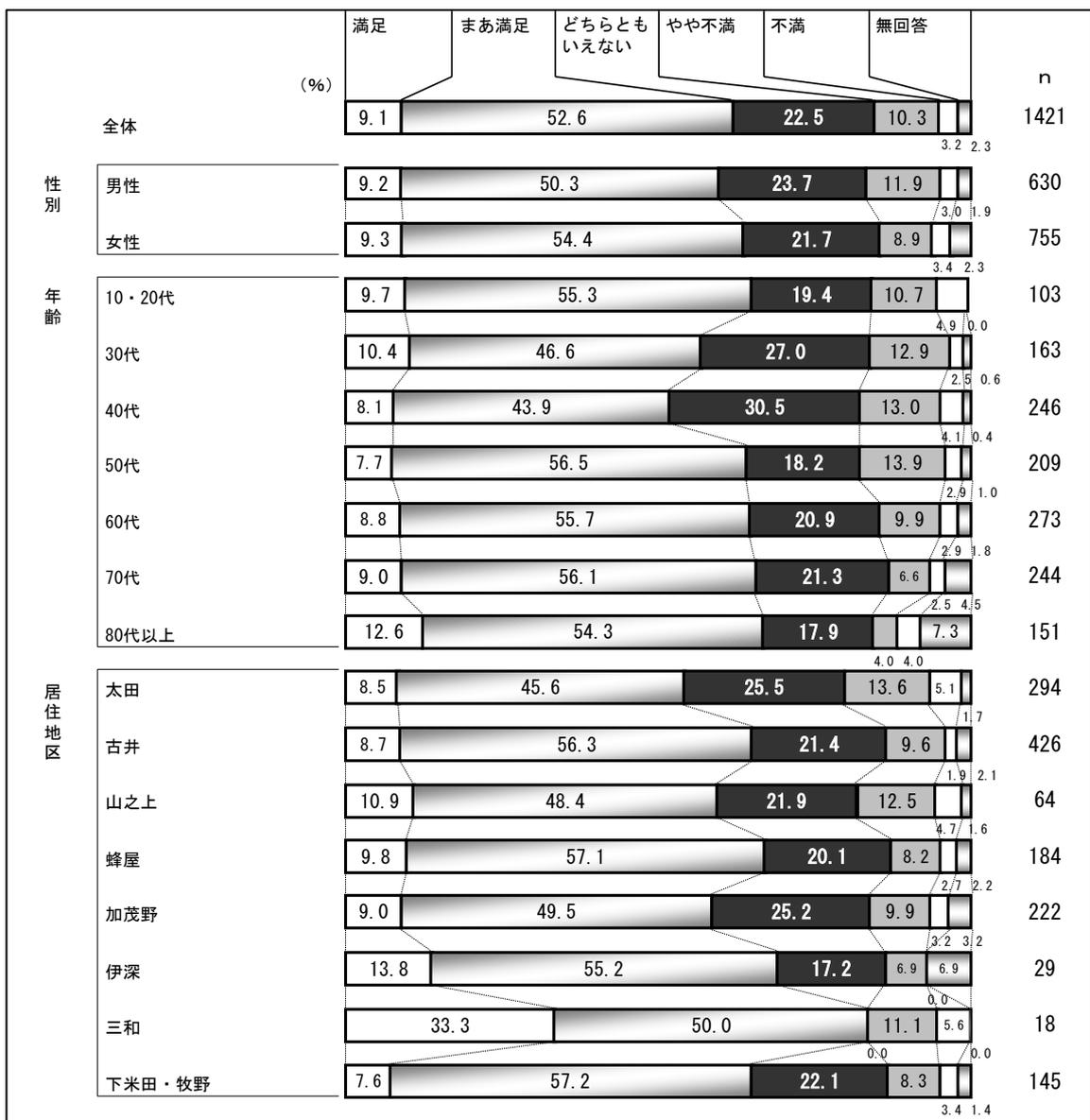
(29) 今の生活にどの程度満足しているか

問 5-29 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。

● “満足”は61.7%、“不満”は13.5%。

今の生活にどの程度満足しているかどうかについては、「まあ満足」と答えた人が52.6%で最も多く、これと「満足」(9.1%)をあわせた“満足”という人が61.7%と6割強にのぼっています。これに対し、“不満”という人(「やや不満」(10.3%)と「不満」(3.2%)の合計)は13.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.5%となっています。[図表 42 参照]

図表 42 今の生活にどの程度満足しているか (全体・性別・年齢・居住地区)



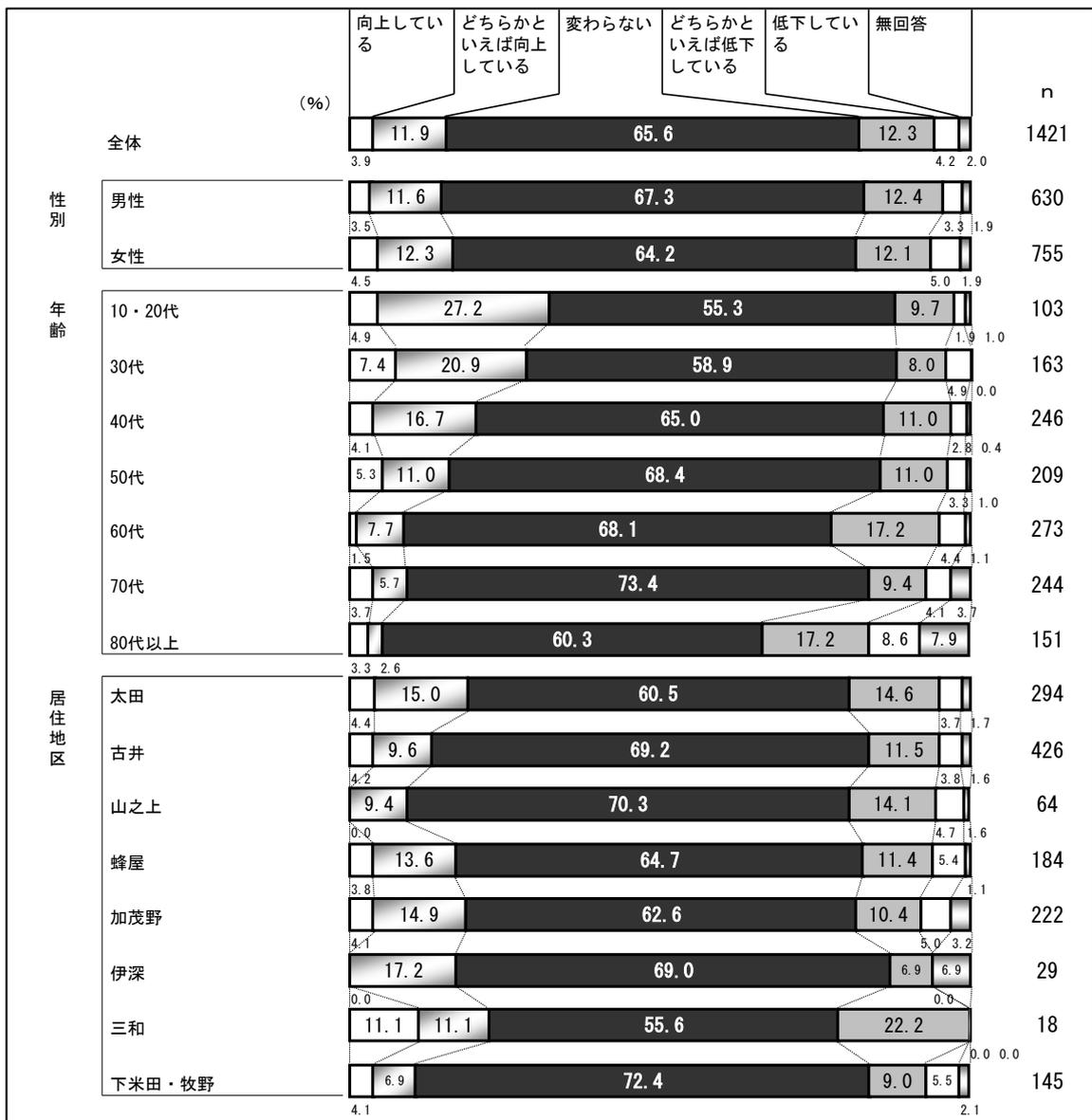
(30) 生活は去年の今頃と比べてどうか

問 5-30 あなたの生活は、全体として、去年の今頃と比べてどうでしょうか。

● “低下している”は16.5%、“向上している”は15.8%。

生活は去年の今頃と比べてどうかについては、「変わらない」と答えた人が65.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば低下している」と答えた人が12.3%で続き、これと「低下している」(4.2%)をあわせた“低下している”という人が16.5%となっています。これに対し、“向上している”という人(「どちらかといえば向上している」(11.9%)と「向上している」(3.9%)の合計)は15.8%となっています。[図表43参照]

図表 43 生活は去年の今頃と比べてどうか（全体・性別・年齢・居住地区）



(31) 平日に家族で話をする時間

問 5-31 平日に家族で話をする時間はどのくらいですか。

- 「1～2時間程度」が最も多く、次いで、「1時間未満」、「3～4時間程度」の順。

平日に家族で話をする時間については、「1～2時間程度」(34.2%)が最も多く、次いで、「1時間未満」(25.3%)、「3～4時間程度」(20.7%)、「ほとんど時間はない」(10.1%)、「5時間以上」(6.1%)となっています。[図表 44 参照]

図表 44 平日に家族で話をする時間（全体・性別・年齢・居住地区）

| | 1時間未満 | 1～2時間程度 | 3～4時間程度 | 5時間以上 | ほとんど時間はない | 無回答 | n |
|--------|-------|---------|---------|-------|-----------|------|------|
| 全体 | 25.3 | 34.2 | 20.7 | 6.1 | 10.1 | 3.7 | 1421 |
| 性別 | | | | | | | |
| 男性 | 26.8 | 35.2 | 17.0 | 4.8 | 12.7 | 3.5 | 630 |
| 女性 | 23.7 | 33.6 | 24.1 | 7.2 | 8.1 | 3.3 | 755 |
| 年齢 | | | | | | | |
| 10・20代 | 22.3 | 36.9 | 23.3 | 9.7 | 6.8 | 0 | 103 |
| 30代 | 19.6 | 42.9 | 25.2 | 6.1 | 5.5 | 0.6 | 163 |
| 40代 | 19.5 | 46.3 | 19.9 | 2.8 | 11.0 | 0.4 | 246 |
| 50代 | 31.6 | 39.7 | 14.8 | 4.3 | 8.1 | 1.4 | 209 |
| 60代 | 31.1 | 28.9 | 20.9 | 7.7 | 8.1 | 3.3 | 273 |
| 70代 | 21.7 | 27.9 | 24.2 | 7.4 | 11.5 | 7.4 | 244 |
| 80代以上 | 27.8 | 15.9 | 18.5 | 6.0 | 20.5 | 11.3 | 151 |
| 居住地区 | | | | | | | |
| 太田 | 23.5 | 33.3 | 21.1 | 6.5 | 12.9 | 2.7 | 294 |
| 古井 | 23.7 | 35.0 | 22.1 | 5.9 | 8.9 | 4.5 | 426 |
| 山之上 | 32.8 | 31.3 | 21.9 | 4.7 | 7.8 | 1.6 | 64 |
| 蜂屋 | 29.9 | 35.9 | 16.3 | 6.5 | 9.2 | 2.2 | 184 |
| 加茂野 | 22.5 | 39.2 | 20.7 | 5.4 | 8.6 | 3.6 | 222 |
| 伊深 | 27.6 | 34.5 | 13.8 | 10.3 | 6.9 | 6.9 | 29 |
| 三和 | 38.9 | 16.7 | 22.2 | 0.0 | 16.7 | 5.6 | 18 |
| 下米田・牧野 | 25.5 | 28.3 | 23.4 | 6.2 | 12.4 | 4.1 | 145 |

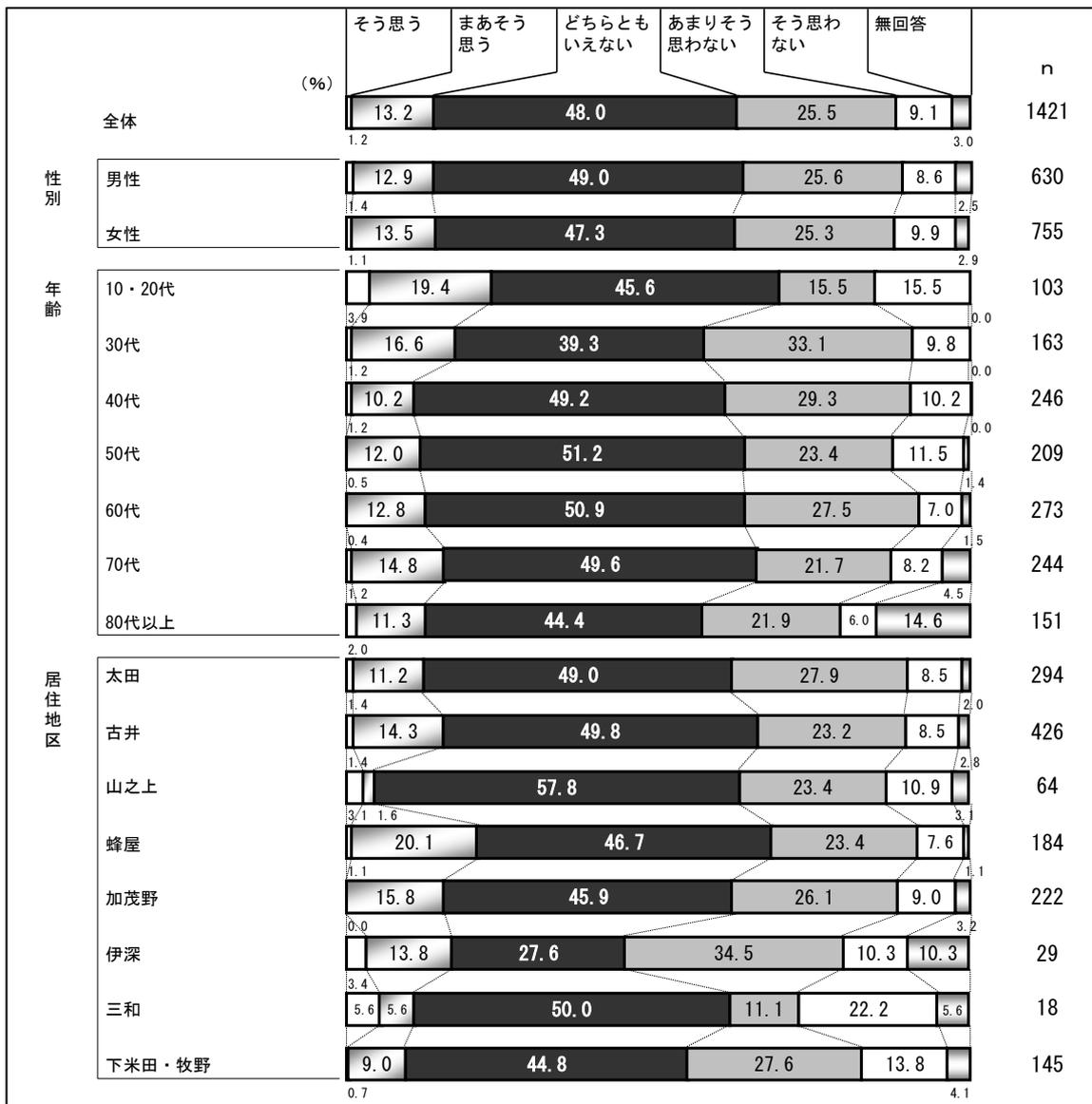
(32) 若者が希望を持てる地域だと思うか

問 5-32 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

● “そう思わない”は34.6%、“そう思う”は14.4%。

若者が希望を持てる地域かどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が48.0%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が25.5%で続き、これに「そう思わない」(9.1%)をあわせた“そう思わない”という人が34.6%となっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(13.2%)と「そう思う」(1.2%)の合計)は14.4%となっています。[図表45参照]

図表 45 若者が希望を持てる地域だと思うか (全体・性別・年齢・居住地区)



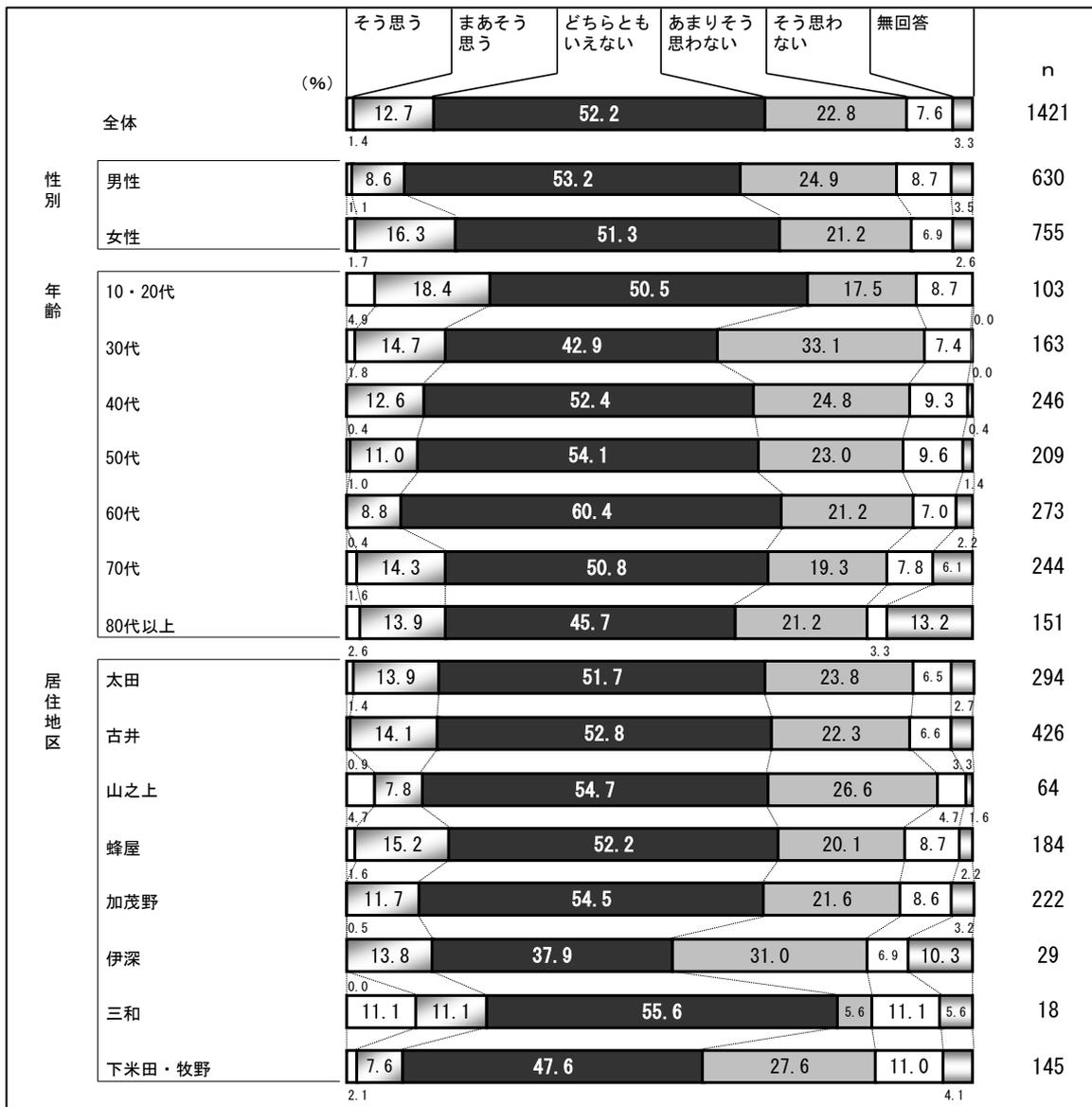
(33) 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか

問 5-33 挑戦する人を進んで応援する地域だと思いますか。

● “そう思わない”は30.4%、“そう思う”は14.1%。

挑戦する人を進んで応援する地域だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が52.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が22.8%で続き、これに「そう思わない」(7.6%)をあわせた“そう思わない”という人が30.4%となっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(12.7%)と「そう思う」(1.4%)の合計)は14.1%となっています。[図表46参照]

図表46 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか(全体・性別・年齢・居住地区)



4 今後のまちづくりについて

(1) まちづくりを進めていくときの市民と行政の関係

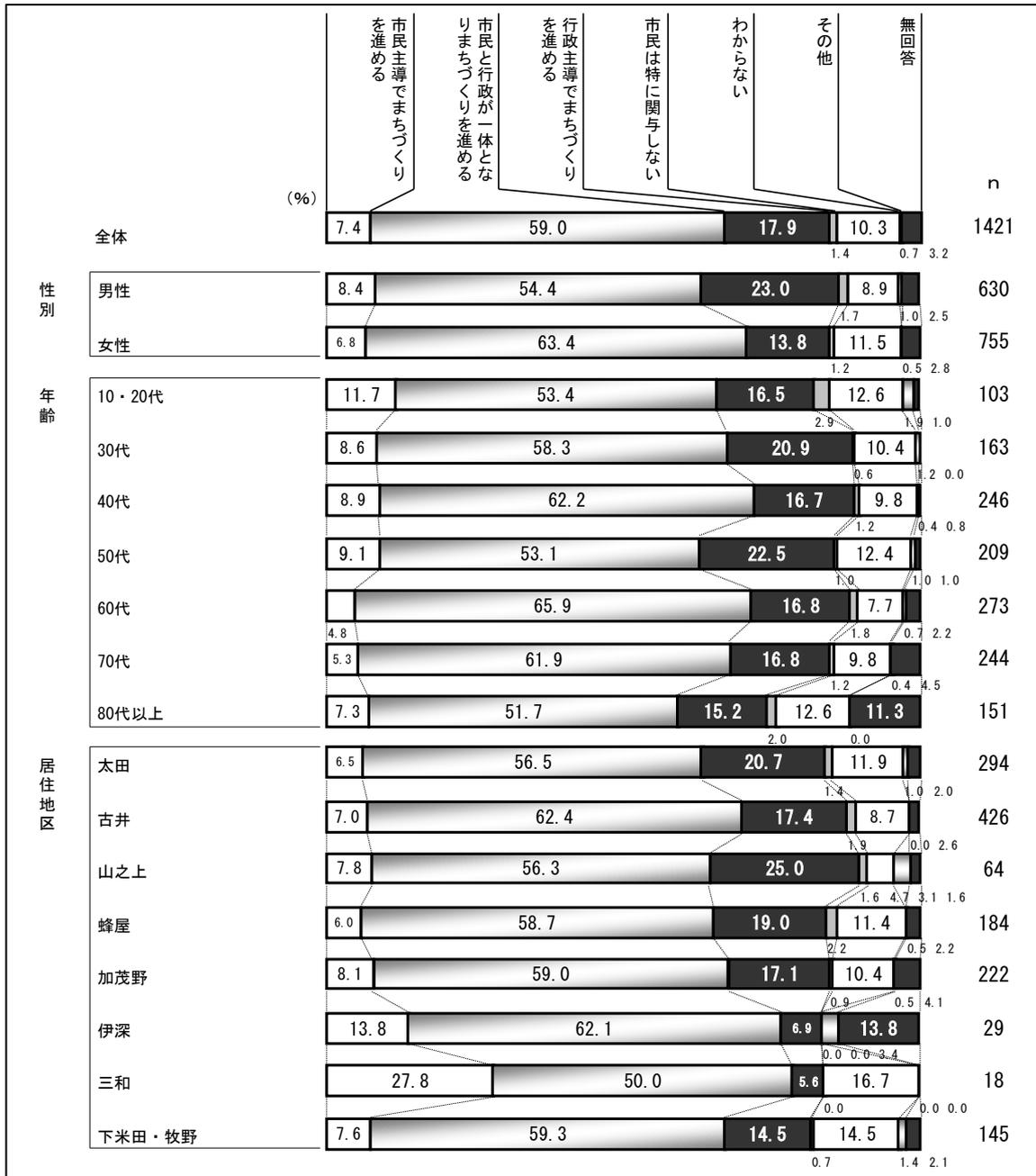
問6 あなたは、今後のまちづくりを進めていくときに、市民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。



- 「市民と行政が一体となりまちづくりを進める」が第1位。

まちづくりを進めていくときの市民と行政の関係については、「市民と行政が一体となりまちづくりを進める」(59.0%)が第1位にあげられ、次いで「行政主導でまちづくりを進める」(17.9%)が第2位、「市民主導でまちづくりを進める」(7.4%)が第3位となっています。なお、「市民は特に関与しない」は1.4%、「わからない」は10.3%となっています。[図表 47 参照]

図表 47 まちづくりを進めていくときの市民と行政の関係（全体・性別・年齢・居住地区）



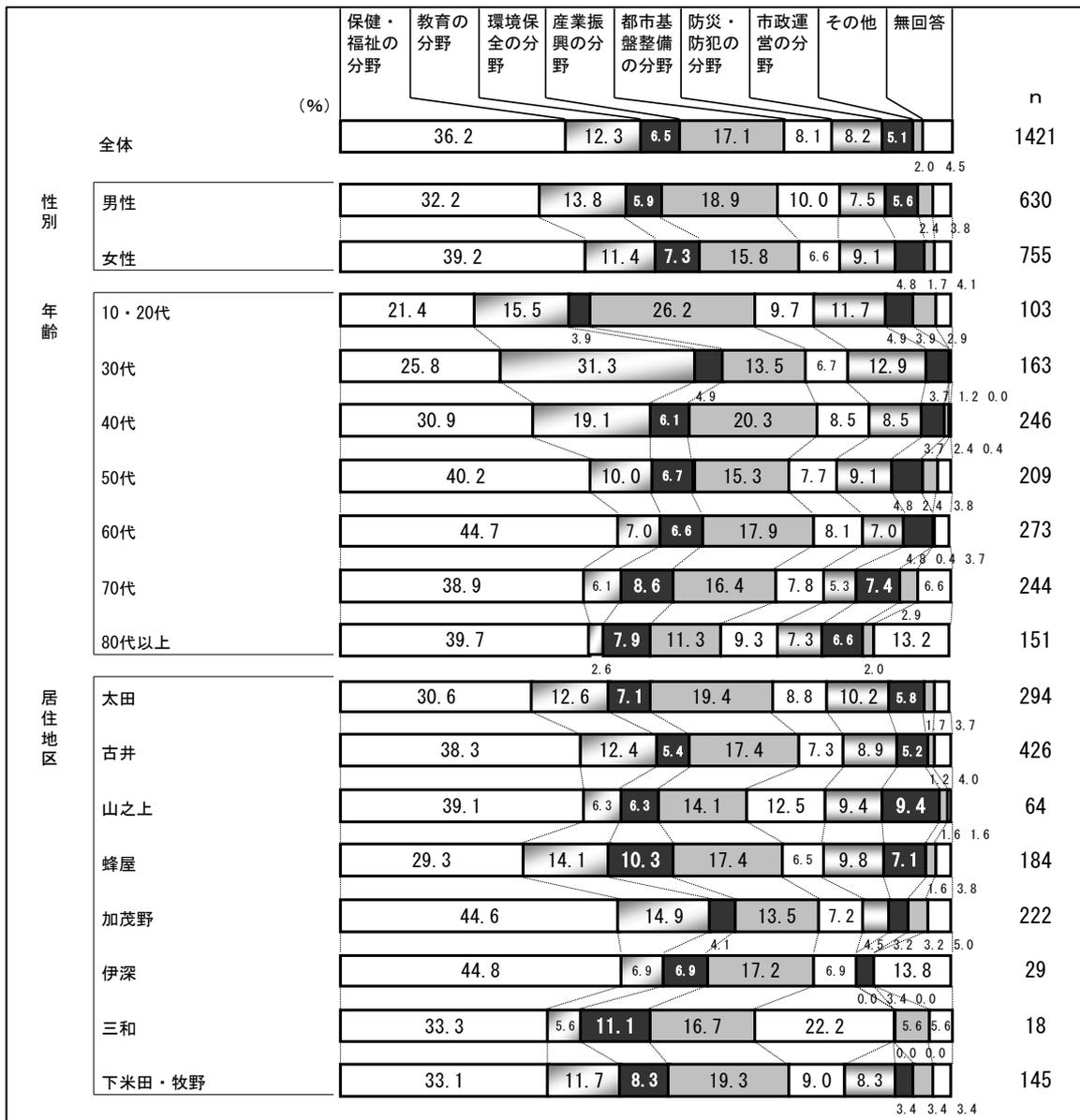
(2) 特に重点を置くべきだと思う取り組み

問7 これからの美濃加茂市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り組みは何ですか。

- 「保健・福祉の分野」が第1位。次いで「産業振興の分野」、「教育の分野」の順。

特に重点を置くべきだと思う取り組みについては、「保健・福祉の分野」(36.2%)が第1位にあげられ、次いで「産業振興の分野」(17.1%)が第2位、「教育の分野」(12.3%)が第3位、以下、「防災・防犯の分野」(8.2%)、「都市基盤整備の分野」(8.1%)、「環境保全の分野」(6.5%)、「市政運営の分野」(5.1%)の順となっています。[図表48参照]

図表48 特に重点を置くべきだと思う取り組み(全体・性別・年齢・居住地区)



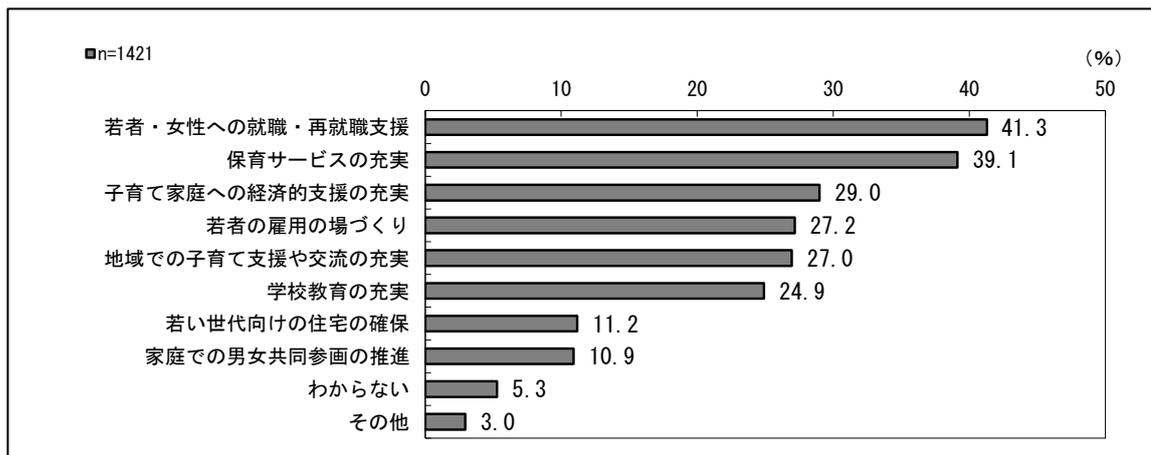
(3) 子育てしやすいまちになるために力を入れたらよいこと

問8 あなたは美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。【複数回答】

- 「若者・女性への就職・再就職支援」が第1位。次いで「保育サービスの充実」、「子育て家庭への経済的支援の充実」の順。

子育てしやすいまちになるために力を入れたらよいことについては、「若者・女性への就職・再就職支援」(41.3%)が第1位にあげられ、次いで「保育サービスの充実」(39.1%)が第2位、「子育て家庭への経済的支援の充実」(29.0%)が第3位、以下、「若者の雇用の場づくり」(27.2%)、「地域での子育て支援や交流の充実」(27.0%)、「学校教育の充実」(24.9%)、「若い世代向けの住宅の確保」(11.2%)、「家庭での男女共同参画の推進」(10.9%)の順となっています。[図表49・50参照]

図表49 子育てしやすいまちになるために力を入れたらよいこと (全体/複数回答)



図表 50 子育てしやすいまちになるために力を入れたらよいこと
(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|-------------------------|--------------------------------------|-------------------------|
| 全体 | | 若者・女性への就職・再就職支援 41.3 | 保育サービスの充実 39.1 | 子育て家庭への経済的支援の充実 29.0 |
| 性別 | 男性 | 若者・女性への就職・再就職支援 41.4 | 保育サービスの充実 35.7 | 子育て家庭への経済的支援の充実 32.1 |
| | 女性 | 若者・女性への就職・再就職支援 42.6 | 保育サービスの充実 42.3 | 地域での子育て支援や交流の充実 28.3 |
| 年齢 | 10・20代 | 保育サービスの充実 49.5 | 若者・女性への就職・再就職支援 44.7 | 子育て家庭への経済的支援の充実 41.7 |
| | 30代 | 保育サービスの充実 55.8 | 子育て家庭への経済的支援の充実 50.9 | 学校教育の充実 34.4 |
| | 40代 | 若者・女性への就職・再就職支援 42.7 | 学校教育の充実 36.6 | 保育サービスの充実 35.8 |
| | 50代 | 保育サービスの充実 40.2 | 若者・女性への就職・再就職支援 39.7 | 地域での子育て支援や交流の充実 29.2 |
| | 60代 | 若者・女性への就職・再就職支援 49.8 | 保育サービスの充実 43.6 | 若者の雇用の場づくり 35.2 |
| | 70代 | 若者・女性への就職・再就職支援 44.3 | 若者の雇用の場づくり 34.0 | 地域での子育て支援や交流の充実 29.5 |
| | 80歳以上 | 若者・女性への就職・再就職支援 32.5 | 地域での子育て支援や交流の充実 28.5 | 保育サービスの充実 27.2 |
| 居住地区 | 太田 | 保育サービスの充実 42.2 | 若者・女性への就職・再就職支援 37.8 | 子育て家庭への経済的支援の充実 30.3 |
| | 古井 | 若者・女性への就職・再就職支援 46.7 | 保育サービスの充実 35.7 | 地域での子育て支援や交流の充実 28.9 |
| | 山之上 | 若者・女性への就職・再就職支援 46.9 | 若者の雇用の場づくり／保育サービスの充実／地域での子育て支援や交流の充実 | 34.4 |
| | 蜂屋 | 若者・女性への就職・再就職支援 39.1 | 保育サービスの充実 37.5 | 子育て家庭への経済的支援の充実 33.2 |
| | 加茂野 | 保育サービスの充実 47.3 | 若者・女性への就職・再就職支援 36.5 | 子育て家庭への経済的支援の充実 35.6 |
| | 伊深 | 地域での子育て支援や交流の充実 37.9 | 若者・女性への就職・再就職支援／若者の雇用の場づくり | 34.5 |
| | 三和 | 地域での子育て支援や交流の充実 38.9 | 若者・女性への就職・再就職支援／子育て家庭への経済的支援の充実 | 33.3 |
| | 下米田・牧野 | 若者・女性への就職・再就職支援 47.6 | 保育サービスの充実 38.6 | 子育て家庭への経済的支援の充実 29.0 |

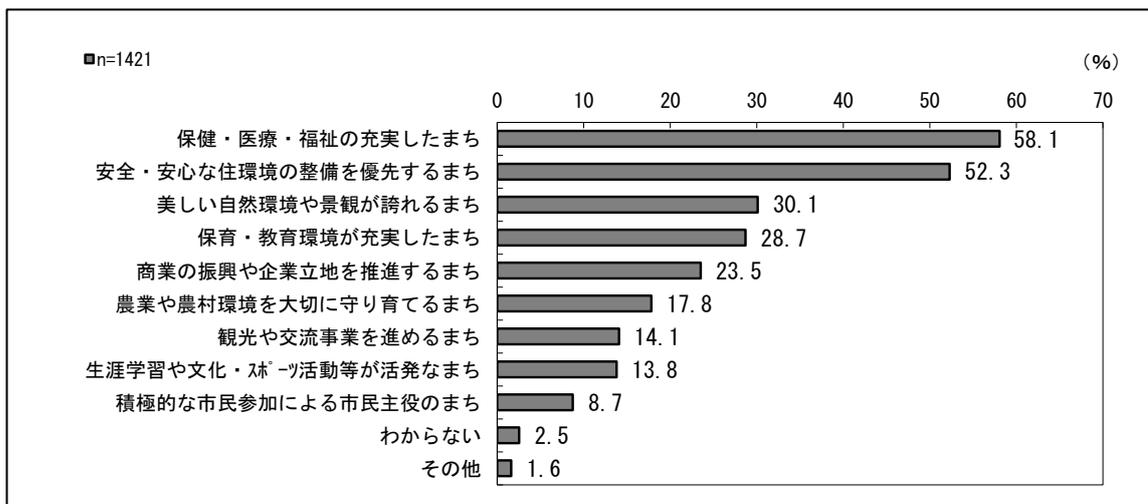
(4) 今後どのようなまちにしたいか

問9 あなたは、今後のまちづくりにおいて、美濃加茂市をどのようなまちにしたいと考えますか。【複数回答】

- 「保健・医療・福祉の充実したまち」が第1位。次いで「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」の順。

今後どのようなまちにしたいかについては、「保健・医療・福祉の充実したまち」(58.1%)が第1位にあげられ、次いで「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(52.3%)が第2位、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(30.1%)が第3位、以下、「保育・教育環境が充実したまち」(28.7%)、「商業の振興や企業立地を推進するまち」(23.5%)、「農業や農村環境を大切に守り育てるまち」(17.8%)、「観光や交流事業を進めるまち」(14.1%)、「生涯学習や文化・スポーツ活動等が活発なまち」(13.8%)、「積極的な市民参加による市民主役のまち」(8.7%)などの順となっています。[図表51・52参照]

図表51 今後どのようなまちにしたいか（全体／複数回答）



図表 52 今後どのようなまちにしたいか
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|-----------------------------|--|--|
| 全体 | | 保健・医療・福祉の充実したまち 58.1 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 52.3 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 30.1 |
| 性別 | 男性 | 保健・医療・福祉の充実したまち 54.3 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 52.2 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 29.5 |
| | 女性 | 保健・医療・福祉の充実したまち 60.9 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 53.2 | 保育・教育環境が充実したまち 31.1 |
| 年齢 | 10・20代 | 保育・教育環境が充実したまち 41.7 | 保健・医療・福祉の充実したまち 40.8 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち／安全・安心な住環境の整備を優先するまち 37.9 |
| | 30代 | 保育・教育環境が充実したまち 58.3 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 52.8 | 保健・医療・福祉の充実したまち 51.5 |
| | 40代 | 保健・医療・福祉の充実したまち 60.6 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 51.6 | 保育・教育環境が充実したまち 33.3 |
| | 50代 | 保健・医療・福祉の充実したまち 57.9 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 50.7 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 34.4 |
| | 60代 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 65.2 | 保健・医療・福祉の充実したまち 64.1 | 保育・教育環境が充実したまち 27.5 |
| | 70代 | 保健・医療・福祉の充実したまち 59.8 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 50.0 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 31.6 |
| | 80歳以上 | 保健・医療・福祉の充実したまち 57.6 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 47.7 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 31.8 |
| 居住地区 | 太田 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 56.5 | 保健・医療・福祉の充実したまち 54.4 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 31.6 |
| | 古井 | 保健・医療・福祉の充実したまち 60.8 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 54.2 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 27.2 |
| | 山之上 | 保健・医療・福祉の充実したまち 57.8 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち／農業や農村環境を大切に守り育てるまち | 37.5 |
| | 蜂屋 | 保健・医療・福祉の充実したまち 60.3 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 53.3 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 31.0 |
| | 加茂野 | 保健・医療・福祉の充実したまち 59.9 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 54.5 | 保育・教育環境が充実したまち 32.9 |
| | 伊深 | 保健・医療・福祉の充実したまち 55.2 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 37.9 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 31.0 |
| | 三和 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 66.7 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 50.0 | 保健・医療・福祉の充実したまち 38.9 |
| | 下米田・牧野 | 保健・医療・福祉の充実したまち 54.5 | 安全・安心な住環境の整備を優先するまち 49.7 | 美しい自然環境や景観が誇れるまち 33.1 |

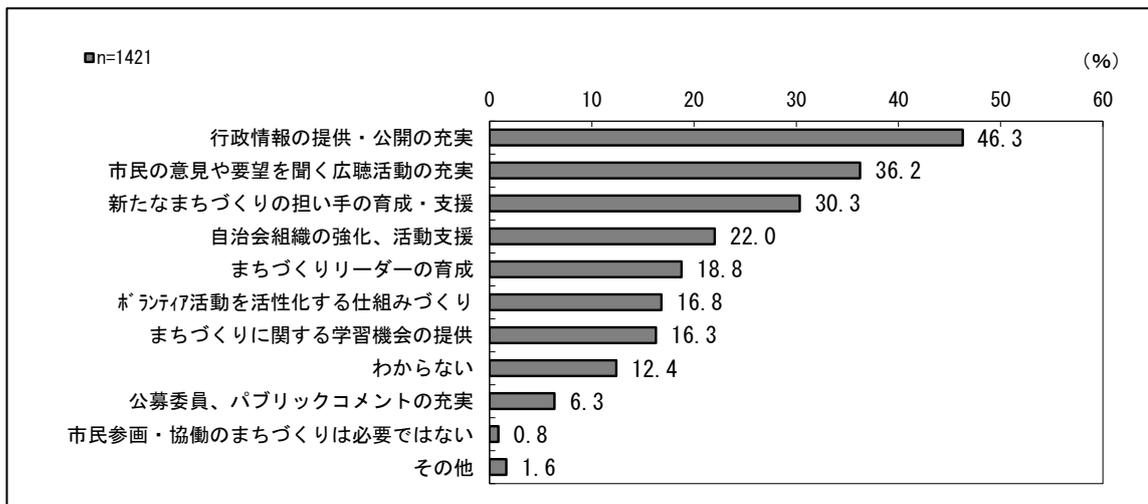
(5) 今後行政に必要な取り組み

問 10 市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行う「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「行政情報の提供・公開の充実」が第1位。次いで「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」、「新たなまちづくりの担い手の育成・支援」の順。

今後行政に必要な取り組みについては、「行政情報の提供・公開の充実」(46.3%)が第1位にあげられ、次いで「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」(36.2%)が第2位、「新たなまちづくりの担い手の育成・支援」(30.3%)が第3位、以下、「自治会組織の強化、活動支援」(22.0%)、「まちづくりリーダーの育成」(18.8%)、「ボランティア活動を活性化する仕組みづくり」(16.8%)、「まちづくりに関する学習機会の提供」(16.3%)、「公募委員、パブリックコメントの充実」(6.3%)の順となっています。なお、「市民参画・協働のまちづくりは必要ではない」は0.8%、「わからない」は12.4%となっています。[図表 53・54 参照]

図表 53 今後行政に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表 54 今後行政に必要な取り組み
(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|--|----------------------------|----------------------------|
| 全体 | | 行政情報の提供・公開の充実 46.3 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 36.2 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 30.3 |
| 性別 | 男性 | 行政情報の提供・公開の充実 48.9 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 37.1 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 28.6 |
| | 女性 | 行政情報の提供・公開の充実 44.5 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 35.8 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 32.1 |
| 年齢 | 10・20代 | 行政情報の提供・公開の充実 44.7 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 35.9 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.2 |
| | 30代 | 行政情報の提供・公開の充実 43.6 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 35.6 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 25.8 |
| | 40代 | 行政情報の提供・公開の充実 48.4 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.2 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 30.9 |
| | 50代 | 行政情報の提供・公開の充実 44.0 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 33.5 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 32.1 |
| | 60代 | 行政情報の提供・公開の充実 50.2 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 35.5 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.8 |
| | 70代 | 行政情報の提供・公開の充実 46.7 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.9 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 31.6 |
| | 80歳以上 | 行政情報の提供・公開の充実 42.4 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 36.4 | 自治会組織の強化、活動支援 30.5 |
| 居住地区 | 太田 | 行政情報の提供・公開の充実 44.2 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 36.7 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 32.7 |
| | 古井 | 行政情報の提供・公開の充実 49.3 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 35.7 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 34.7 |
| | 山之上 | 行政情報の提供・公開の充実／市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 39.1 | 39.1 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 32.8 |
| | 蜂屋 | 行政情報の提供・公開の充実 49.5 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 39.1 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.2 |
| | 加茂野 | 行政情報の提供・公開の充実 45.0 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 33.3 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 26.6 |
| | 伊深 | 行政情報の提供・公開の充実 41.4 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.5 | 自治会組織の強化、活動支援 24.1 |
| | 三和 | 行政情報の提供・公開の充実 44.4 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.9 | 自治会組織の強化、活動支援 33.3 |
| | 下米田・牧野 | 行政情報の提供・公開の充実 44.8 | 市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.0 | 新たなまちづくりの担い手の育成・支援 29.0 |

(6) これからの行政サービスのあり方

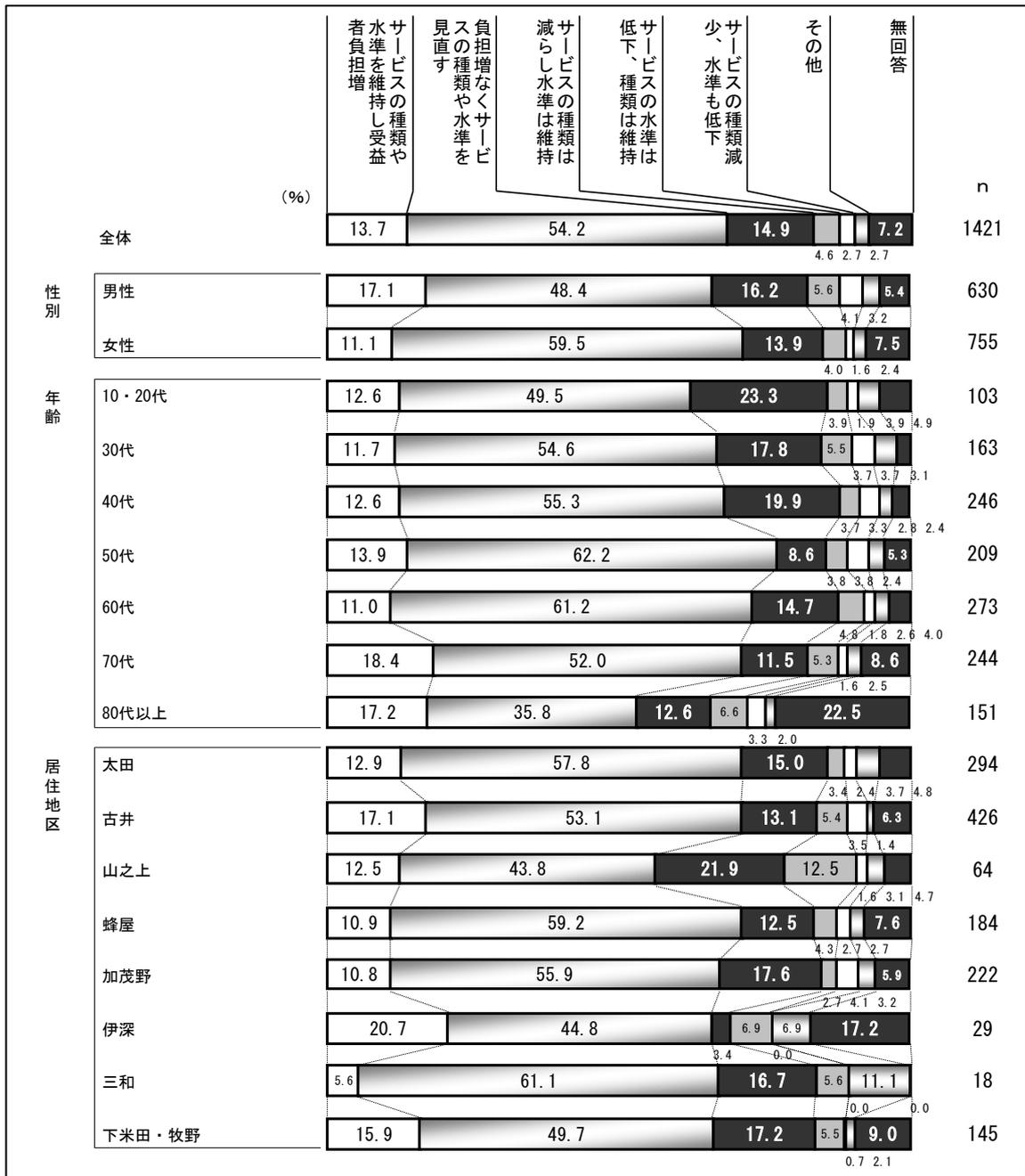
問 11 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。
美濃加茂市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。



- 「受益者の負担増をすることなく、サービスの重点化を図り、サービスの種類や水準を見直す」が第1位。

これからの行政サービスのあり方については、「受益者の負担増をすることなく、サービスの重点化を図り、サービスの種類や水準を見直す」(54.2%)が最も多く、次いで、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する」(14.9%)、「今までどおりのサービスの種類や水準を確保するには、受益者の負担増はやむを得ない」(13.7%)、「サービスの水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持する」(4.6%)、「サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方ない」(2.7%)の順となっています。[図表 55 参照]

図表 55 これからの行政サービスのあり方（全体・性別・年齢・居住地区）



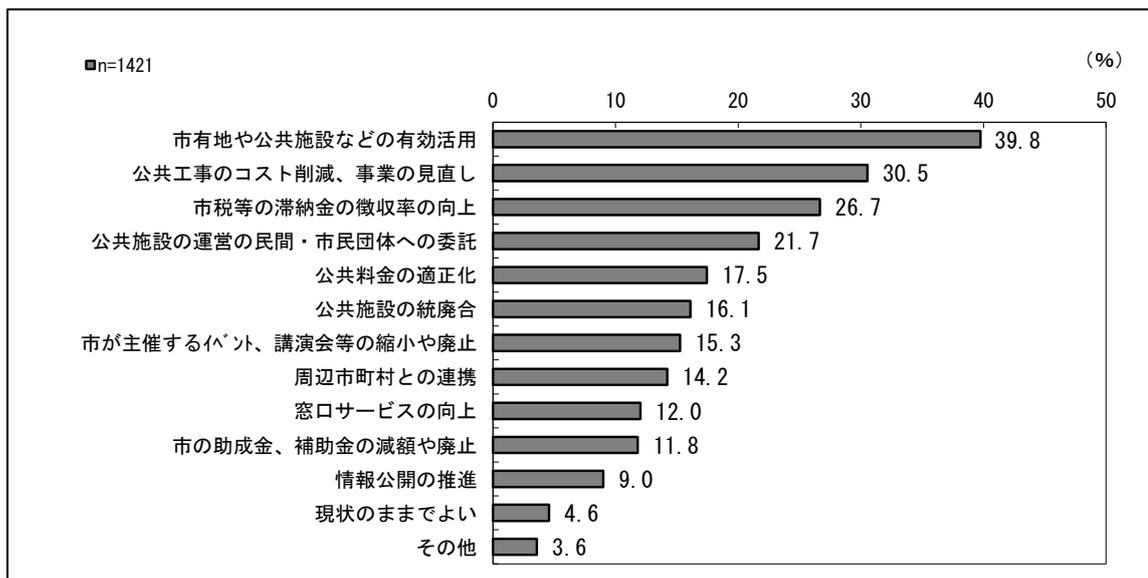
(7) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目

問 12 あなたは、美濃加茂市の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思いますか。【複数回答】

- 「市有地や公共施設などの有効活用」が第1位。次いで「公共工事のコスト削減、事業の見直し」、「市税等の滞納金の徴収率の向上」の順。

今後の行財政改革で優先的に行うべき項目については、「市有地や公共施設などの有効活用」(39.8%)が第1位にあげられ、次いで「公共工事のコスト削減、事業の見直し」(30.5%)が第2位、「市税等の滞納金の徴収率の向上」(26.7%)が第3位、以下、「公共施設の運営の民間・市民団体への委託」(21.7%)、「公共料金の適正化」(17.5%)、「公共施設の統廃合」(16.1%)、「市が主催するイベント、講演会等の縮小や廃止」(15.3%)、「周辺市町村との連携」(14.2%)、「窓口サービスの向上」(12.0%)、「市の助成金、補助金の減額や廃止」(11.8%)、「情報公開の推進」(9.0%)などの順となっています。[図表 56・57 参照]

図表 56 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目（全体／複数回答）



図表 57 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|---|--|---------------------------------------|
| 全体 | | 市有地や公共施設などの有効活用 39.8 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 30.5 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 26.7 |
| 性別 | 男性 | 市有地や公共施設などの有効活用 37.8 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 32.1 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 24.4 |
| | 女性 | 市有地や公共施設などの有効活用 41.7 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 29.5 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 29.3 |
| 年齢 | 10・20代 | 市有地や公共施設などの有効活用 35.9 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 20.4 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 19.4 |
| | 30代 | 市有地や公共施設などの有効活用 47.2 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 36.2 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 25.2 |
| | 40代 | 市有地や公共施設などの有効活用 39.4 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 38.6 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 31.7 |
| | 50代 | 市有地や公共施設などの有効活用 37.8 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 32.5 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 26.3 |
| | 60代 | 市有地や公共施設などの有効活用 42.9 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 33.0 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 29.7 |
| | 70代 | 市有地や公共施設などの有効活用 39.8 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 28.3 | 公共施設の運営の民間・市民団体への委託 27.9 |
| | 80歳以上 | 市有地や公共施設などの有効活用 33.1 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 20.5 | 公共施設の運営の民間・市民団体への委託／周辺市町村との連携 18.5 |
| 居住地区 | 太田 | 市有地や公共施設などの有効活用 39.1 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 34.0 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 23.5 |
| | 古井 | 市有地や公共施設などの有効活用 43.4 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 29.6 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 27.9 |
| | 山之上 | 市有地や公共施設などの有効活用 42.2 | 公共施設の運営の民間・市民団体への委託／市税等の滞納金の徴収率の向上 34.4 | |
| | 蜂屋 | 市有地や公共施設などの有効活用 35.9 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 31.5 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 31.0 |
| | 加茂野 | 市有地や公共施設などの有効活用 36.9 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 29.3 | 市税等の滞納金の徴収率の向上 27.9 |
| | 伊深 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 31.0 | 市有地や公共施設などの有効活用 27.6 | 市税等の滞納金の徴収率の向上／周辺市町村との連携 17.2 |
| | 三和 | 市有地や公共施設などの有効活用／公共工事のコスト削減、事業の見直し 38.9 | | 周辺市町村との連携 27.8 |
| | 下米田・牧野 | 市有地や公共施設などの有効活用 44.1 | 公共工事のコスト削減、事業の見直し 33.1 | 周辺市町村との連携 22.1 |